6120型

使い方の手びき

《取扱説明書》

Super Quilt

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。　FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示

⚠警告　この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠注意　この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本文中の図記号の意味

	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。（左図の場合は一般的な注意）
	⃠記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。（左図の場合は分解禁止）
●	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。（左図の場合は一般的な強制）

⚠警告　感電・火災の原因になります。

必ず実行　一般家庭用、交流電源100Vでご使用ください。

必ずプラグを抜く　以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
- ミシンのそばを離れるとき
- ミシンを使用したあと
- ミシン使用中に停電したとき

⚠注意　感電・火災・けがの原因になります。

禁止　フットコントローラーの上にものをのせないでください。

分解禁止　お客様自身での分解はしないでください。

接触禁止　ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。

禁止　ぬいの途中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

禁止　曲がった針はご使用にならないでください。

⚠注意　感電・火災・けがの原因になります。

必ず実行　針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。

必ず実行　ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。

注意　お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。

必ずプラグを抜く　以下のことをするときには、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
- 針・針板・押さえ・アタッチメントを交換するとき
- 上糸・下糸をセットするとき
- ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください。）
- ミシンのお手入れを行うとき

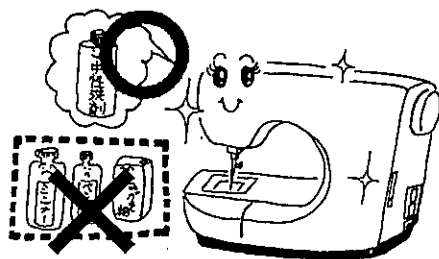
必ずプラグを抜く　ミシン・フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
- 正常に作動しないとき
- 水にぬれたとき
- 落下などにより破損したとき
- 異常な臭い・音がするとき
- 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目　次

◎おとり扱いについてのお願い

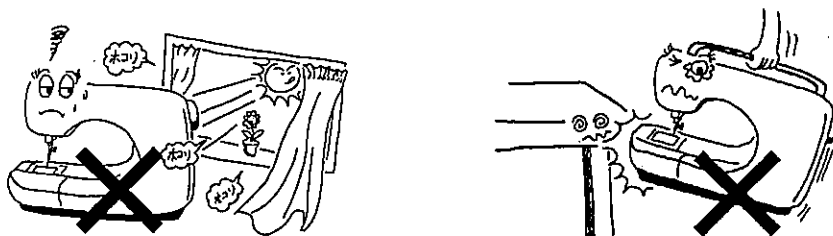
◇ご使用の前に

① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。

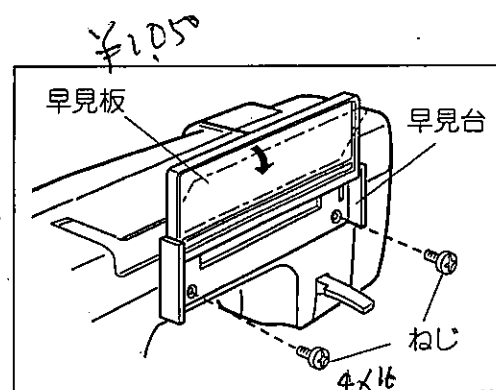
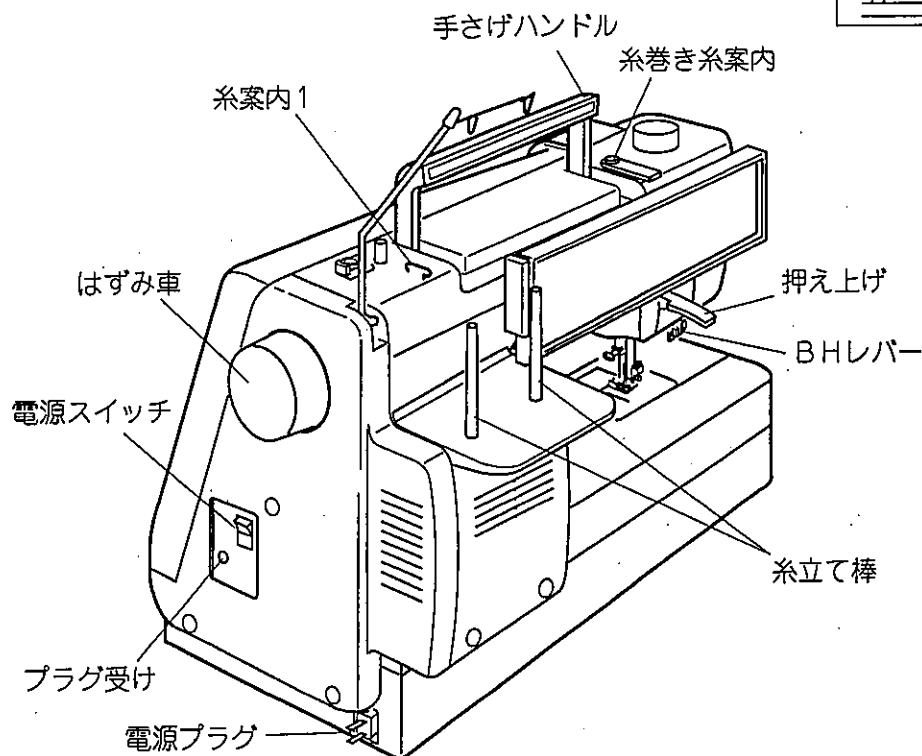
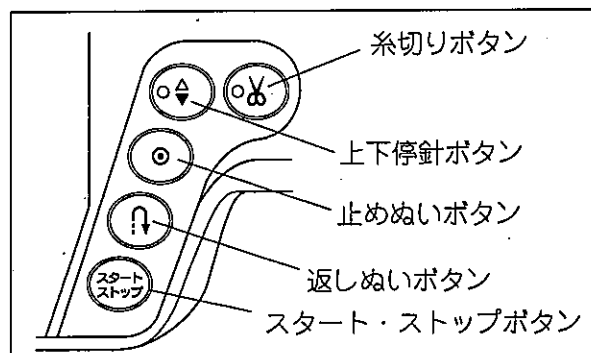
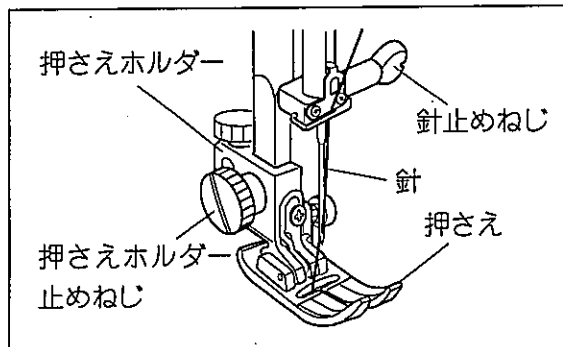
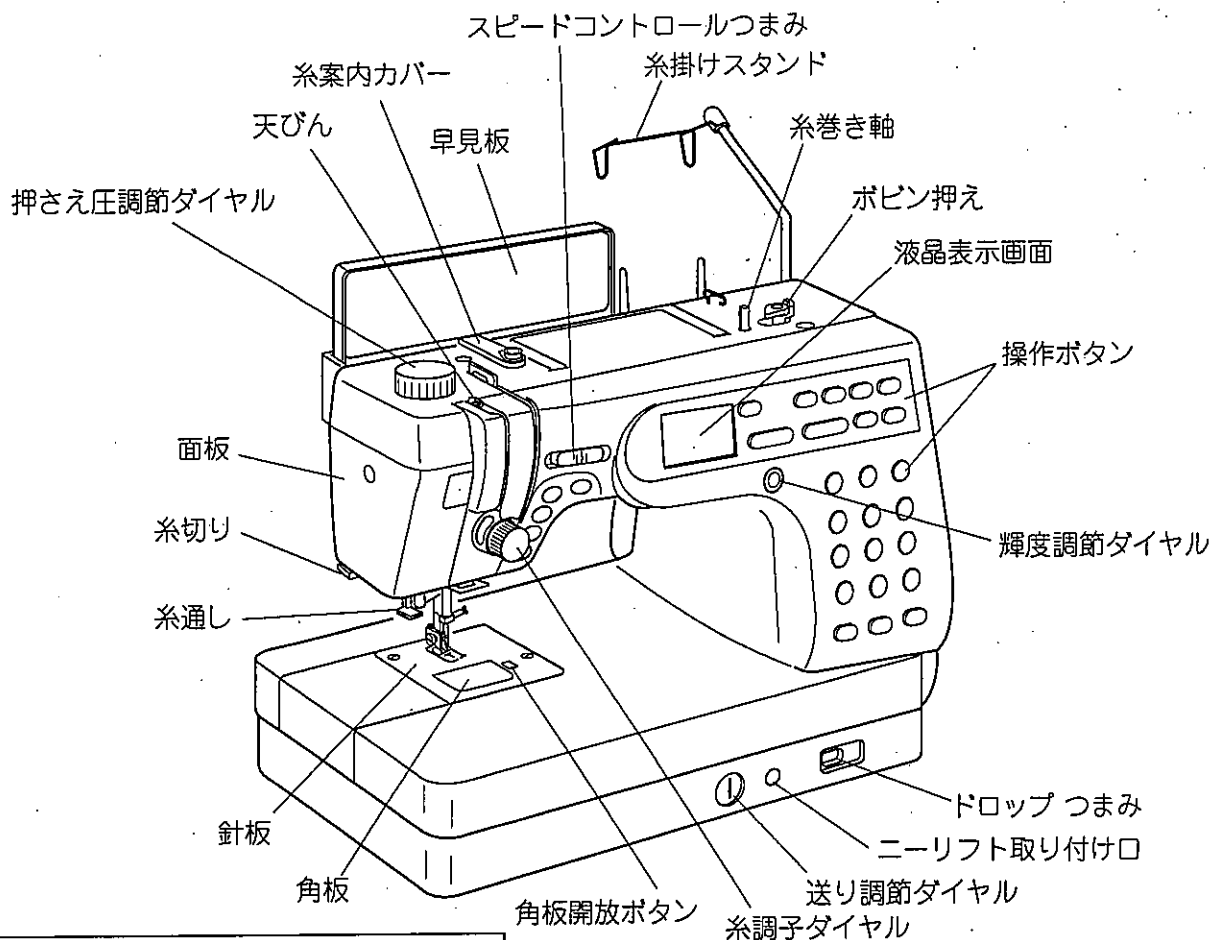
② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

① 長時間日光に当てないでください。

② 湿気やほこりの多いところは避けてください。

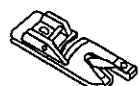
③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」（76ページ）により点検・調整を行ってください。

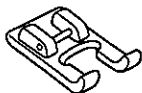
◎各部の名まえ

早見台の取り付けは、ねじ（2ケ）をドライバーでしっかりしめてください。
早見板は、回転させてごらんください。

◎標準付属品と収納場所

A: 基本押さえ

C: たち目かがり押さえ

D: 三つ巻き押さえ

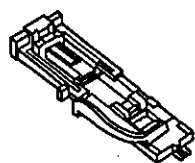
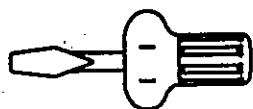
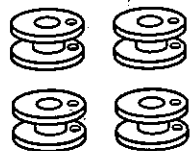
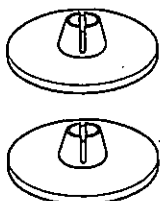
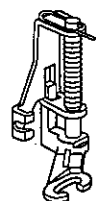
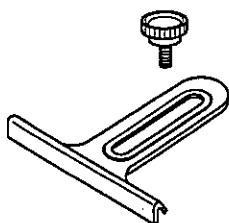
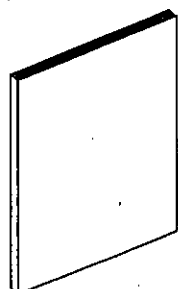
E: ファスナー押さえ

F: サテン押さえ

F2: クラフトF押さえ

G: くけぬい押さえ

H: 紐(ひも)付け押さえ

M: 縁かがり押さえ

O：パッチワーク押さえ

R: オートマチック
ボタンホール押さえ

ねじまわし

ねじまわし
(針板取り外し用)

針と針ケース組

ボビン

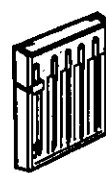
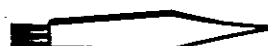
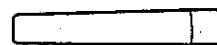
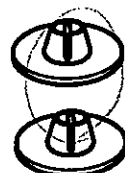
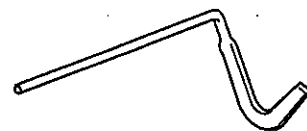
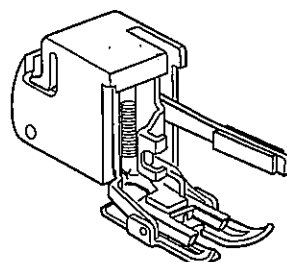
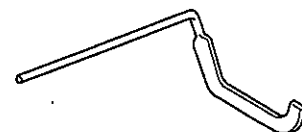
ブラシ

目ほどき

糸こま押さえ（大）

糸こま押さえ（小）

L: キルター（小）

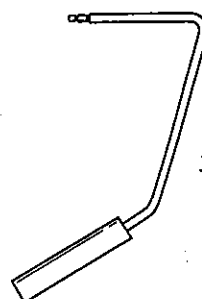
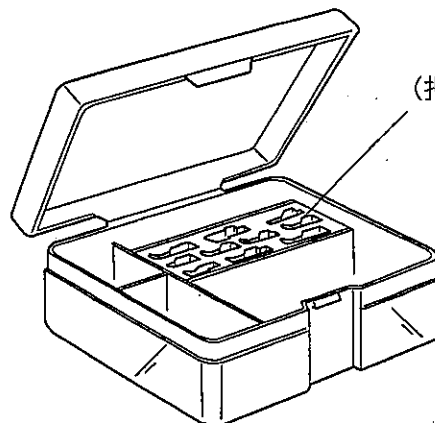
P: しつけ押さえ

送りジョーズ

キルティングガイド
(送りジョーズ用)（大）

布ガイドと止めねじ

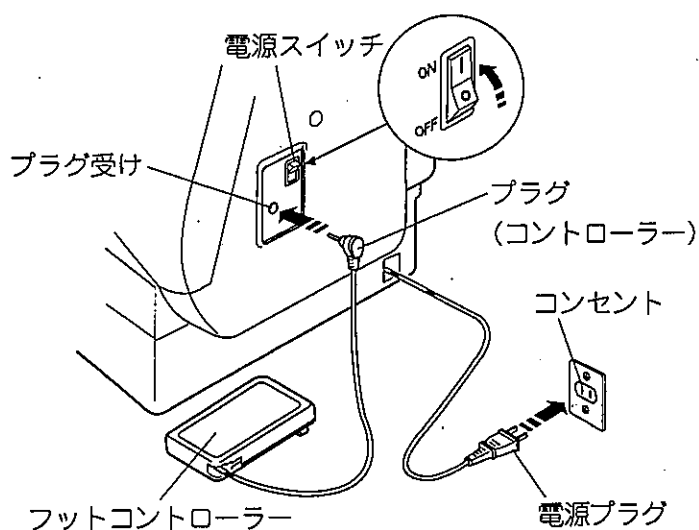
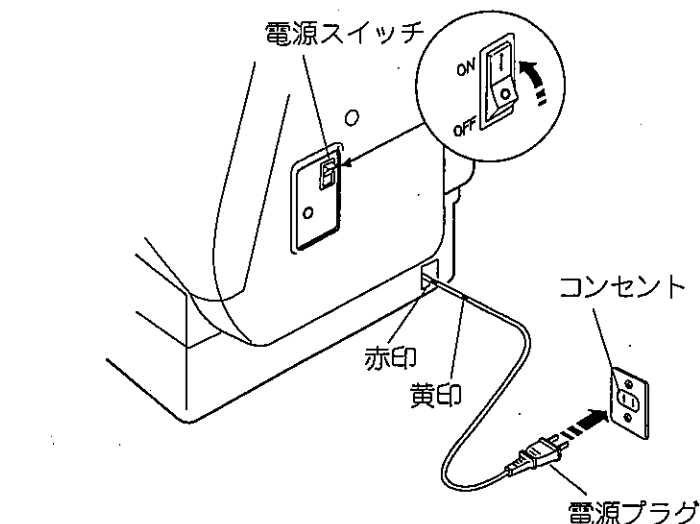
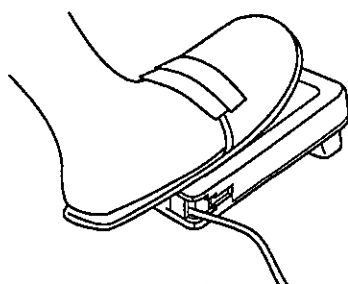
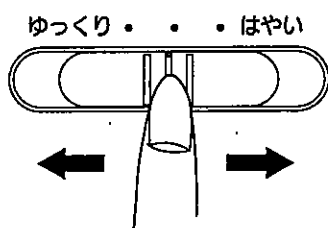
ニーリフト

取扱説明書

フットコントローラー

(押さえポケット)
押さえ記号の場所に
収納してください。

付属ケース

◎操作方法

●電源のつなぎ方

> **⚠警告**
> - 電源は、一般家庭用交流電源 100Vでご使用ください。
> - ミシンを使わないときは、電源スイッチを「切」(OFF)にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
>
> 感電・火災の原因になります。

★スタート・ストップボタンを使用する場合

① 電源スイッチを「OFF」(切) にして、電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
② 電源スイッチを「ON」(入) にします。
※ コードを引き出したときに、黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。

★フットコントローラーを使用する場合

① 電源スイッチを「OFF」(切) にして、プラグをプラグ受けに差し込みます。
② 電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
③ 電源スイッチを「ON」(入) にします。

※ フットコントローラーを使用する場合は、スタート・ストップボタンは作動しません。
※ コードを引き出したときに、黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。

●速さの調節

★スピードコントロールつまみ

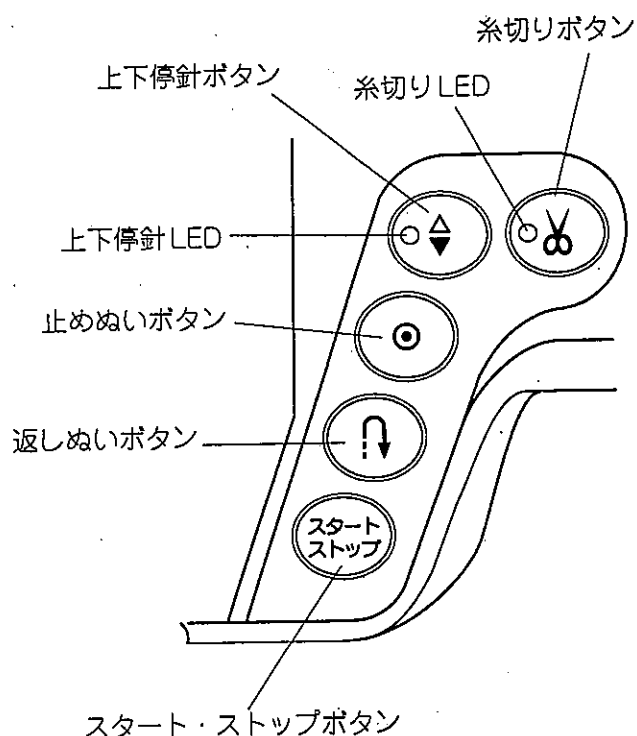
ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。

★フットコントローラー

スピードコントロールつまみを「はやい」位置にセットします。フットコントローラーの踏みかげんでぬう速さが調節できます。
フットコントローラーをはなすと通常、針が上の位置で止まります。

深く踏む→速くなる。
浅く踏む→遅くなる。

※ フットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。また、フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因となります。

●操作ボタンのはたらき

★スタート・ストップボタン

ボタンを押すと、ゆっくり動きだしスピード・コントロールつまみでセットした速さで動き始めます。
ボタンを押しつづけると、ミシンはゆっくり動きます。

※ スタートさせると、ボタンが「緑」から「赤」にかわります。
※ スタート・ストップボタンを使用するときは、フットコントローラーの接続は、外してください。
※ 押さえ上げをさげないでミシンをスタートしたとき、注意画面が表示されます。
押さえ上げをさげてスタートしてください。

★返しぬいボタン

【運転中の返しぬい】
模様 01 02 08 09 は、ボタンを押している間は返しぬいをします。その他の模様のときには、すぐに止めぬいをして自動的に止まります。
【停止中の返しぬい】(スタート・ストップボタン使用時のみ)
模様#01、02、08、09は、ミシンが動いていない状態で返しぬいボタンを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと止まります。

★止めぬいボタン

模様 01 02 08 09 は、ボタンを押すと数針止めぬいをして自動的に止まります。
その他の模様ぬいのときには、模様を完成させたあと、止めぬいをし自動的に止まります。

★上下停針ボタン

ミシンが止まっているときボタンを押すと、針の位置を上にあるときは下に切りかえ、LEDが点灯し、下にあるときは、上に切りかえ、LEDが消灯します。

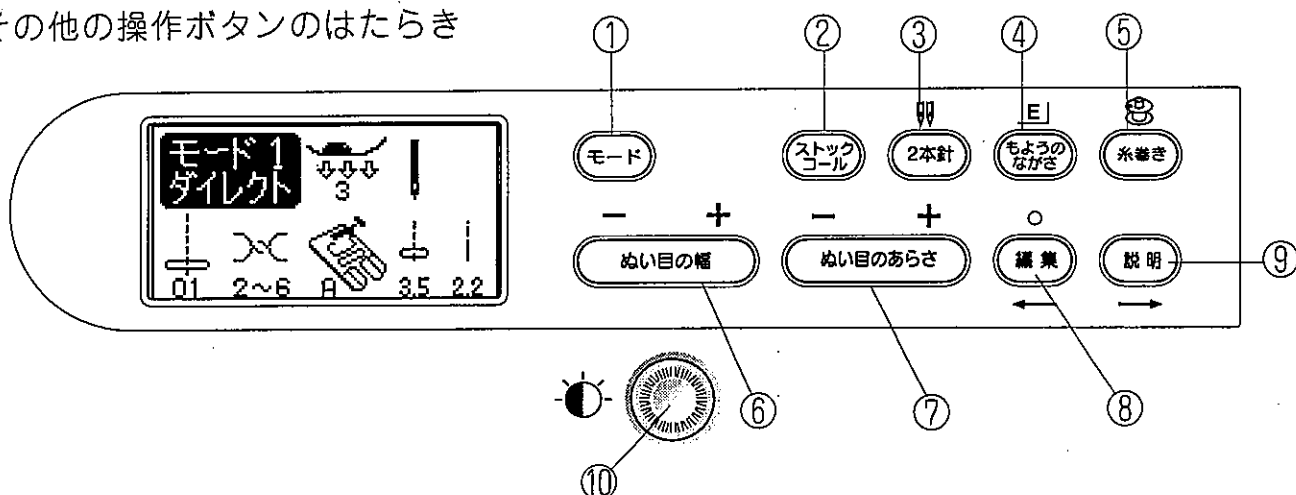
※ 上位置に切りかえた状態でぬうと、ミシンを止めたとき、針は上位置で止まり、下位置に切りかえた状態でぬうと針は下位置で止まります。
※ 下位置に設定しておいても、糸切り後と、ボタンホールをぬい終わったときは、上位置で止まります。

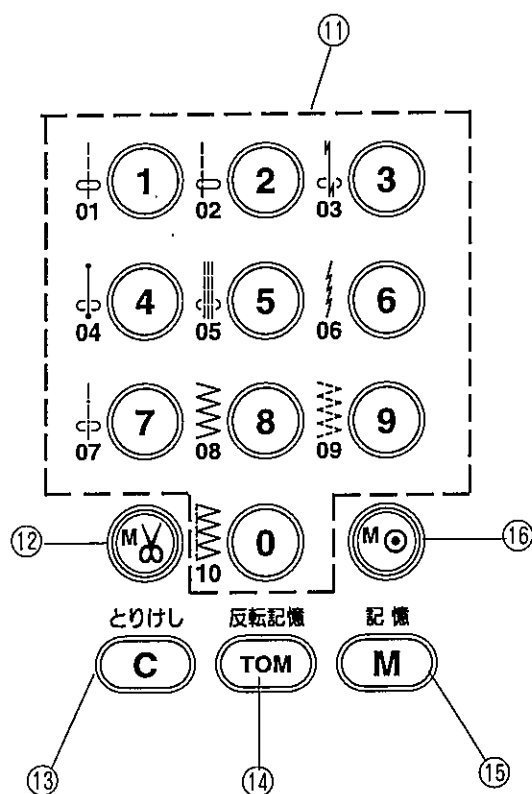
★糸切りボタン

ぬい終わった後に押すと、上糸、下糸を自動的に切ります。
糸切り中は、LEDが点滅します。

【糸切りの注意事項】

※ 30番より太い糸または、特殊糸を切るときには面板に付いている糸切りを使用してください。
※ 糸切り後は、下糸は引き出さなくてもぬうことができます。
※ 糸切り後の次のぬい始めには、一旦下糸を引き上げて下糸と上糸を押さえの横に引き出してぬい始めると、きれいにぬい始めることができます。
※ 糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になりますので、ミシンのお手入れをしてください。
(72ページをごらんください。)
※ 糸こまの糸残りが少ない物は使用しないでください。糸がらみや、糸抜けの原因になります。

★その他の操作ボタンのはたらき

ミシンの電源を入れると、オープニング画面が表示されたあと模様選択画面が表示されます。
モードは 3 つに分類されていて、「モード」ボタンを押すことによって、模様の選択をすることができるようになります。

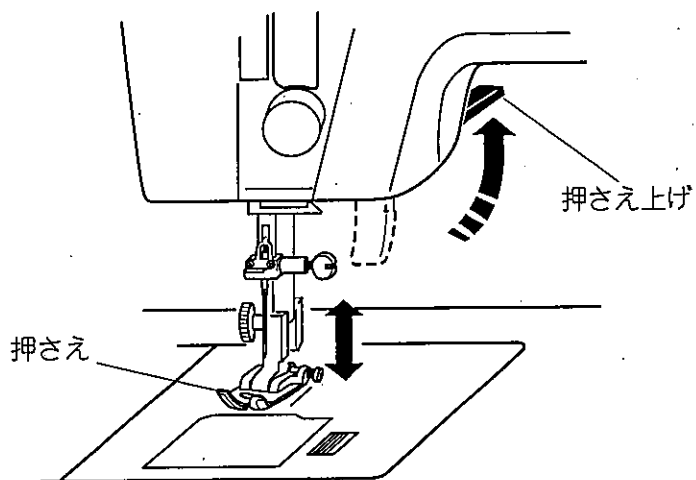
① モード	モード切りかえボタン（23ページ参照） モードを切りかえるときに使います。
② ストック コール	ストック/コールボタン（68ページ参照） 模様を記憶、または編集した後に登録するときに使います。 ボタンを押すと以前に登録した模様は取り消され、新規に模様が登録されます。 モード初期画面で、ボタンを押すと登録した模様を呼び出すことができます。
③ 2本針	2 本針ボタン（70ページ参照） 2 本針ぬいをするときに使います。
④ E もようの ながさ	模様長さボタン（61ページ参照） サテン模様の模様長さをかえるときに使います。
⑤ 糸巻き	糸巻きボタン（14ページ参照） 下糸巻きをするときに使います。
⑥ − + ぬい目の幅	ぬい目の幅調節ボタン（28、31ページ参照） ぬい目の幅、または基線（針落ち位置）をかえるときに使います。
⑦ − + ぬい目のあらさ	ぬい目あらさ調節ボタン（28、31ページ参照） ぬい目のあらさをかえるときに使います。
⑧ ○ 編集 ←	編集ボタン（65ページ参照） 記憶した模様の確認、削除、追加等の編集をするときに使います。 編集モードではカーソルを左に移動させるボタンとして機能します。
⑨ 説明 →	説明ボタン（24、65ページ参照） ぬい情報が表示されます。 編集モードではカーソルを右に移動させるボタンとして機能します。
⑩	輝度調節ダイヤル 画面の明るさ（濃淡）の調節をするときに使います。

⑪模様選択ボタン（24ページ参照）

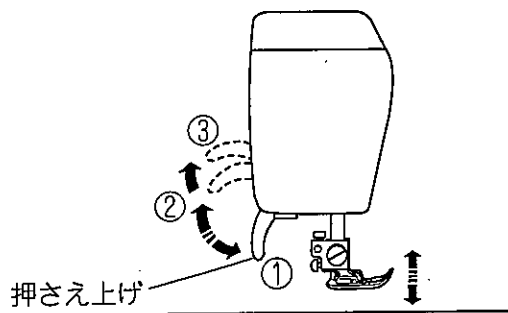
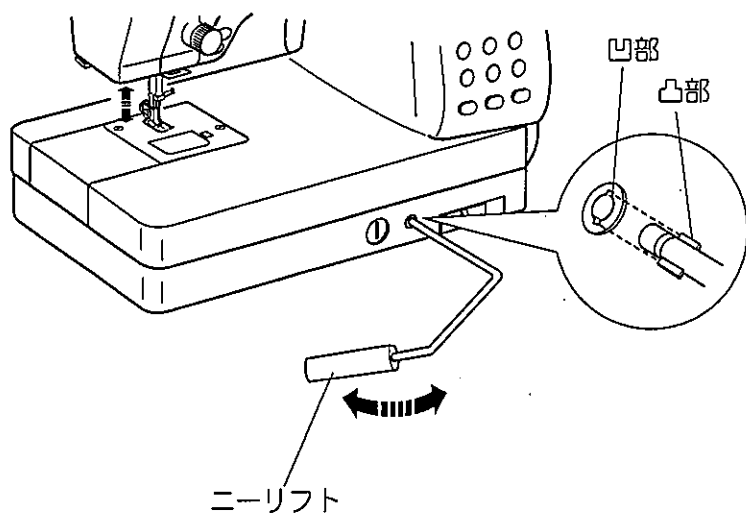
模様番号を入力して模様を選びます。

モード１のときは、模様選択ボタンを直接押すと模様が選べます。

それ以外のモードのときは、早見表の模様番号（2桁）を入力して選びます。

番号	ボタン	説明
⑫	M	糸切り記憶ボタン（60ページ参照） 記憶した模様の終わりにボタンを押します。ぬいが終わると止めぬいをして自動的に糸切りを行います。ボタンを押すと、糸切りLEDが点灯して糸切り記憶したことを示します。
⑬	とりけし C	取消しボタン（65ページ参照） 記憶した模様を取消します。ボタンを長く押していると、ブザーが長く鳴って記憶した模様がすべて取り消され、そのモードの初期画面になります。 各モードの初期画面は（モード1：模様＃01選択画面、モード2：模様＃11選択画面、モード3：模様＃01選択画面） ぬい始めてから取消しボタンを押すと、記憶した模様がすべて取り消されます。
⑭	反転記憶 TOM	反転記憶ボタン（62、63ページ参照） 模様を選んでからボタンを押すと、選んだ模様を反転記憶します。
⑮	記憶 M	記憶ボタン（42、63ページ参照） 模様を選んでからボタンを押すと、ボタンを押した数だけその模様を記憶します。（最大５０個）さらに、他の模様を選んでから記憶ボタンを押すと、前の模様に続けて、次に選んだ模様を記憶します。
⑯	M	止めぬい記憶ボタン（58ページ参照） 記憶した模様の最後に押しておくと、ぬいが終わると自動的に止めぬいをして止まります。

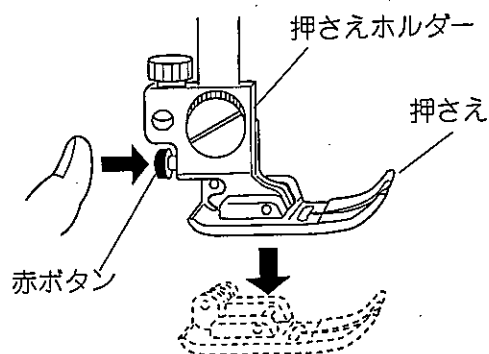
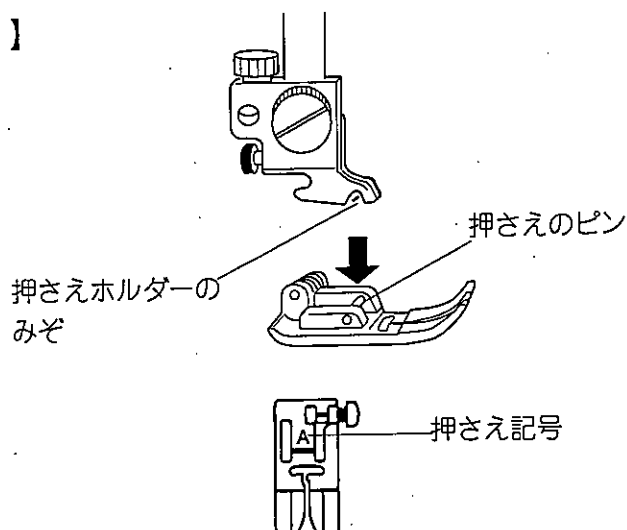
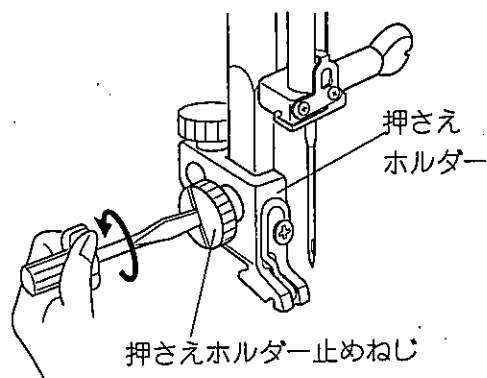
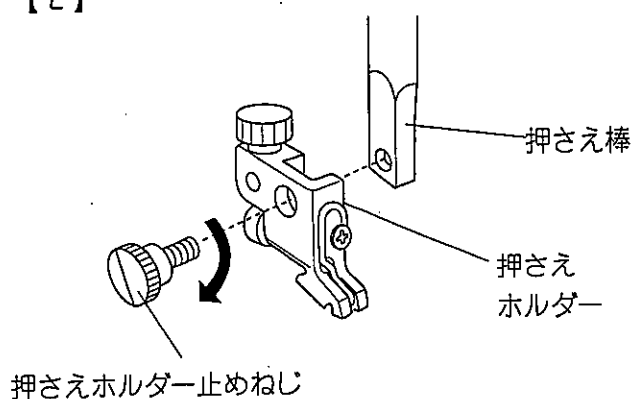
●押さえ上げ

押さえ上げで、押さえのあげさげを行ないます。普通にあげた位置よりさらにあげることもでき、厚物の布を入れるときの補助リフトとして使用します。

①さげた位置＿＿＿＿＿＿ぬいのときは、さげておきます。
②普通にあげた位置＿＿＿布の取り出しや押さえの交換のときにあげます。
③さらにあげた位置＿＿＿補助リフトで、厚い布などが入れやすくなります。

●ニーリフトの取り付け

ニーリフトは手を使わずに押さえのあげさげができるので、キルトなどをぬうときに使うと便利です。

取り付けは、ニーリフトの凸部を取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり、左にもどすと押さえがさがります。

※ ぬい中は、ニーリフトにふれないようにしてください。模様くずれの原因になります。

●押さえの取りかえ

⚠注意

押さえ、押さえホルダーの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
けがの原因になります。

【1】

【1】外し方

① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
② 押さえホルダーの赤ボタンを押して、押さえを外します。

【2】

【2】押さえの付け方

押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをさげます。
※ 押さえには記号が付いていますので模様に合ったものを使用してください。

●押さえホルダーの外し方、付け方

【1】

【1】押さえホルダーの外し方

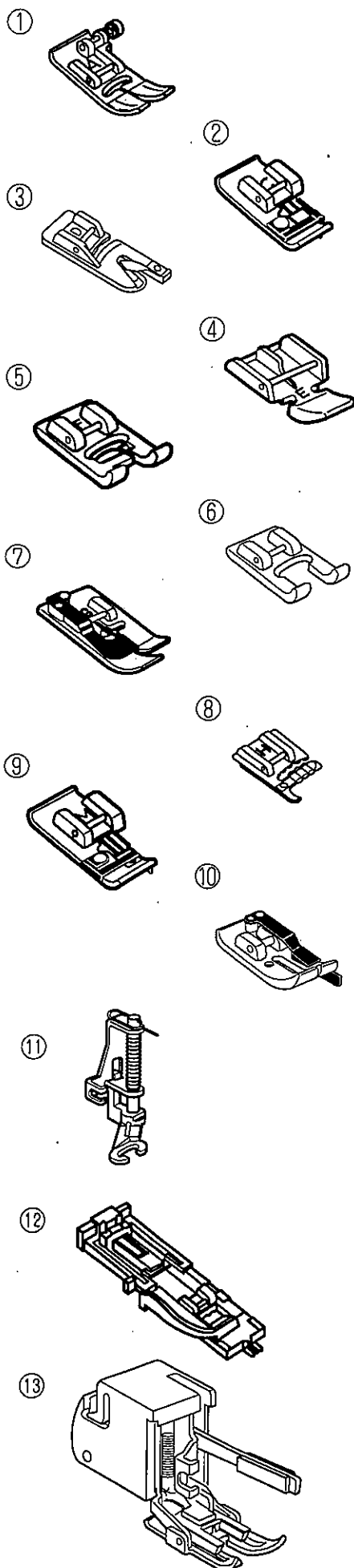
① 針をあげ、押さえ上げをあげます。

② 押さえホルダー止めねじを左にまわして外し、押さえホルダーを外します。

【2】

【2】押さえホルダーの付け方

押さえ棒の取り付け穴に押さえホルダーの穴を合わせ、押さえホルダー止めねじを右にまわしてしっかり取り付けます。

●各種押さえと用途

① A：基本押さえ
直線ぬいを主に、地ぬいをする時に使用します。
糸締まりが良く、パッカリングの発生にも強い形状をしています。

② C：たち目かがり押さえ
たち目かがり専用の押さえで、布の端面での空ぬいに対応するよう右針落ち部をブラシ状にしています。

③ D：三つ巻き押さえ
三つ巻きぬいによる布端面処理をするために、布端を巻き込むための器具がついています。

④ E：ファスナー押さえ
ファスナーをぬいつけるための特殊な形をしています。

⑤ F：サテン押さえ
密着模様ぬい、飾り模様ぬいをするための押さえで前後進ぬいで模様を安定させるために押さえの裏が逃げています。

⑥ F2: サテン押さえ2
前側があいており、針元が見やすくなっています。
パッチワークやアップリケなどにお使いください。

⑦ G：くけぬい押さえ
ぬい幅を一定にするためのガイドが付いています。

⑧ H：紐（ひも）付け押さえ
コード付け専用の押さえで、コードの案内が付いています。

⑨ M：縁かがり押さえ
縁かがり専用の押さえで、針落ちに合わせて設けられたピンが布のカーリングを防ぎます。

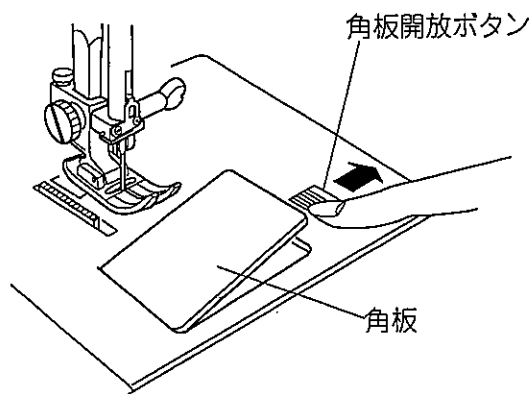
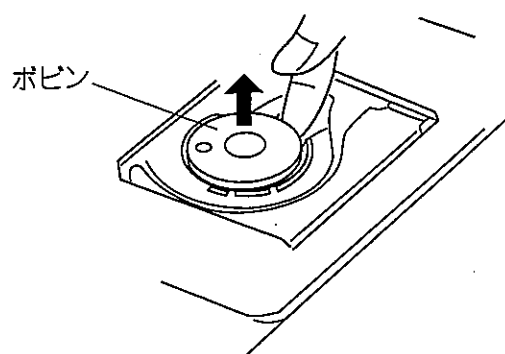
⑩ O：パッチワーク押さえ
キルティング専用の押さえで、ぬい幅を一定にするためのガイドが付いています。

⑪ P：しつけ押さえ
しつけぬい専用の押さえで、針の上下と同期して上下する構造になっています。その他、フリーキルティングにも使用できます。

⑫ R：オートマチックボタンホール押さえ
ボタンホール専用の押さえで、全てのボタンホールぬいと、ダーニングぬいに使用します。

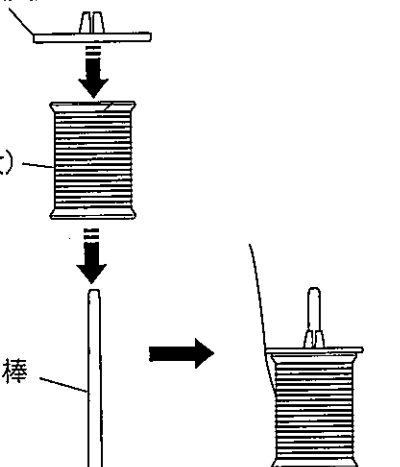
⑬ 送りジョーズ
ぬいずれ、パッカリングを防ぐ目的の専用押さえです。

●下糸の準備をしましょう

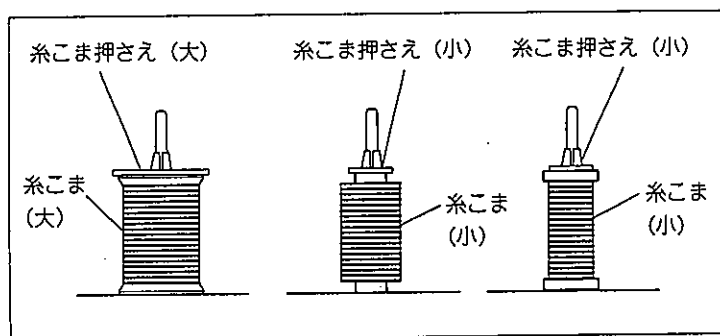
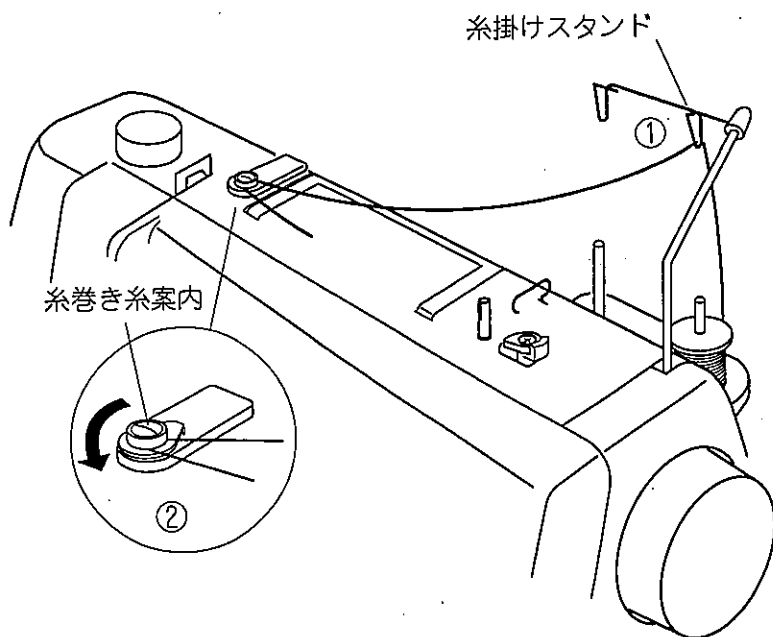
①

②

★ボビンを取り出します

① 角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

② ボビンを取り出します。

※ ボビンの巻き量が少ないものは、使用しないでください。糸がらみの原因になります。
※ ボビンは、必ず、専用ボビンをご使用ください。他の製品を使用すると故障の原因になります。

★糸こまをセットします

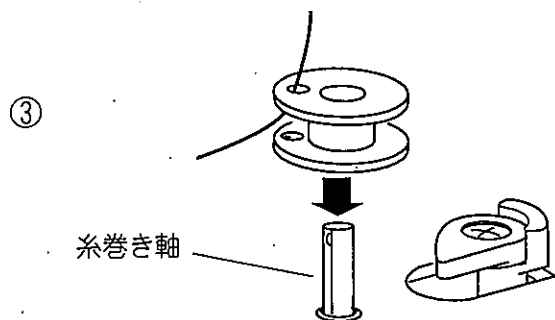
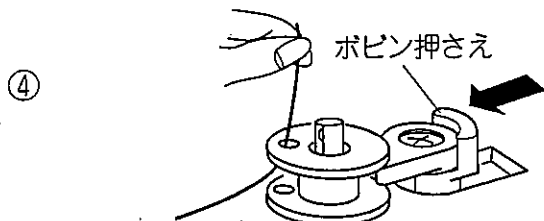
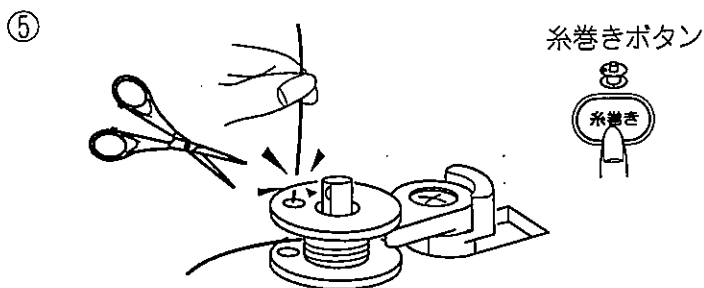
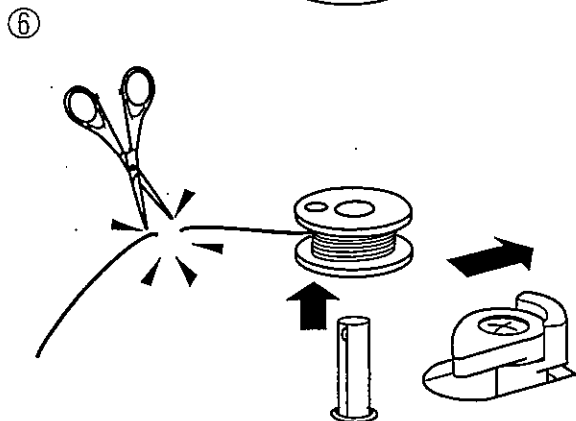
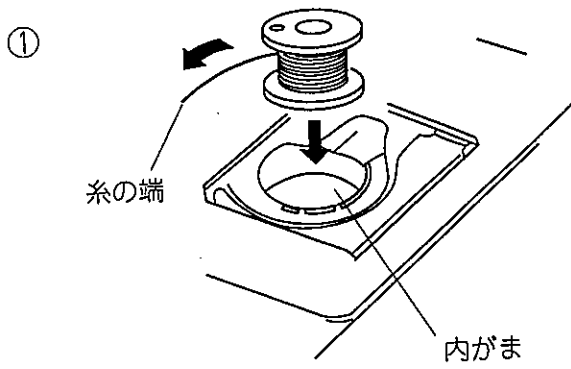
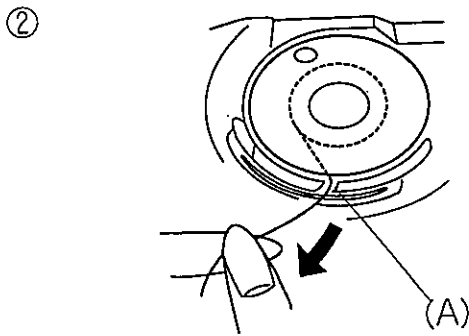
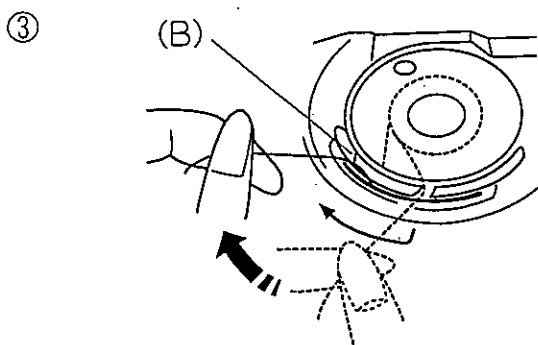
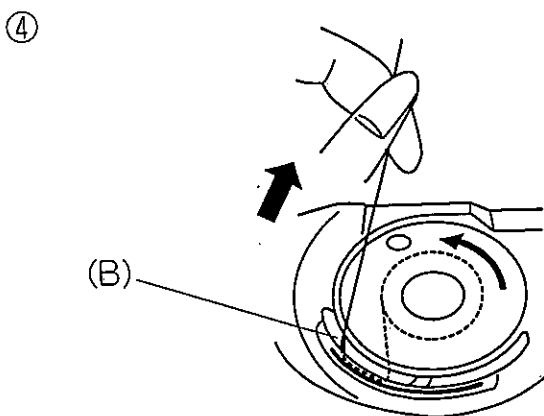
糸の端が左から向こう側に出るようにして、糸立て棒に糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

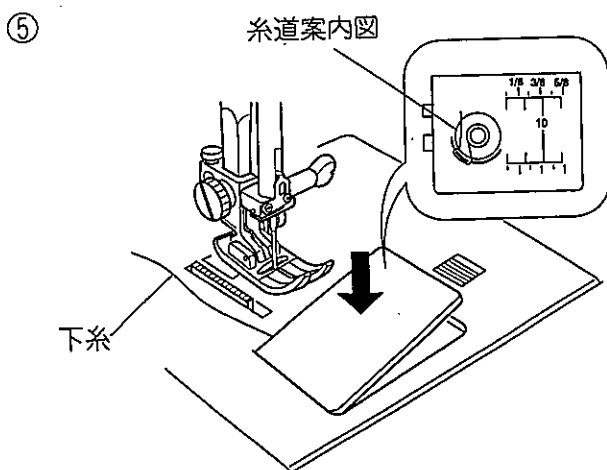
※ 糸こまの糸残りが少ない物は使用しないでください。糸がらみや、糸抜けの原因になります。
※ 糸こま押さえ（小）は、小さい糸こまに使用します。

★ボビンに糸を巻きます

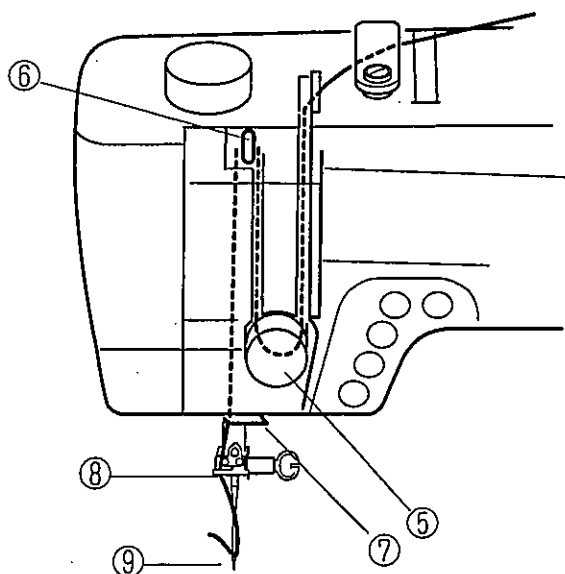
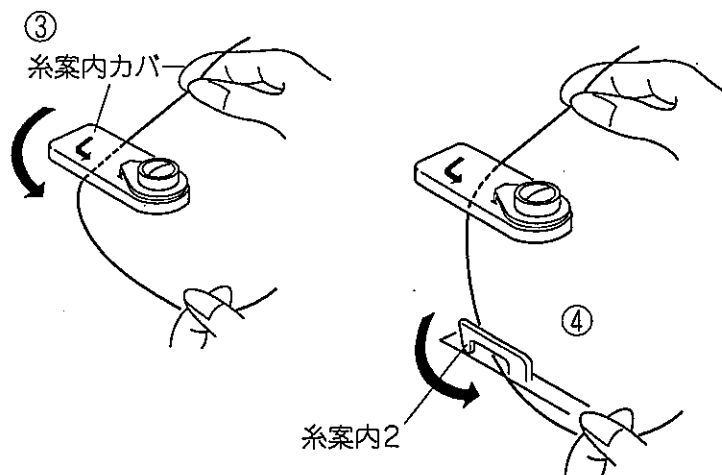
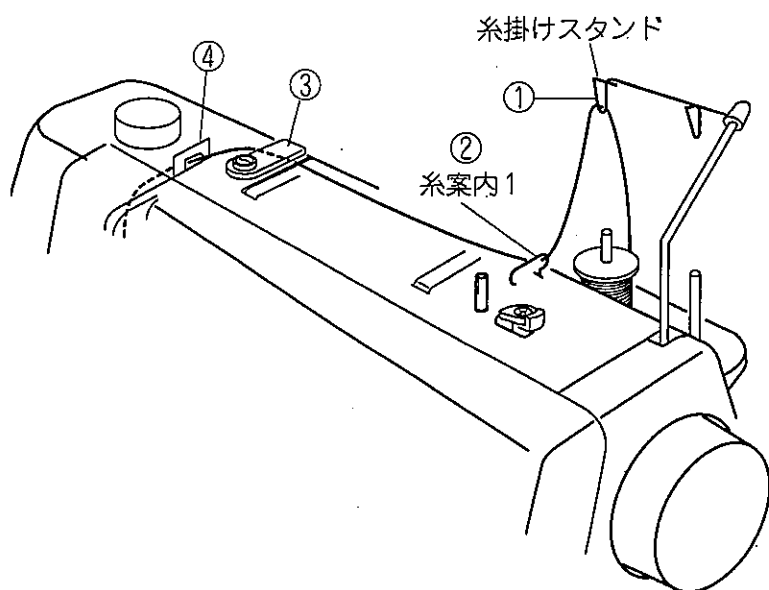
※ 糸巻き専用モータを内蔵していますので、いつでも糸を巻けます。

① 糸掛けスタンドに糸を通します。

② 糸巻き糸案内に糸をかけます。

③ ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

④ ボビン押さえをボビンの方に押しつけます。

⑤ 糸の端をつまんだまま（図のように上方向にかるくつまんでおきます。）糸巻きボタンを押します。糸巻きがスタートして糸が3重ほど巻きついたら、糸巻きボタン押して止めます。つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

⑥ 糸巻きボタン押し、再びスタートします。
巻き終わると自動的に止まりボビン押さえが右に移動してもとの位置にもどります。
ボビンを糸巻き軸から外して、糸を切ります。

★ボビンをセットします

① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

② 糸の端を引きながら、手前のみぞ（A）にかけます。

③ 糸を引きながら、左へ移動させ、みぞの外側とバネの間を通して、左側のみぞ(B)のところに出します。

④ 糸を左側のみぞ(B)にかけるように向こう側に出します。

※ 糸を引き出したとき、ボビンは、反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上下逆に入れかえてください。

⑤ 下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側から合わせてつけます。

●上糸の準備をしましょう

★上糸をかけます

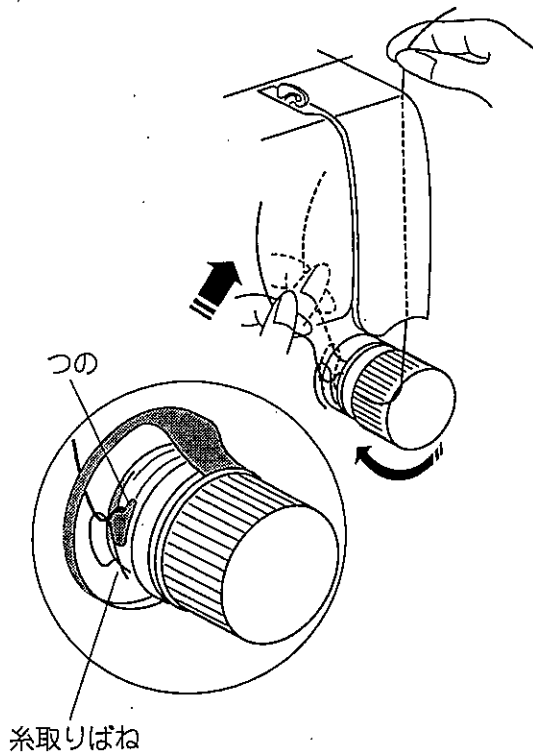
※ 糸こま外れ防止のため、必ず、糸こま押さえを使用してください。
※ 上糸は ① ～ ⑨ の順にかけます。
※ ⑨（針）には、糸通しを使って通します。
※ 押さえ上げは、あげておきます。
※ 電源を入れ、上下停針ボタンを2度押して、針を上にあげます。
電源スイッチを切ります。

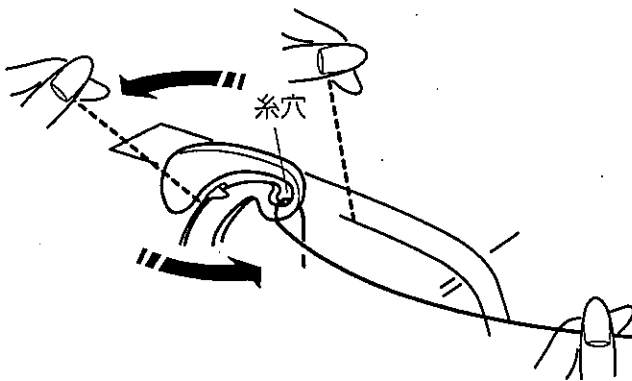
① 糸こまから引き出した糸を糸掛けスタンドに糸を通します。

② 糸案内１にかけます。

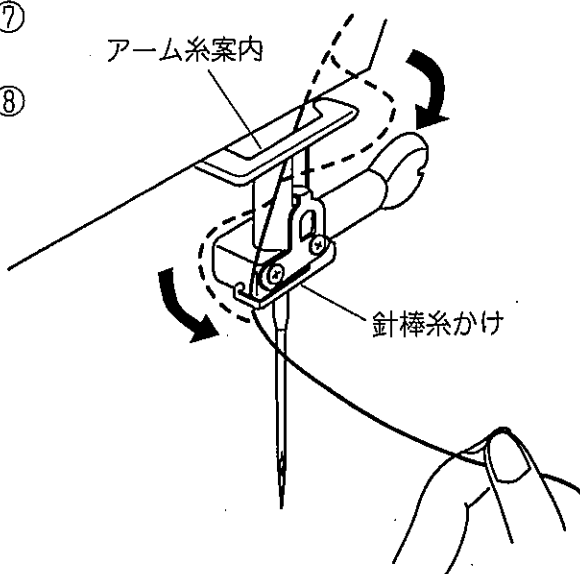
③ 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むようにして糸案内カバーのスキマに通します。

④ 糸案内2に糸をかけ、みぞにそって手前に糸を引き出します。

⑤

⑤ 糸を押さえ、糸調子器の下をまわし左上に引きあげて、糸取りばねにかけます。
※ 図の様に、確実につのに糸がかかっていることを確認してください。

⑥

⑥ 糸こまの糸を押さえ、天びんに右からうしろへまわし、バネを通過させて糸穴に入れ、まっすぐにおろします。

⑦

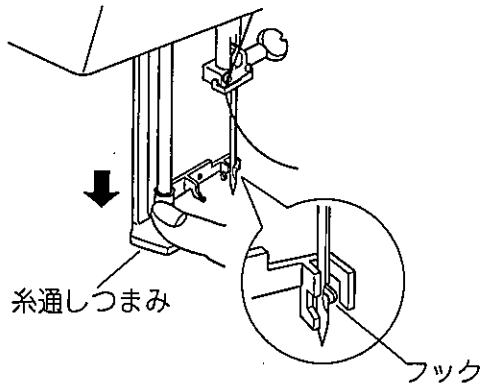
⑧

⑦ アーム糸案内に右からかけます。

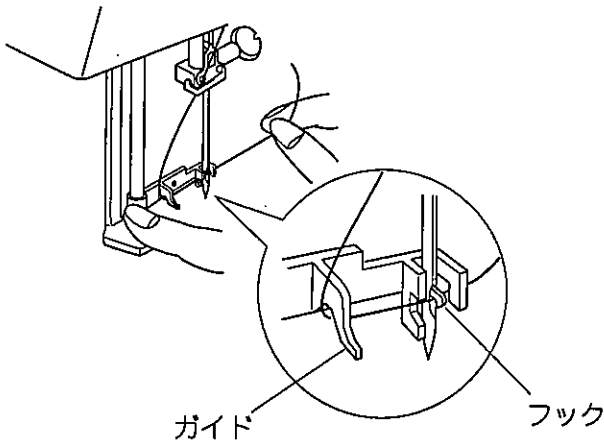
⑧ 針棒糸かけに左からかけます。

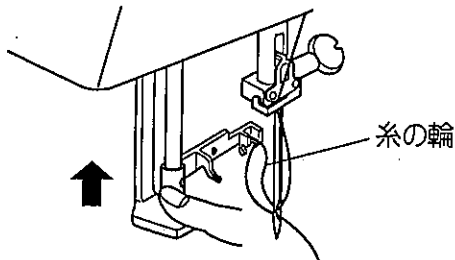
⑨ 糸通しを使って針に糸を通します。
（糸通しの使い方は、18ページをごらんください。）

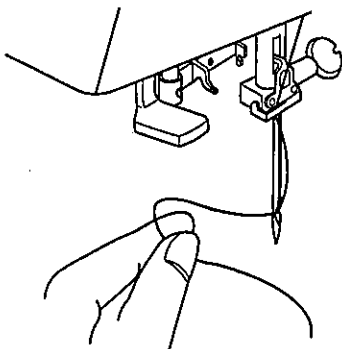
★糸通しの使い方

※ 針は、11番～16番
　糸は、一般糸50～100番
※ 2本針のときには、糸通しは使えません。
※ 押さえをさげます。

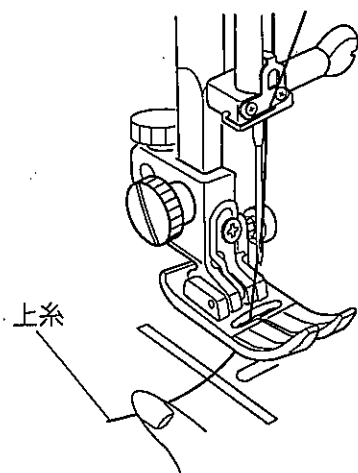
①

① 糸の端を軽く持ち、糸通しつまみを止まるまでいっぱいにさげます。

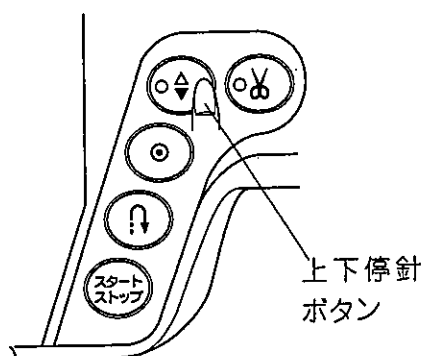
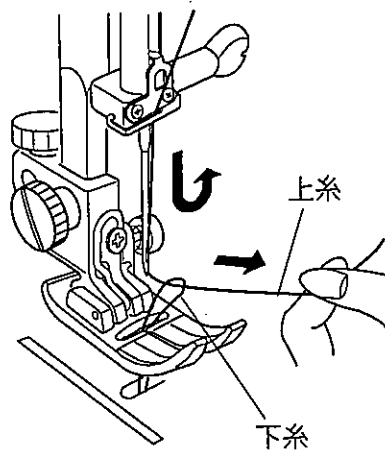
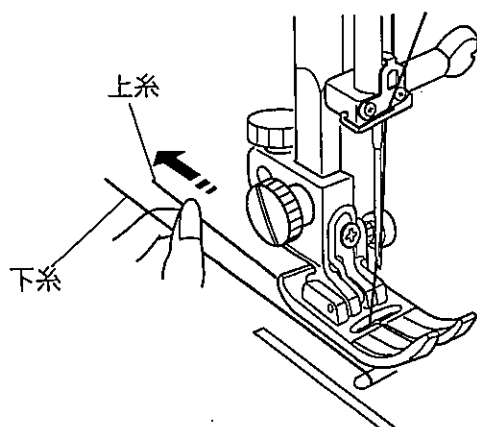
②

② 糸を左側からガイドとフックにかけます。

③

③ 糸の端を軽く持ったまま、糸通しつまみを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。
※糸の輪が出ないとき、針の付け方がよくないか、または、針が曲がっています。針の取りかえ方（２０ページ）を確認ください。

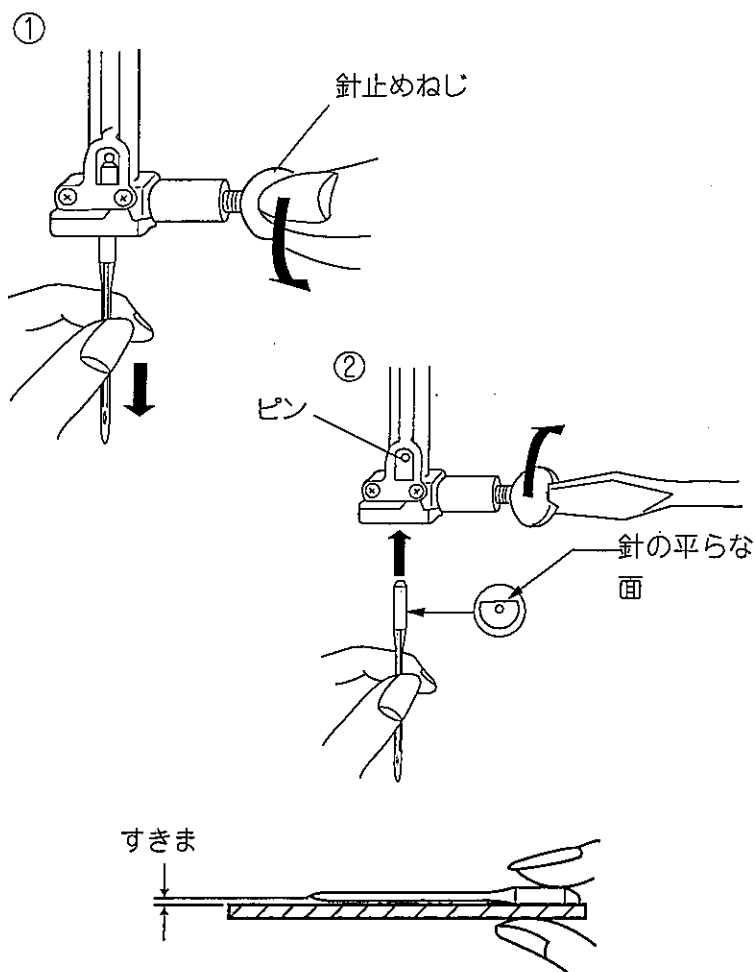
④

④ 糸の輪を糸通しから外し、針穴から端を引き出します。

★下糸の引きあげ方

①

① 押さえをあげ、上糸の端を指で押さえておきます。

②

② 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを２回押して、針をあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③

③ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

●針のとりかえ方

すきま

⚠注意

針の交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
けがの原因になります。

① 針をあげ、押さえをさげます。
針止めねじを手前に1〜2回まわしてゆるめ、針を外します。

② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをねじまわしでかたくしめます。

【針の調べ方】

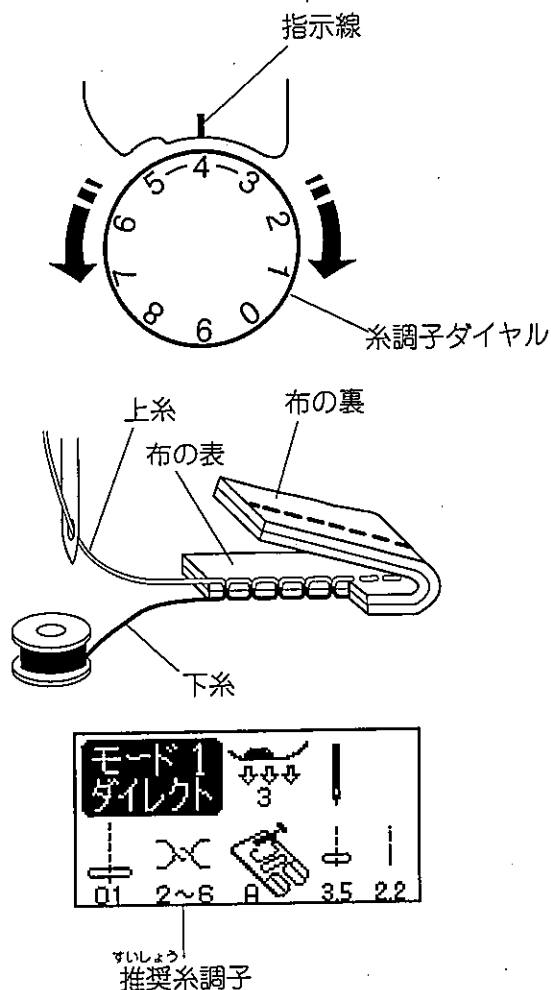
針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、スキマが針先まで均等に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

布の厚さ	布の種類 木綿	絹	ウール・化繊織物	ニット	糸	針
うすい布	ローン ボイル	シフォンジョーゼット オーガンジー	デシン クレープ モスリン	スムーズニット地 トリコット地	絹糸　80番〜100番 綿糸　80番〜100番 化繊糸 80番〜100番	9番〜11番
普通の布	ブロード サッカー ピケ	タフタ ファイユ サテン	ジョーゼット フラノ サキソニー	ジャガード ニット地	絹糸　50番 綿糸　60番〜80番 化繊糸 50番〜80番	11番〜14番
					綿糸　50番	14番
厚い布	デニム キルティング ギャバジン		ツィード ギャバジン コート地	ダブルニット地	絹糸　50番 綿糸　40番〜50番 化繊糸 40番〜50番	14番〜16番
					絹糸　30番 綿糸　30番	16番

※ 普通、上糸と下糸は同じ糸を使います。
※ うすい布には細い糸と細い針、厚い布には太い糸と太い針を使いましょう。
※ 針や糸は、実際にぬう布のはぎれを使って、必ず試しぬいをして確かめてみましょう。
※ ジャノメブルー針は、柄の部分が青色をしています。伸縮性のある布（ニット地）や、目とびしやすい合・化繊地に効果があります。

●糸調子の合わせ方

【1】

推奨糸調子

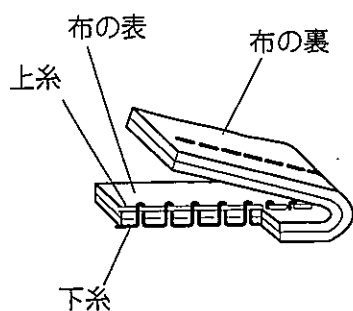
【1】バランスのとれた糸調子

模様を選択すると、液晶表示画面に模様の推奨糸調子が表示されます。糸調子ダイヤルをまわして推奨値を目安に合わせてください。
素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

※ 直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

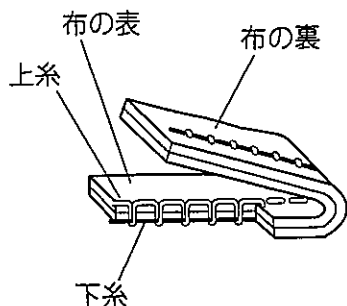
※ ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

【2】

布の表
布の裏
上糸
下糸

【2】上糸が強すぎるとき

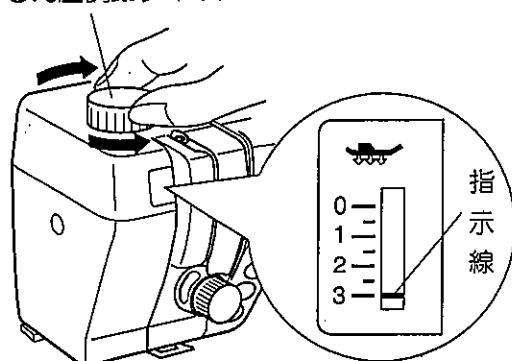
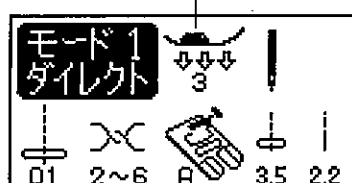
下糸が布の表に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を小さくします。

【3】

【3】上糸が弱すぎるとき

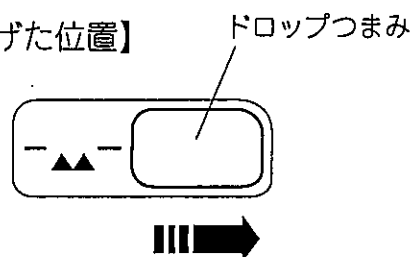
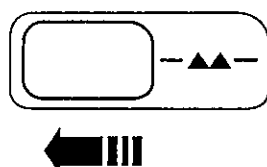
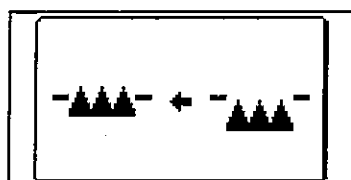
上糸が布の裏に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を大きくします。

●押さえ圧調節ダイヤルの使い方

模様を選択すると、液晶表示画面に模様の推奨(すいしょう)押さえ圧が表示されます。押さえ圧調節ダイヤルをまわして推奨(すいしょう)値を目安に合わせてください。
普通ぬいのときは押さえ圧調節ダイヤルをまわして指示線を「3」に合わせます。
うす手の化繊地や伸縮性の布地をぬうとき、およびアップリケなどぬいしろ部分が重なりあうものをカーブしてぬうときなど、ぬいずれしやすい場合は押さえ圧調節ダイヤルをまわして指示線を「2」または「1」に合わせます。

※ 押さえ圧は、「0」の位置よりゆるめないでください。

●送り歯のさげ方

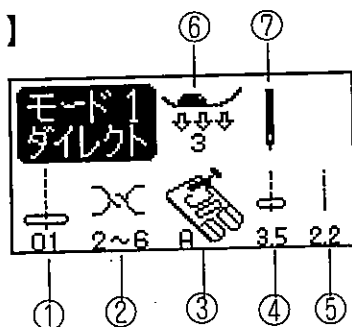
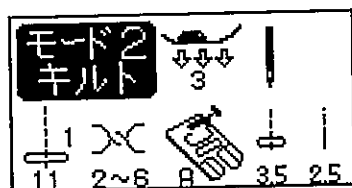
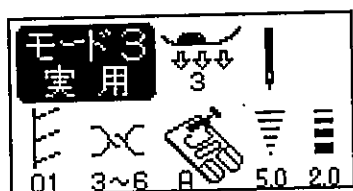
【送り歯をさげた位置】

しつけぬいやボタン付けなどで送り歯をさげるときは、ドロップつまみを右に動かします。

※ 送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら、送り歯をあげる位置にもどしておきます。送り歯は、ミシンが回転すると自動的にあがります。

【送り歯をあげた位置】

警告画面

※ モード1直線ぬい、ジグザグぬい、3点ジグザグ(01 02 08 09)、モード2模様＃25、＃28、＃53、＃57〜＃60は送り歯をさげた状態でも（警告画面が表示されます。）ぬうことができます。
その他の模様は、送り歯をさげた状態でスタートすると、警告画面がでます。

●モードの切りかえ

通常ぬいモードは３つに分類されていて、モードボタンを押すことによって、模様の選択をすることができるようになります。

【1】

【1】モード１（ダイレクト模様選択）

１０種類の模様を直接選択できます。
模様表示（模様選択ボタン）を直接押して、模様を選びます。

①模様（形状と番号）表示
②推奨糸調子を表示
③模様に適した押さえを表示
④ぬい目の幅表示
⑤ぬい目のあらさ表示
⑥推奨押さえ圧を表示
⑦２本針設定の有無表示

【2】

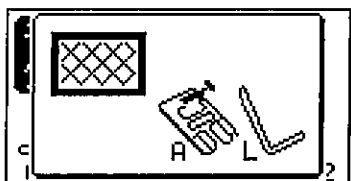
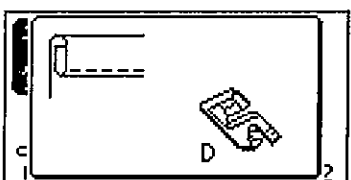
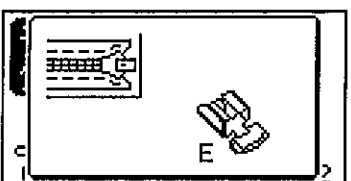
【2】モード２（キルティング）

パッチワークキルトに必要な模様が選択できます。

【3】

【3】モード３（実用ぬい）

ボタンホールや飾りぬいが選択できます。

●説明ボタン

説明ボタンを押すと、ぬい情報が表示されます。
説明ボタンが使用できる模様は、
モード1：模様＃01、＃08、＃09、＃10
モード3：模様＃01、＃02、＃03、＃04、＃05
＃22です。

(例) モード1模様＃01

【1】

【1】キルティングに必要な、押さえ、キルターを表示

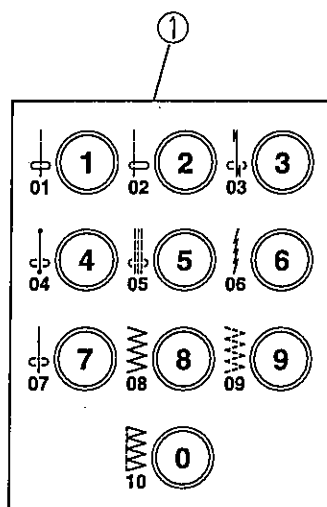
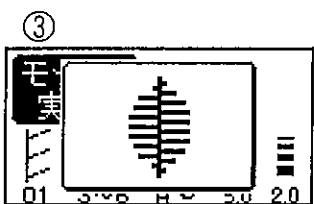
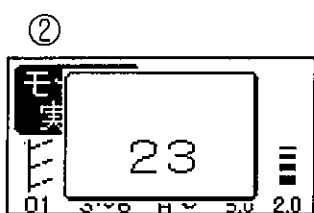
【2】

【2】三つ巻きぬいに必要な押さえ表示

【3】

E

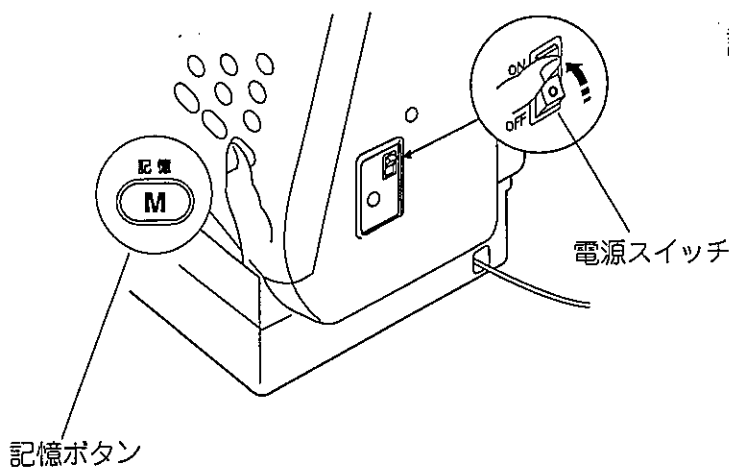
【3】ファスナー付けに必要な押さえ表示

●模様の選び方

モード1のとき……………………模様横の模様選択ボタンを押して選びます。
モード2～3のとき………………早見表模様番号2桁数字を入力して選びます。

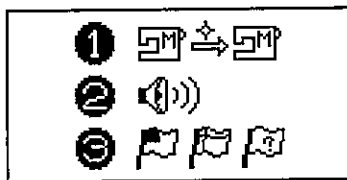
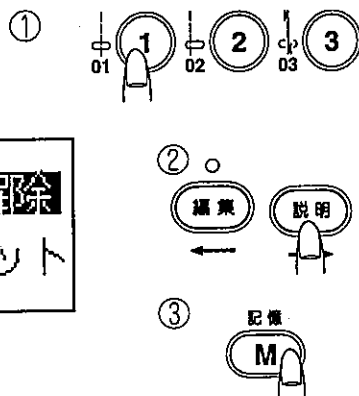
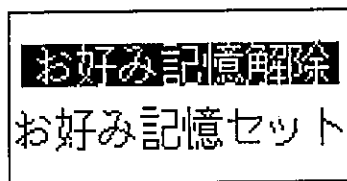
模様番号表示画面、模様表示画面のあと全体表示画面になります。
(例モード3模様＃23)

①模様選択ボタン
②模様番号表示画面
③模様表示画面
④全体表示画面

模様を単独ぬい（1種類の模様）の場合は、全体表示画面で糸調子の目盛り、押さえ圧の目盛り、押さえの種類、ぬい目の幅、あらさを確認してミシンをスタートします。
※ 模様を組み合わせてぬう場合には、59ページをごらんください。

●お好み記憶モード／ブザー音／多国語設定方法

記憶ボタンを押したままで、電源スイッチを入れます。

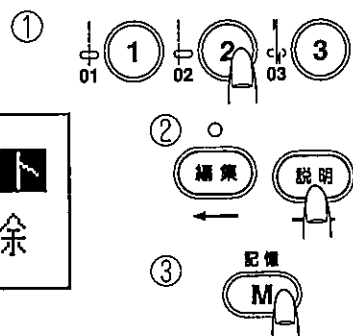
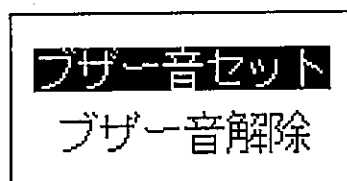
【1】

お好み記憶解除
お好み記憶セット

【1】お好み記憶モード

「お好み記憶セット」にセットすると電源を切っても、最後にぬった模様を呼び出すことができます。

① 模様選択ボタン「1」でお好み記憶モードを選びます。
② 「説明」または「編集」ボタンで、お好みの選択画面を選びます。
③ 「記憶」ボタンを押します。

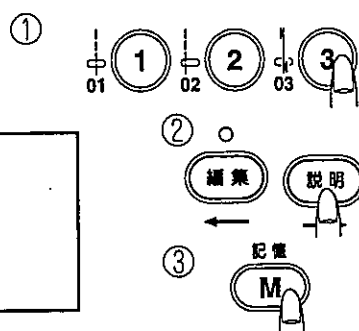
【2】

ブザー音セット
ブザー音解除

【2】ブザー音設定

「ブザー音解除」にセットするとボタン操作時のブザー音を消すことができます。

① 模様選択ボタン「2」でブザー音設定モードを選びます。
② 「説明」または「編集」ボタンで、お好みの選択画面を選びます。
③ 「記憶」ボタンを押します。

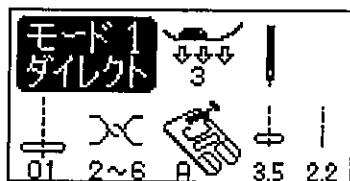
【3】

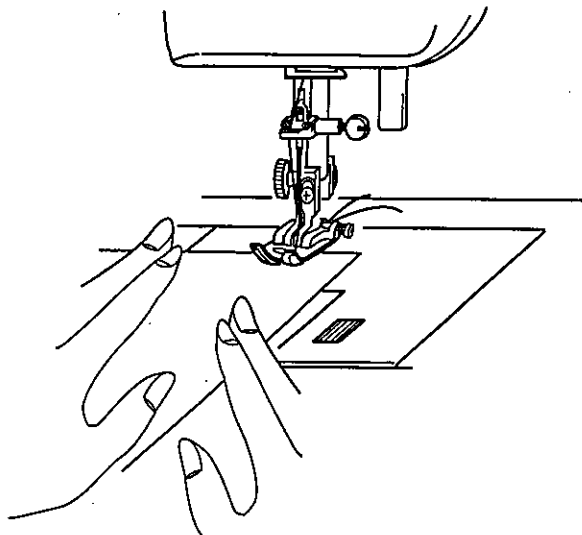
1.日本語
2.ENGLISH
3.PORTUGUES

【3】多国語設定

3カ国の言語が設定できます。

① 模様選択ボタン「3」で多国語設定モードを選びます。
② 「説明」または「編集」ボタンで使用する言語を選びます。
③ 「記憶」ボタンを押します。

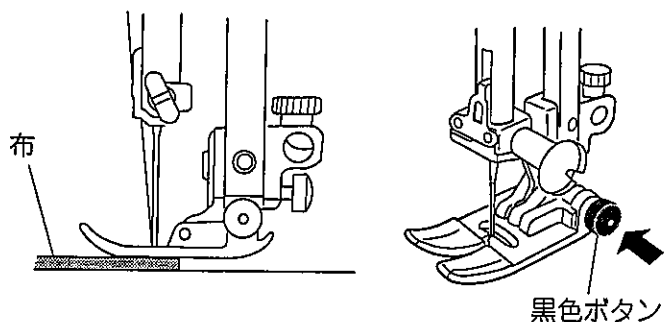
◎ダイレクト模様選択（モード1）

●直線ぬい

ミシンのセット
模様 .... 0 1 （モード1）
押さえ .... A:基本押さえ
糸調子 .... 2～6

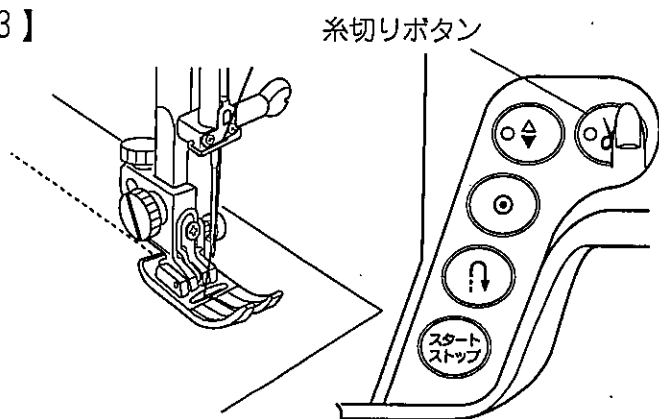
【1】

【1】ぬい始め

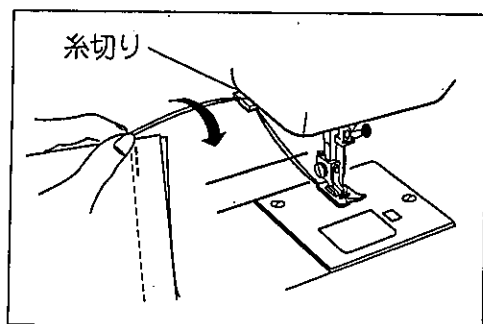
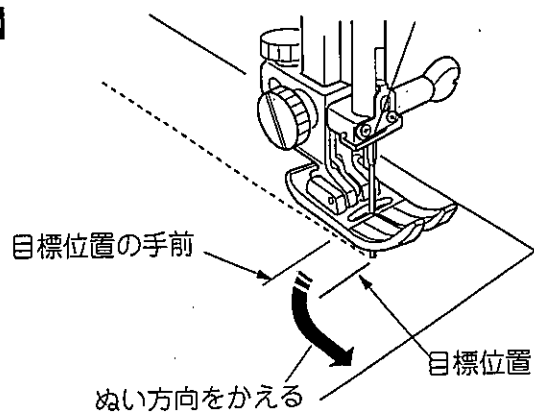
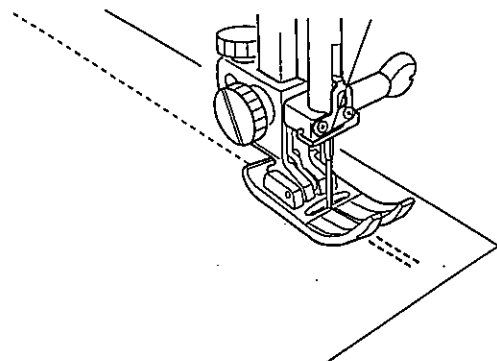
上糸と下糸を押さえの下を通し向こう側に引き出し、押さえをさげてぬい始めます。

※ F：サテン押さえとR：オートマチックボタンホール押さえのぬい始めの上糸下糸は、横に引き出しておきます。

【2】

【2】厚手の布端のぬい始め

ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押しこみます。
ボタンを押したままで押さえをさげます。
ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
押さえが完全に布の上にのると、黒色ボタンの押しこみは自動的に解除されます。

【3】

【3】ぬい終わり

ミシンを止め、糸切りボタンを押して糸を切ります。

※ ３０番より太い糸または、特殊糸を切るときには面板に付いている糸切りを使用してください。
布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

【4】ぬい方向をかえるには

目標位置の手前でミシンを止め、上下停針ボタンで目標位置までぬって針を布にさし、押さえをあげます。針を布にさしたまま、ぬい方向をかえて押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬい始めます。

【5】ぬい終わりの返しぬい

返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。

※ 模様 03 04 のぬい終わりには、返しぬいボタンを1度押すと、数針返しぬい（止めぬい）をして 自動的に止まります。

★布ガイドの利用

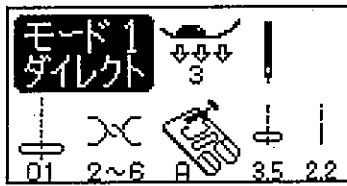
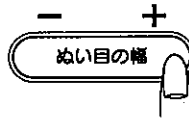
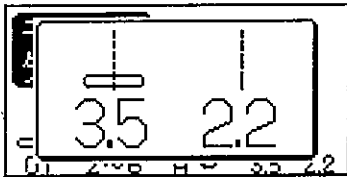
① 針板の取り付け穴に止めねじで布ガイドを仮止めします。

② 布ガイドをずらして、ガイド位置を決め、止めねじをしめます。

★針板ガイドラインの利用

布端を針板のガイドラインに合わせてぬいます。

※ ガイドラインの数字は、針穴中央からガイドラインまでの間隔を「ミリメートル」または、「インチ」で示しています。

★直線模様の針落ちの変更／ぬい目のあらさの合わせ方

【1】

【1】直線ぬいの針落ち位置をかえるとき

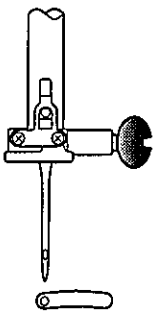
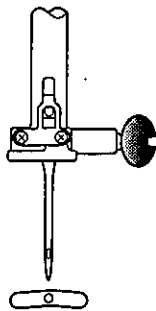
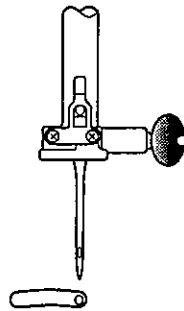
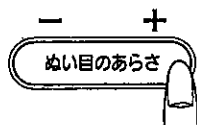
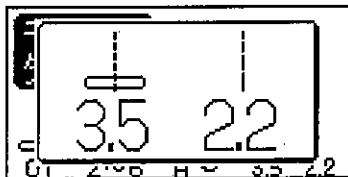
ぬい目の幅調節ボタンで針落ち位置をかえることができます。

「−」側を押すと、針が左へ移動します。

「＋」側を押すと、針が右へ移動します。

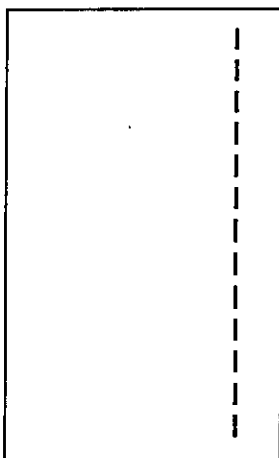
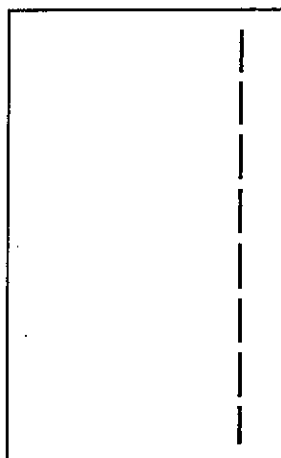
【2】

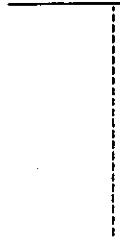
1.0

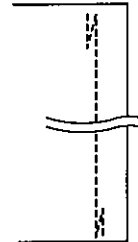
5.0

【2】ぬい目のあらさをかえるとき

ぬい目のあらさ調節ボタンでぬい目のあらさをかえることができます。

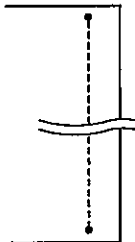
「−」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が細かくなります。

「＋」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目があらくなります。

★その他の直線状模様

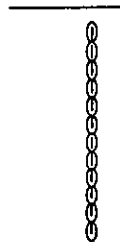
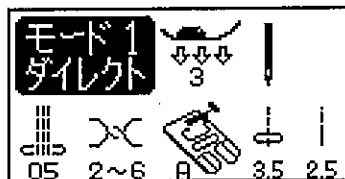
【1】

【1】直線ぬい
端ぬいに使用します。

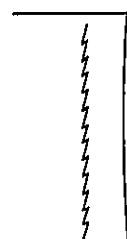
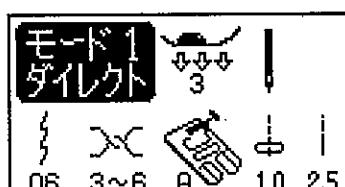
【2】

【2】自動返しぬい
しっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使用します。

(スタート・ストップボタン使用時)
ぬい終わりにきたら、ミシンを止め、返しぬいボタンを１度押します。数針返しぬいをして自動的に止まります。
ミシンを止めないときも返しぬいボタンを１度押すと、数針返しぬいをして自動的に止まります。
(フットコントローラー使用時)
ぬい終わりにきたら、返しぬいボタンを１度押します。
数針返しぬいをして自動的に止まります。

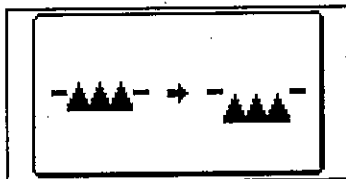
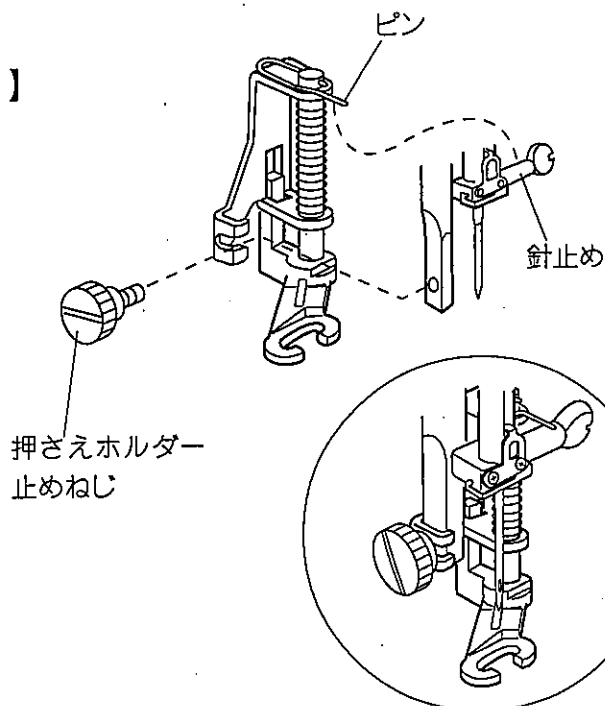
【3】

【3】自動止めぬい
目立たない止めぬいを自動的に行うときに使用します。

(スタート・ストップボタン使用時)
ぬい終わりにきたら、ミシンを止め、返しぬいボタンを１度押します。数針止めぬいをして自動的に止まります。ミシンを止めなくても返しぬいボタンを１度押すと、数針止めぬいをして自動的に止まります。
(フットコントローラー使用時)
ぬい終わりにきたら、返しぬいボタンを１度押します。
数針止めぬいをして自動的に止まります。

【4】

【4】三重ぬい
伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

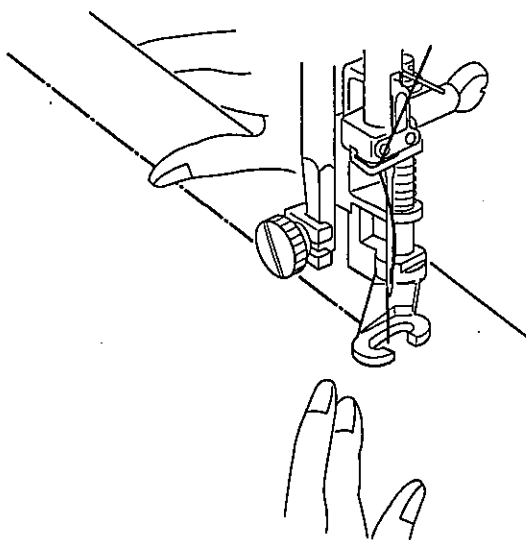
【5】

【5】伸縮ぬい
布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。

●しつけぬい

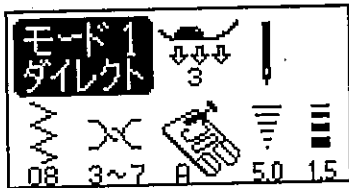
ミシンのセット
模様.............. 0 7 (モード1)
押さえ..........P: しつけ押さえ
糸調子.......... 1～3
※送り歯をさげてください。
※押さえ圧調節ダイヤルを「1」に合わせます。

【1】

【1】押さえの取り付け

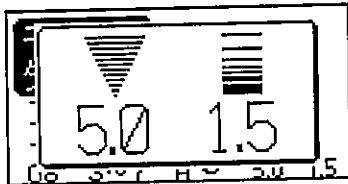
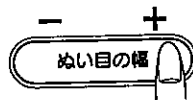
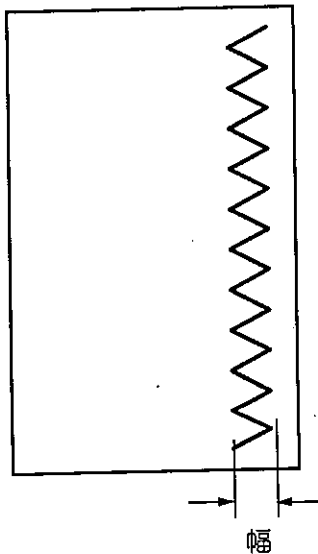
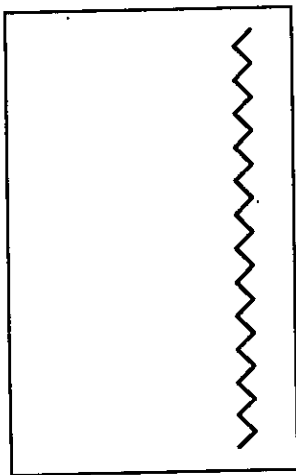
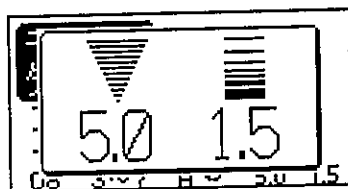
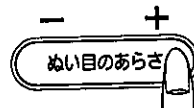
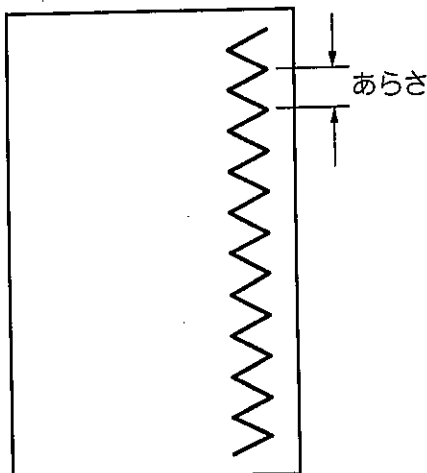
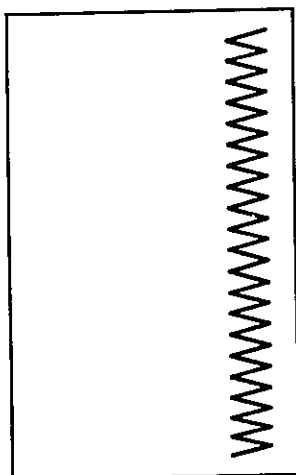
① 針と押さえをあげ、押さえホルダー止めねじをゆるめて押さえホルダーを外します。

② しつけ押さえのピンが針止めにのるように、押さえ棒に取付け、ねじまわしで止めねじをしっかりしめます。

【2】

【2】ぬい方

布を前後にピンと張ってぬいます。
1針ぬって針が止まったら、ぬい目をつまんで布を向こう側に引きます。

●ジグザグぬい

ミシンのセット
模様............. 0 8（モード1）
押さえ.......... A: 基本押さえ
糸調子.......... 3～7

【1】

【1】ぬい目の幅変更

「ぬい目の幅」調節ボタン「－」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の幅はせまくなります。
「ぬい目の幅」調節ボタン「＋」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の幅は広くなります。
ぬい中でも調節できます。

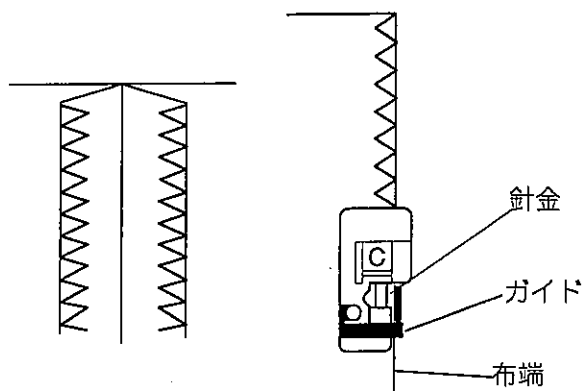
【2】

【2】ぬい目のあらさ変更

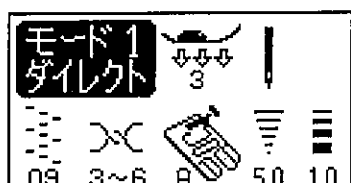
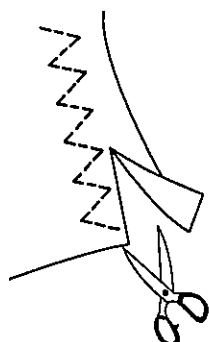
「ぬい目のあらさ」調節ボタン「－」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目のあらさが細かくなります。
「ぬい目のあらさ」調節ボタン「＋」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目のあらさがあらくなります。
ぬい中でも調節できます。

●かがりぬい

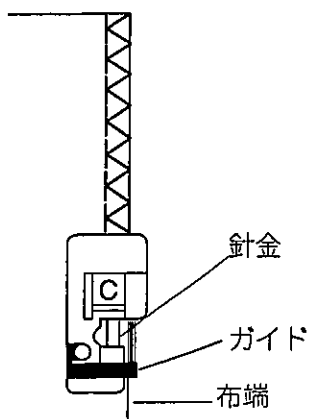
【１】ジグザグぬいたち目かがり

ミシンのセット
模様.............０８（モード1）
押さえ..........C: たち目かがり押さえ
糸調子..........３～７

※ ぬい目の幅は、５．０～７．０の間でぬいます。
※ ぬいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

布端をたち目かがり押さえのガイドに当ててぬいます。
布端のほつれ止めとして広く利用します。

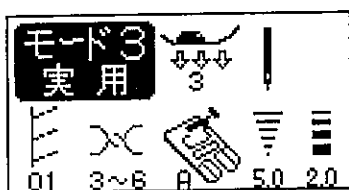
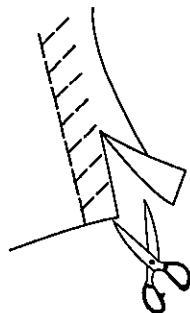
【２】トリコットぬいたち目かがり

ミシンのセット
模様.............０９（モード1）
押さえ..........A: 基本押さえ
糸調子..........３～６

ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに利用します。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

【３】かがりぬい

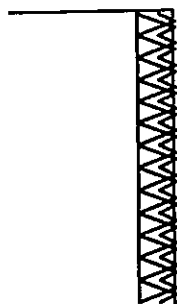
ミシンのセット
模様.............１０（モード1）
押さえ..........C: たち目かがり押さえ
糸調子..........３～７

地ぬいをかねたたち目かがりに使います。
布端を裁ち目かがり押さえのガイドに当ててぬいます。

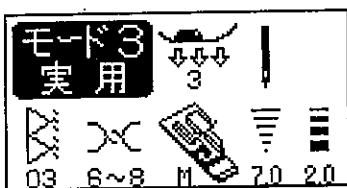
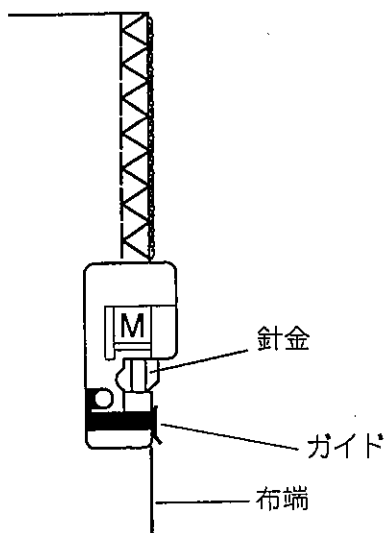
※ C：たち目かがり押さえを使用するかがりぬいのときは、ぬい目の幅を５．０～７．０の間でぬいます。
※ ぬいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

●その他のかがりぬい

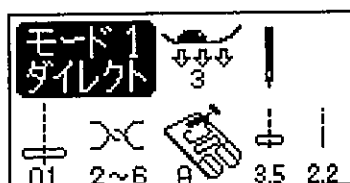
【1】ニットステッチ

ミシンのセット
模様............. 0 1（モード3）
押さえ.........A: 基本押さえ
糸調子.......... 3～6

ニット地のかがりぬいに利用します。
ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

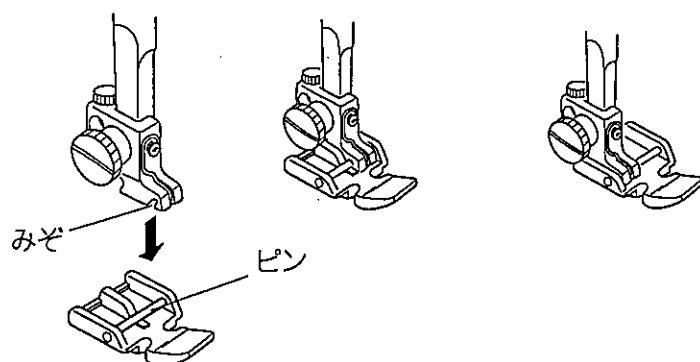
【2】かがりぬい1

ミシンのセット
模様............. 0 2（モード3）
押さえ.........C: たち目かがり押さえ
糸調子......... 3～7

中、厚地のしっかりした布端をかがるときに利用します。
布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

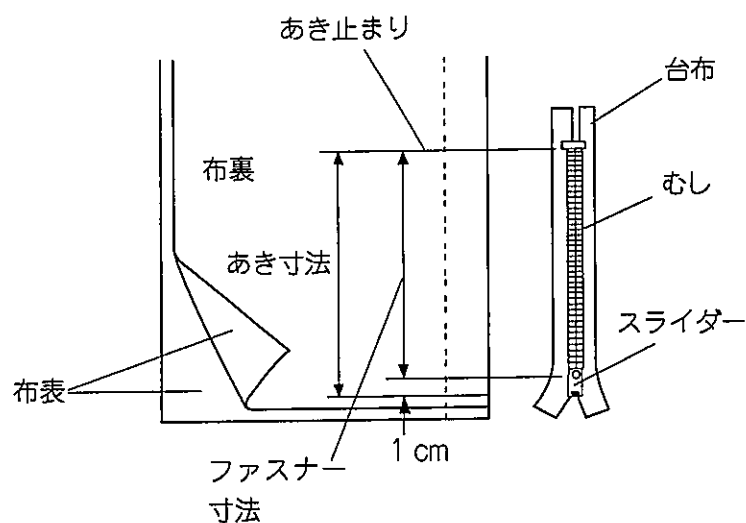
【3】かがりぬい2

ミシンのセット
模様............. 0 3（モード3）
押さえ.........M: 縁かがり押さえ
糸調子......... 6～8

オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやすい布地のかがりぬいや、たち目かがりに利用します。
布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

※ ぬいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

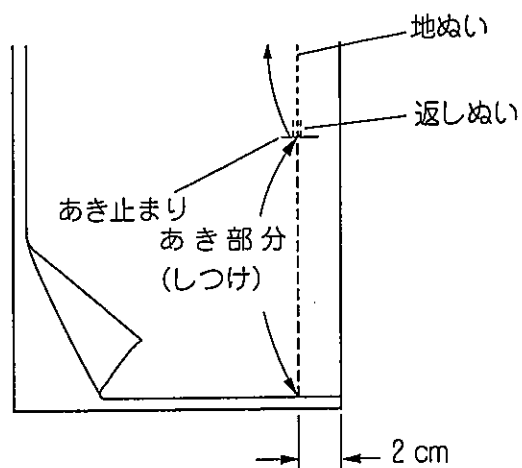
●ファスナー付け

ミシンのセット
模様............. 0 1 (モード1)
押さえ.........E: ファスナー押さえ
糸調子......... 2～6

【1】

【1】ファスナー押さえの付け方

左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。
右側をぬうときは、左側にセットします。

【2】
①

【2】準備 (例：左脇あきのぬい方)

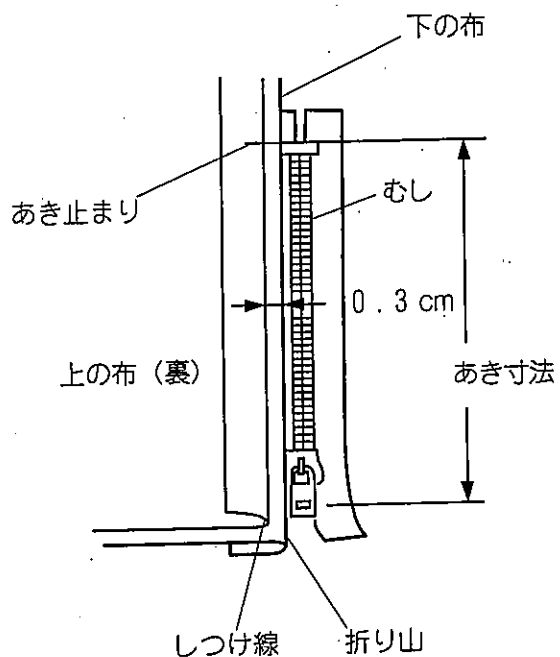
① ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法はファスナー寸法に1 cmプラスした寸法です。

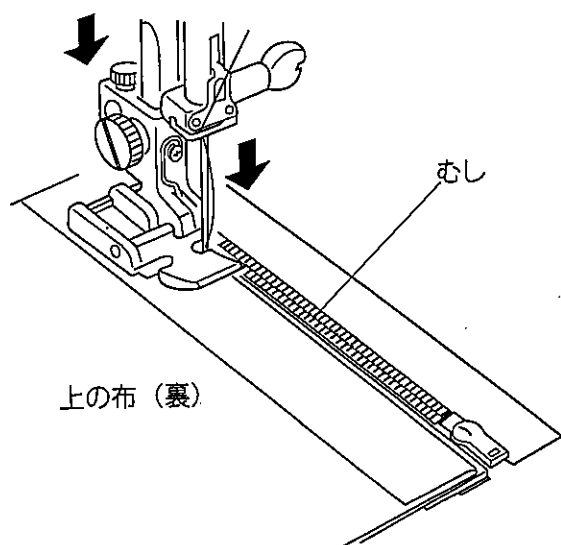
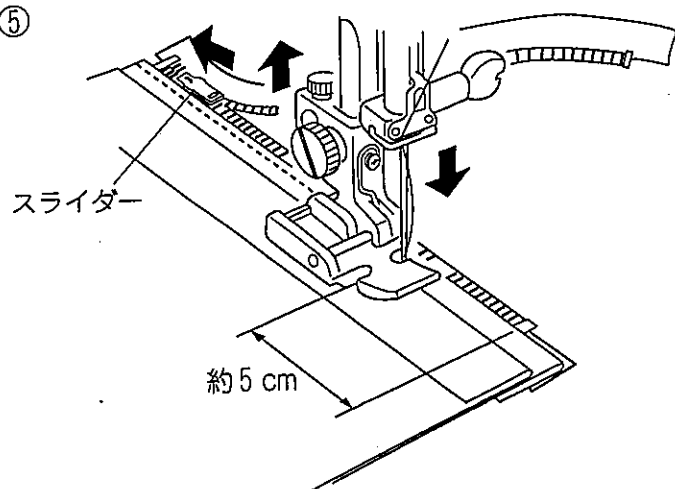
②

② 仮ぬいのしつけと地ぬいをします。
布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。
あき部分は、ぬい目のあらさ0．5 cmでしつけをします。
※しつけは、ほどきやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

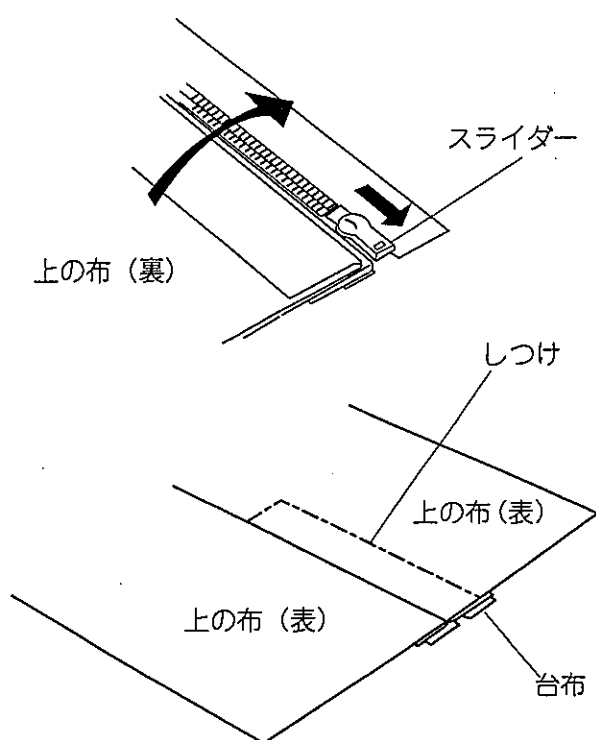
【3】

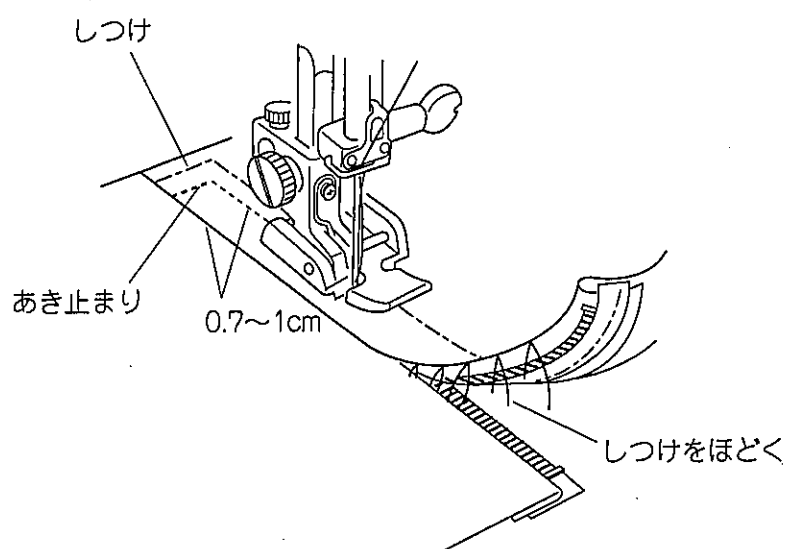
③

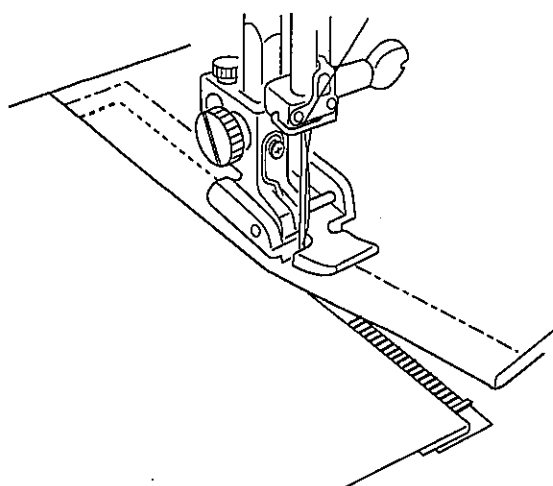
④

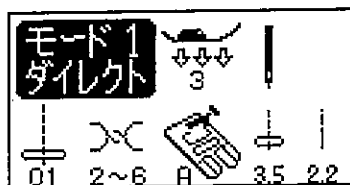
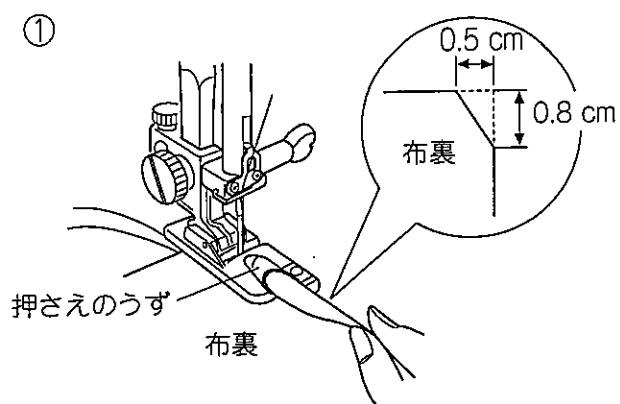
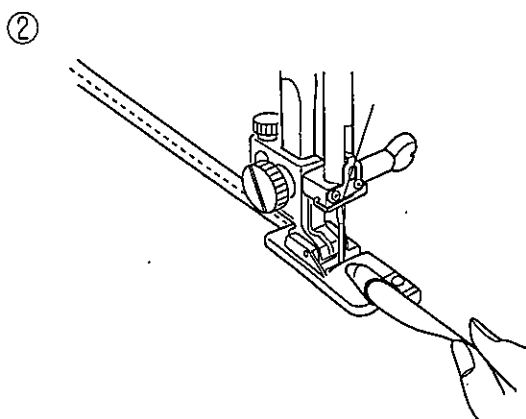
⑤

【3】ぬい方

③ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを0．3 cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

④ 押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。

⑤ ファスナーの端から約5 cmほど手前でミシンを止め、針を布にさします。
押さえをあげてスライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

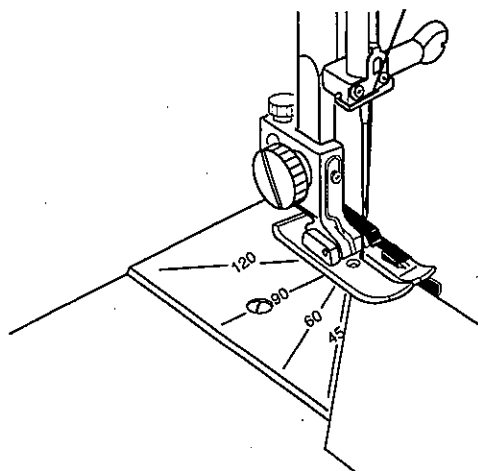
⑥

⑥ ファスナーをとじ、スライダーを上にたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。
かぶせた布と台布をしつけで止めます。

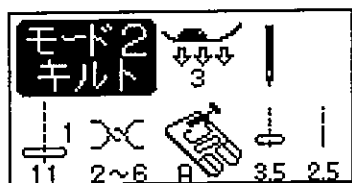
⑦

⑦ 押さえホルダーをファスナー押さえの左側につけかえ、上の布のあき止まりを(0．7〜1 cm)返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。
ファスナーの上側を5 cmほど残したところで止め、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押さえをあげて、手順 ② でぬったしつけ糸をほどきます。

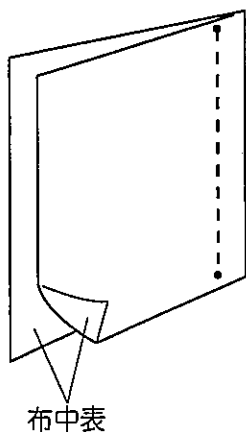
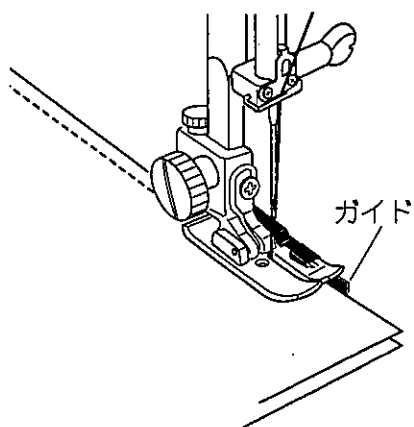
⑧

⑧ スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順 ⑥ でぬったしつけ糸をほどきます。

●三つ巻きぬい

ミシンのセット
模様............. 0 1 （モード1）
押さえ.........D: 三つ巻き押さえ
糸調子......... 2〜6

① 布を巻き込みやすくするため角を少し切り、押さえのうずの中に布を針がとどくところまで入れて、針をさして押さえをさげます。

② 上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、手ではずみ車を手前に3〜4回まわします。
正しく巻き込まれたら、親指と人さし指で布をつまみ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ち上げながらぬいます。

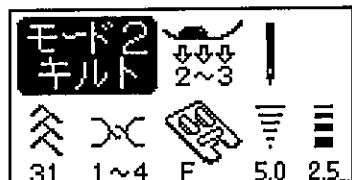
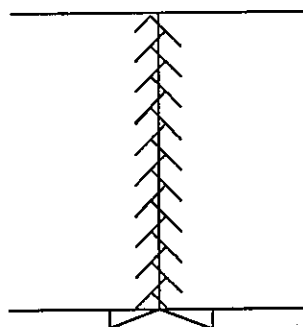
◎キルティング（モード2）

●針板角度目盛の利用

パッチワーク布片の形状により針板の角度目盛りに布端を合わせると、印なしでぬえます。

●地ぬい

ミシンのセット
模様.............. 1 1 （モード2）
押さえ..........O: パッチワーク押さえ
糸調子.......... 2～6

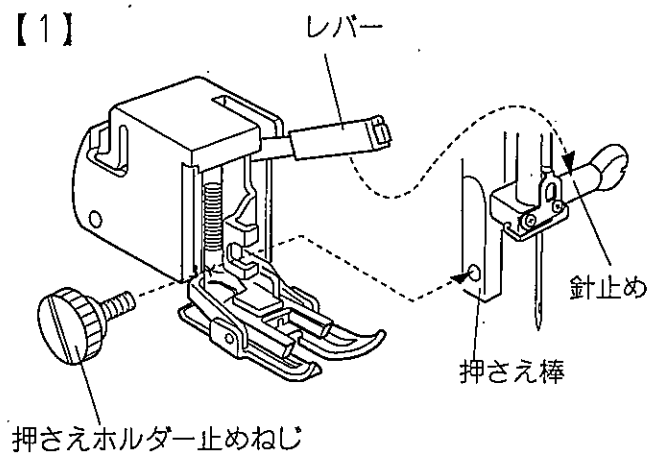
布中表

※モード1の自動返しぬい付き模様 03 や自動止めぬい付き模様 04 を使用すると便利です。

布を中表に合わせ、ガイドに布端をあてるだけで、ぬい代０．７cmがぬえます。

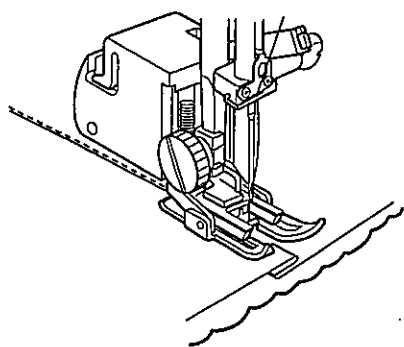
●パッチワーク

ミシンのセット
模様.............. 3 1 （モード2）
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 1～4

※モード2模様＃28～32、＃38、＃61～68などを使用ください。

布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

●送りジョーズの使い方

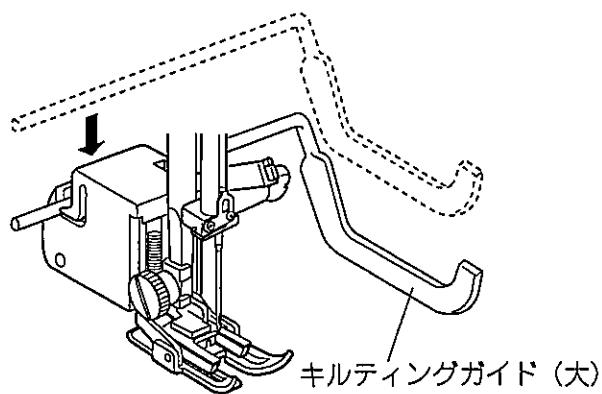
【1】

【1】取り付け方

押さえホルダーを外し、レバーを針止めにのせ、送りジョーズを押さえ棒に押さえホルダー止めねじで取り付けます。

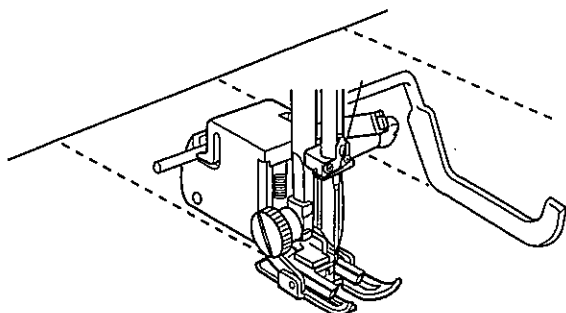
【2】

【2】ぬい

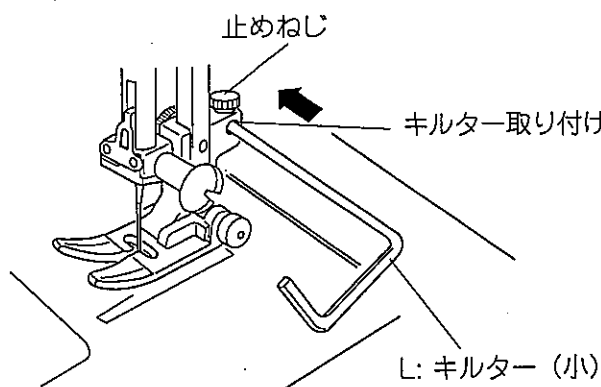
ぬい速度はスピードコントロールつまみを低速または、中速位置にセットします。

落としミシン(接ぎ合わせた布どうしのぬい目のきわに目立たないようにかけるステッチ）やキルティングをします。

【3】

【3】キルティングガイド（大）の使い方

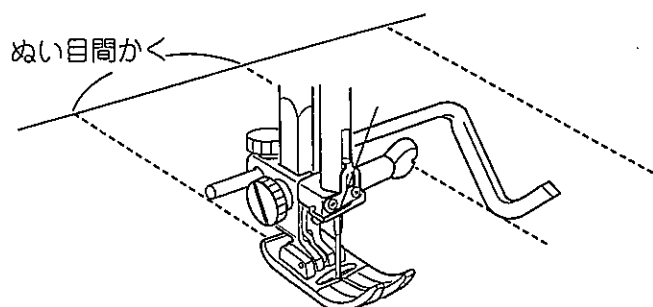
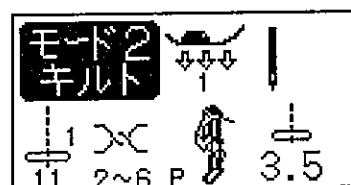
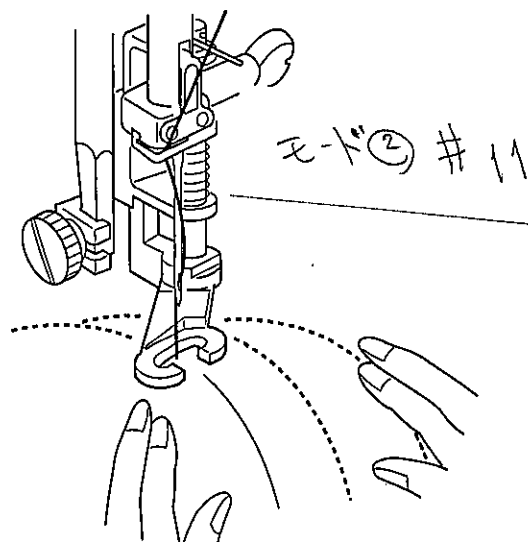
① キルティングガイド（大）を上から下に向けて押し込んで固定します。

② キルティングのぬい目間かくに合わせて、キルティングガイドの左右方向の位置を調節します。

●キルティング

ミシンのセット
模様………… 0 1 （モード1）
押さえ………A: 基本押さえ
糸調子……… 2～6
※押さえ圧調節ダイヤルを「2」に合わせます。

① 止めねじをゆるめます。

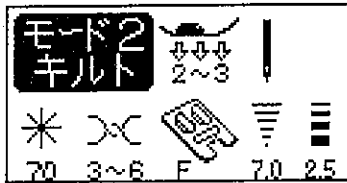
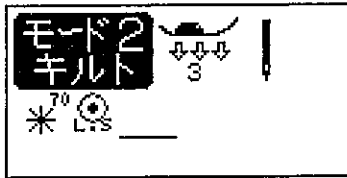
② キルター（小）を押さえホルダーの取り付け穴に差し込み、ぬい目の間かくに合わせます。

③ 止めねじをしめます。

※ キルターは、前にぬったぬい目をたどるのに使います。

●フリーキルティング

ミシンのセット
模様………… 1 1 （モード2）
押さえ………P: しつけ押さえ
糸調子……… 2～6
※送り歯をさげてください。
※押さえ圧調節ダイヤルを「1」に合わせます。

※ 押さえの取り付け方は、30ページをごらんください。
※ フリーキルト模様は、
モード2模様# 11、# 25、# 28、# 53、# 57～60です。
(その他、モード1模様# 01～02、# 08～09も押さえ圧調節ダイヤルを「1」にして使用できます。)

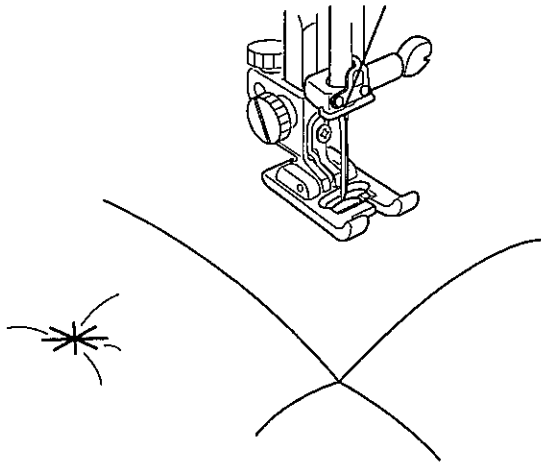
曲線などの図案を両手で布を案内しながらキルティングします。

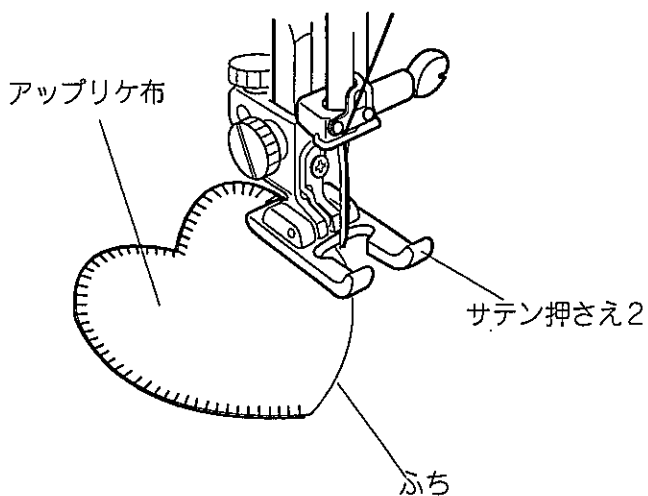
※ 布を手前に引かないでください。針曲がりの原因になります。

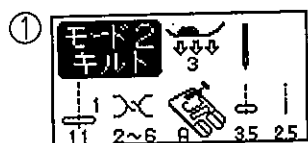
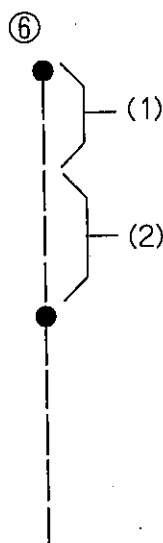
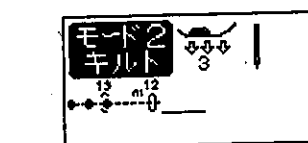
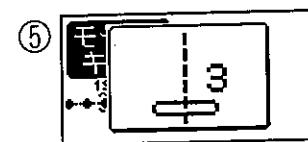
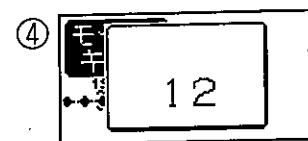
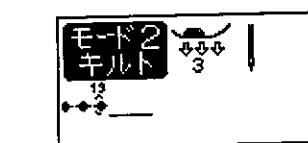
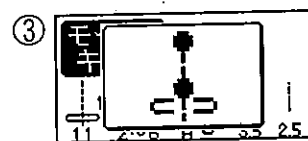
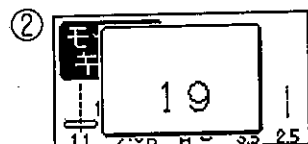
●ワンポイント（とじぬい）

ミシンのセット
模様............. 7 0（モード2）
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 3～6
※押さえ圧調節ダイヤルを「2～3」に合わせます。

厚みのあるキルト綿を使う場合に、キルトをとじるときに使用します。

① 模様＃70を選んで、「記憶」ボタンを押します。

② （止めぬい記憶ボタン）を押します。

③ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。
模様1つぬって自動的に止まります。

●アップリケ

ミシンのセット
模様............. 3 3（モード2）
押さえ..........F: サテン押さえまたは、F2: サテン押さえ2
糸調子.......... 1～4
※押さえ圧調節ダイヤルを「2」に合わせます。

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
アップリケ布が針の左にくるようにしてぬっていきます。
※カーブのところや方向転換するところでは、ミシンを止め、上下停針ボタンを押して、針を下位置にしたままで方向をかえるときれいに仕上がります。

●直線模様（フレンチノット）の記憶

【例. 模様# 19、# 12の組み合わせ】

① モード2を選びます。

② 模様# 19を選びます。

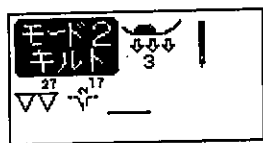
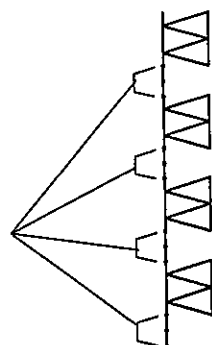
③ 記憶ボタンを押します。

④ 模様# 12を選びます。

⑤ 記憶ボタンを押します。

⑥ 押さえをさげてぬいます。
(1) 模様# 19のぬい
(2) 模様# 12のぬい

※ 組み合わせ模様ぬいの最高速度は、組み合わした模様の中でおそい模様に設定されます。

●直線つなぎ模様（# 17, # 18）の記憶

モード2模様# 17、# 18は、前の模様の針落ち位置と、送り量（ぬい目のあらさ）を引き継ぐつなぎ模様です。

【例. 模様# 27、# 17の組み合わせ】
モード2模様# 27と模様# 17のつなぎ模様を記憶してぬいます。
左記のように、2針（模様# 18を記憶した場合は、4針）直線部のぬい目が増えます。

※モード3の模様# 48、# 49も同じつなぎ模様です。

◎実用ぬいと飾りぬい（モード3）

●ボタンホールの種類と用途

11

①スクエアボタンホール（センサー）
中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。
センサーボタンホールは使用されるボタンの大きさに合わせて自動的にボタンホールの大きさを決定してぬい上げます。

オート
12

②スクエアボタンホール（オート）
中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。
オートボタンホールはボタンホールの長さを自由に決めることができ、一度決めた長さを記憶することにより、自動的に何度も同じ大きさのボタンホールをぬうことができます。

13

③片ラウンドボタンホール（センサー）
中厚物から薄物の素材に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。

14

④両ラウンドボタンホール（センサー）
薄物の素材に使います。薄手のブラウスでよく使われます。

15

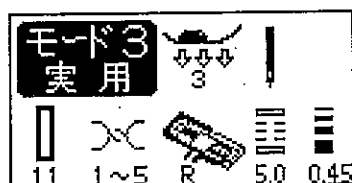
⑤キーホールボタンホール（センサー）
中厚物から厚物の素材で使われる一般的なボタンホールです。
大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。

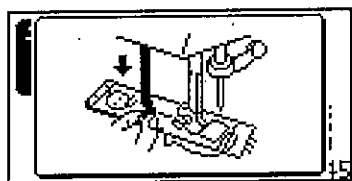
16

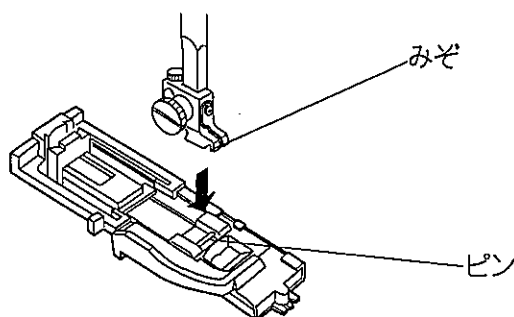
⑥ニットボタンホール（センサー）
伸縮性のある布に適したボタンホールです。
またそのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。

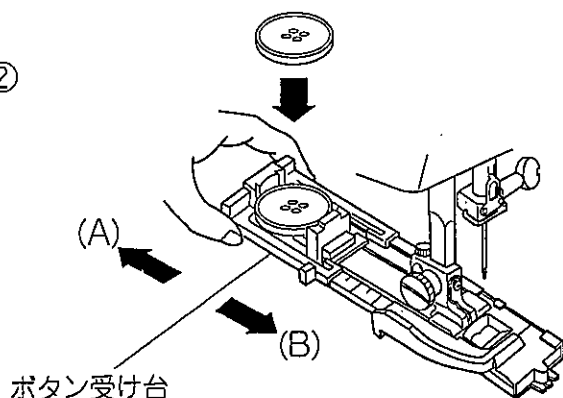
17

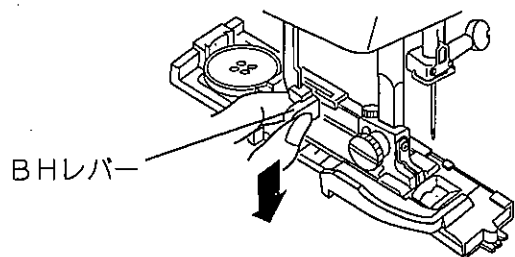
⑦ニットボタンホール（センサー）
ニットに適したボタンホールです。また、そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。

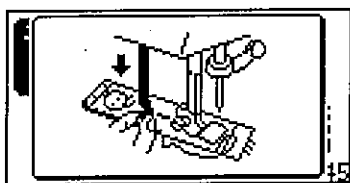
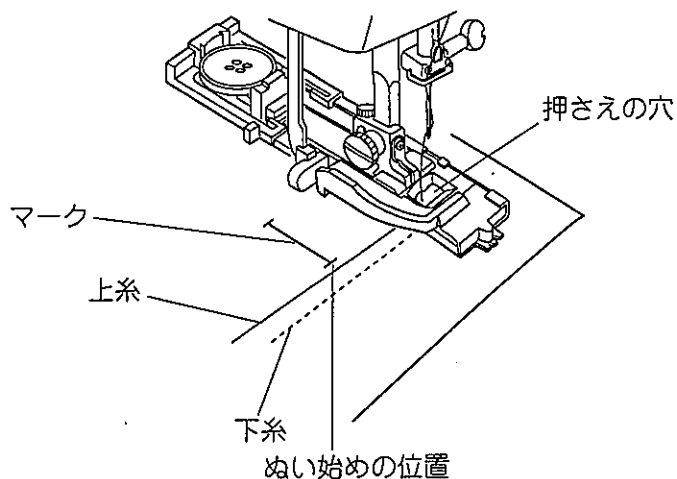
●センサーボタンホール

★スクエアボタンホール

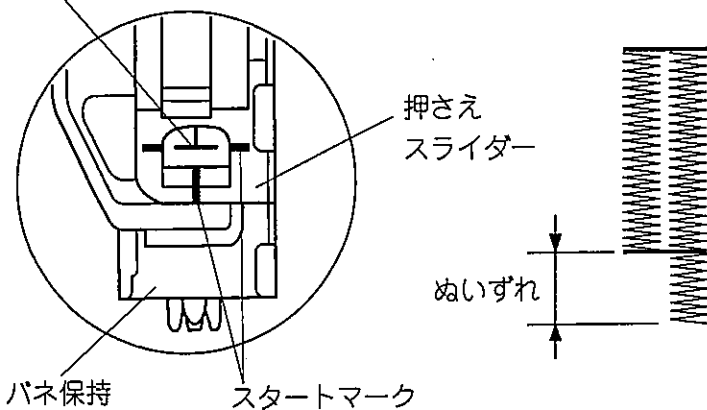
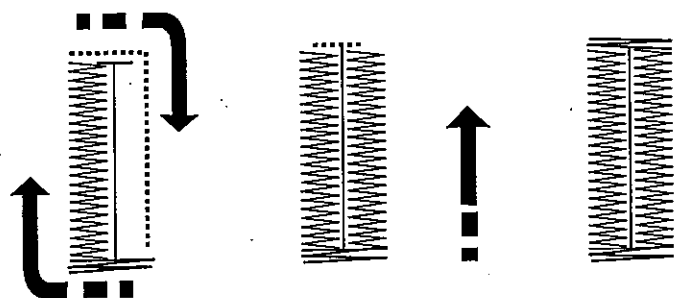
ミシンのセット
模様............. 1 1（モード3）
押さえ..........R: オートマチックボタンホール押さえ
糸調子.......... 1～5

※＃11、＃13～17はセンサーボタンホールです。
※ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタン受け台にはさみ込むと決まります。
※ボタンの直径1．0～2．5 cmまで、ボタンホールができます。
※ボタンホール幅は、シャツなどのボタン穴の幅に自動セットされています。
※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ります。
※必ず、試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。

①

① 上下停針ボタンを押して針をあげ、押さえをあげます。
押さえホルダーのみぞと押さえのピンを合わせ、押さえをさげてセットします。

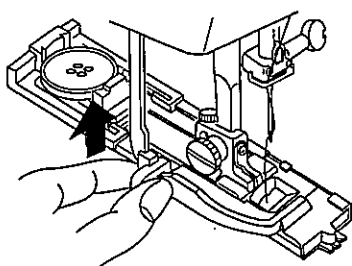
②

② ボタン受け台を（A）の方向へ引き、ボタンを乗せて（B）方向にもどしてはさみ込みます。

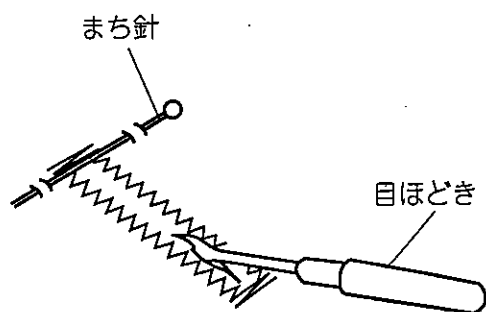
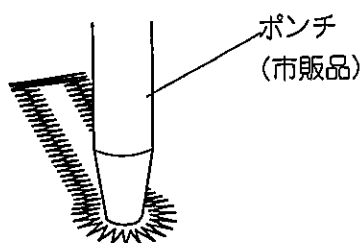
※ ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。

③ BHレバーを止まるまでいっぱいに引きさげます。

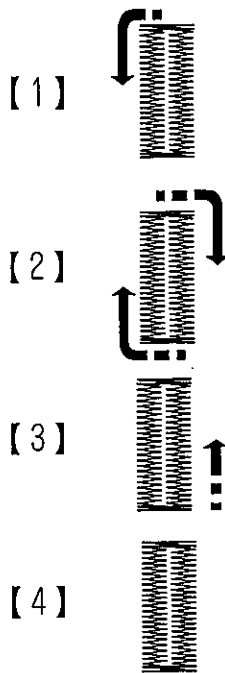
【A】

【A】
※ BHレバーをさげないでボタンホールを0．5 cmぬうと表示され、ミシンが止まります。
BHレバーを引きさげて再スタートします。

④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
布を入れ、押さえのスタートマークとぬい始めの位置を合わせ、針をさして押さえをさげます。

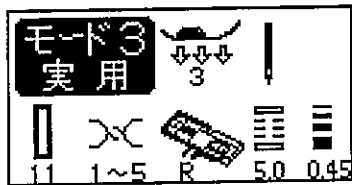
※ ぬい始めに、押さえスライダーとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。すきまがあるとぬい終わったときぬいずれがおこることがあります。

⑤

⑤ ミシンをスタートさせます。
ボタンホールをぬい終わったところで、自動的に止まります。

※ 引き続きセンサーボタンホールをする場合、糸切りボタンを押して糸を切り、押さえをあげます。別の場所にそのままの状態で押さえをおろしスタートします。

⑥

⑥ ぬい終わったら、BHレバーを止まるまでいっぱいに押し上げてもどしてください。

⑦

⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。

★重ねぬい

ボリューム感のあるボタンホールができます。
１度目のボタンホールをぬい終わったら、押さえ上げをさげたまま、スタートすると自動的に重ねぬいをします。

【ぬい順序】

【１】第１ステップ・・・ぬい始めの位置まで下ぬいをします。
【２】第２ステップ・・・かんぬきと左側のボタンホールを重ねてぬいます。
【３】第３ステップ・・・右側のボタンホールを重ねてぬいます。
【４】第４ステップ・・・かんぬきと止めぬいをして自動的に止まります。

★芯入りセンサーボタンホール

① 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。

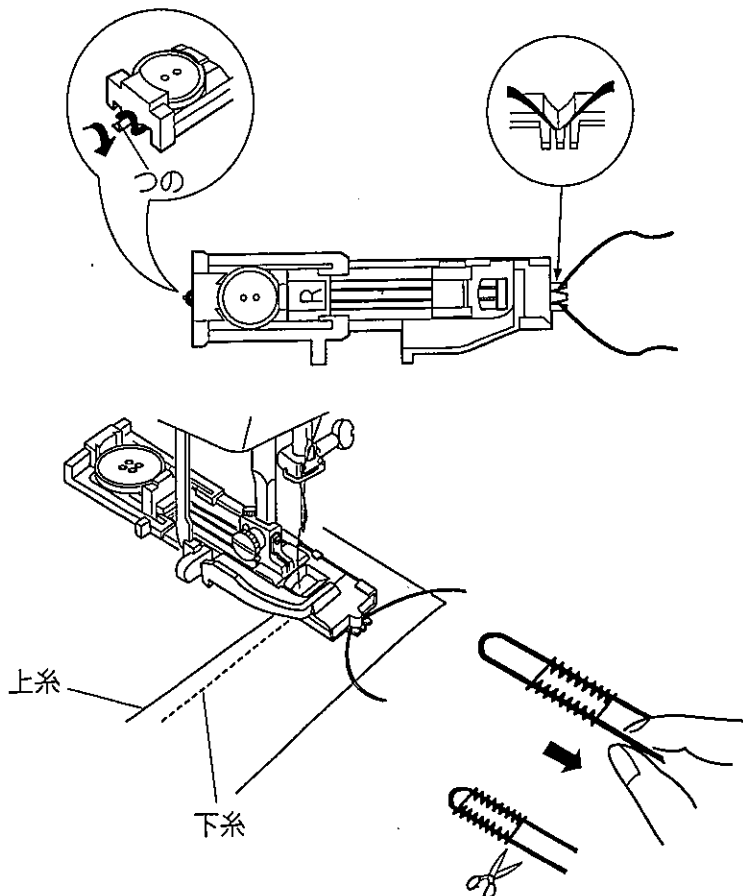
② R押さえ前部の、右側切り込みに芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押さえの下から後ろに引き、輪にしてつのに掛けます。

③ つのに掛けた芯糸を、押さえの下を通して、前部左側の切り込みに、しっかりはさみます。

④ ぬい始めの位置に針をさして押さえ上げをさげます。

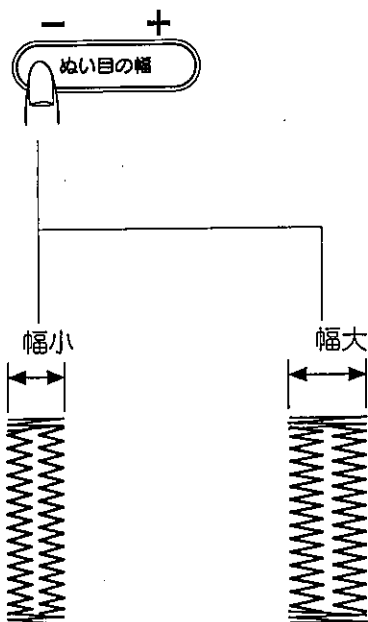
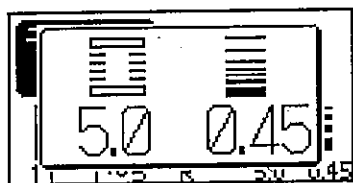
⑤ ボタンホールをぬいます。

⑥ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

※ぬい目の幅は、芯糸に合わせてセットします。
※ボタン穴の開け方は、４６ページをご覧ください。

★ボタンホールの幅をかえるとき

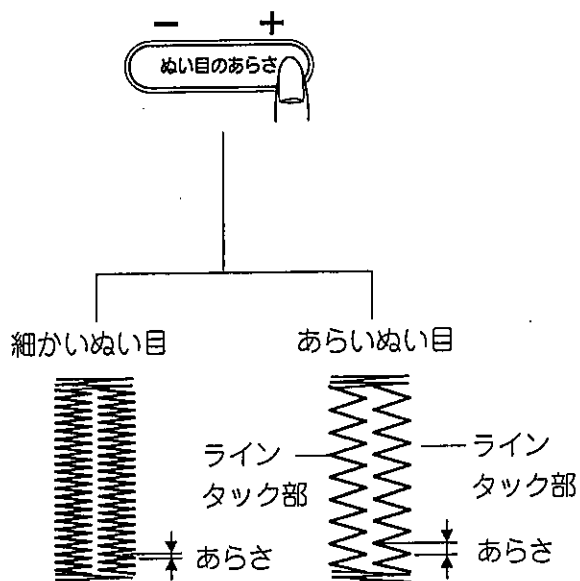
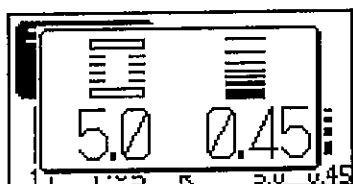
ぬい目の幅調節ボタンを押します。

「+」を押すと幅は広くなります。

「−」を押すと幅は狭くなります。

★ぬい目のあらさをかえるとき

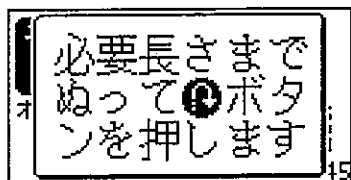
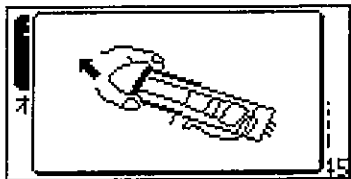
ぬい目のあらさ調節ボタンで調節します。

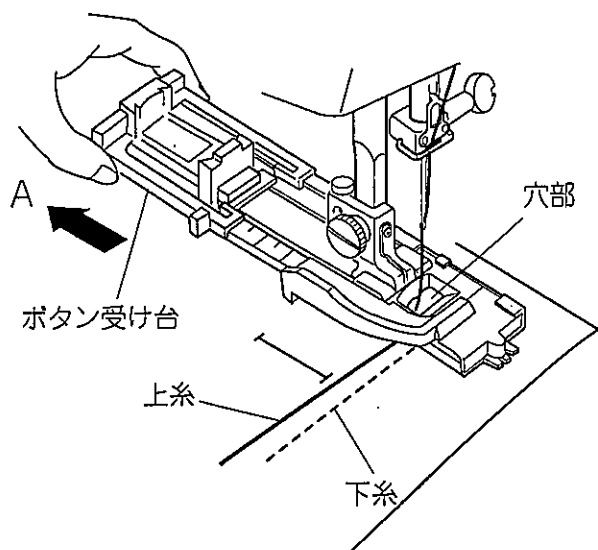
「+」を押すとあらさはあらくなります。

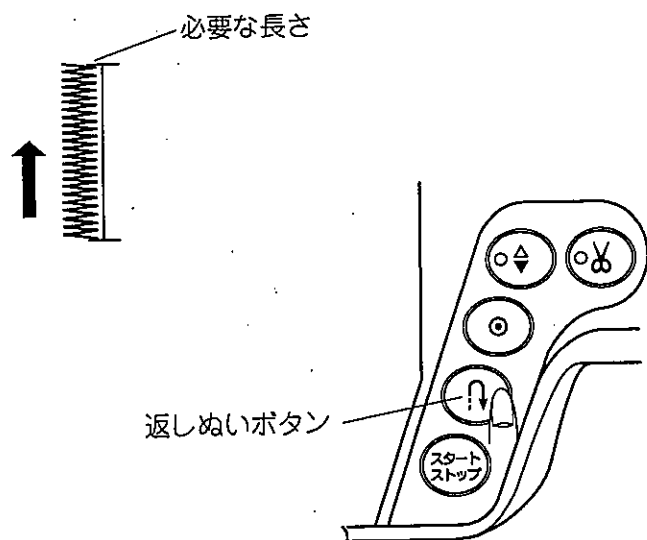
「−」を押すとあらさは細かくなります。

※ 試しぬいをスタートしてからボタンホール幅、あらさをかえたい場合、ラインタック部で止めてから行ってください。

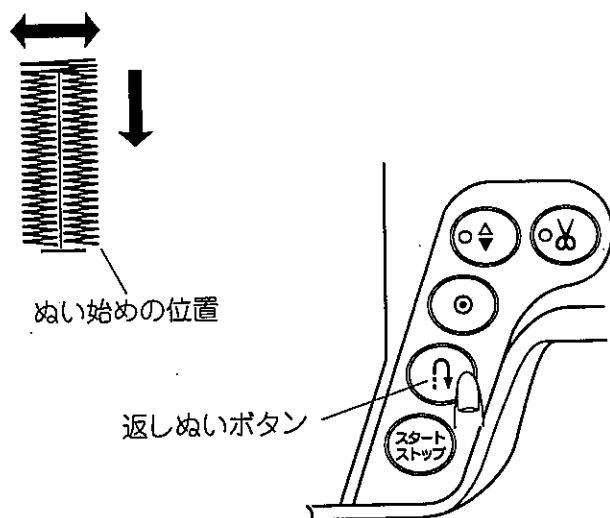
※ 電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、ボタンホール幅、送りのセットはキャンセルされます。
お好み記憶をセットしておいた場合には、ボタンホールを終わって電源を切ったとき、ボタンホール幅や送りのセットはキャンセルされません。

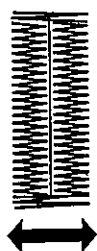
●オートボタンホール

ミシンのセット
模様............. 1 2（モード3）
押さえ..........R: オートマチックボタンホール押さえ
糸調子.......... 1～5

※ ボタンホールの幅やあらさをかえたいときは、「ぬい目の幅」、「ぬい目のあらさ」調節ボタンを押してください。
※ 左右のぬい目のあらさがそろわないときは、71ページをごらんください。
※ 長いボタンホールをぬいたいときは、F：サテン押さえをご使用ください。また、B：ボタンホール押さえ（オプション）も使用できます。

① ② ③

① ボタン受け台をAの方向にいっぱいに引き出します。
② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。

④

④ 左側のボタンホールぬいを必要な長さまでぬったら止めて、返しぬいボタンを押します。

⑤

⑤ かんぬきと右側をぬい、ぬい始めの位置にもどったら止めて、返しぬいボタンを押します。

⑥

⑥ かんぬきと止めぬいをし、自動的に止まるまでぬ います。

⑦

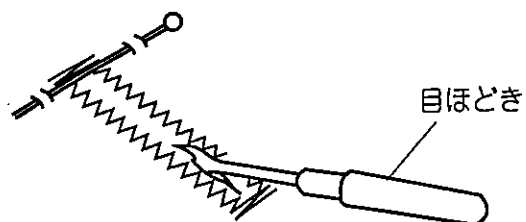
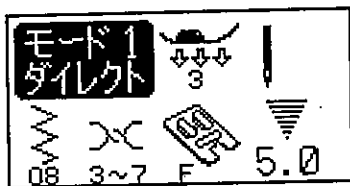
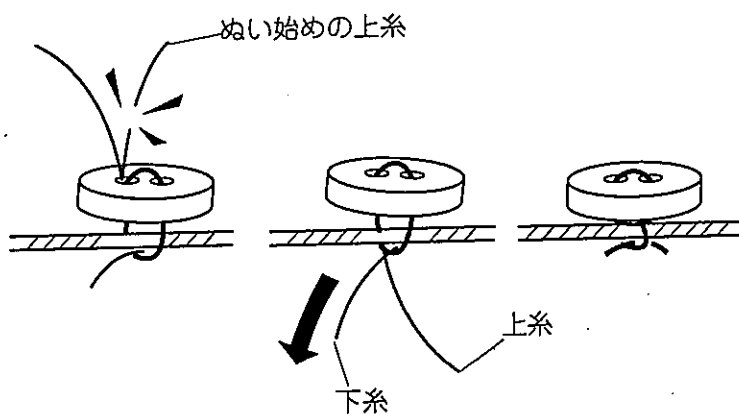
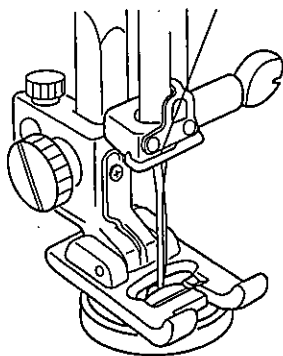
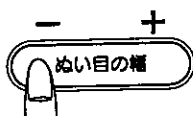
目ほどき

【引き続きオートボタンホールをするとき／しないとき】

※ ミシンは、１度ぬったボタンホールの大きさを記憶しています。２度目からは、同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。
（２度目のぬいのときには、ぬい目あらさはかえられません。）

※ ミシンをスタートすると同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。

※ 異なる大きさのボタンホールをぬうときには M ボタンを押し、手順 ③～⑤ を行って新しい大きさを記憶します。

⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。

●ボタン付け

ミシンのセット
模様............. 0 8 （モード1）
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 3 ～ 7
※送り歯をさげます。
（22ページをごらんください。）

① 「ぬい目の幅」調節ボタンを押し、ボタン穴の幅に針がおりるように「−」、「+」ボタンで調節します。

② はずみ車を手前にまわして、針が左にきたときボタンの左の穴におりるようにします。

③ ボタンの左右の穴が真横にくるようにして押さえをさげます。

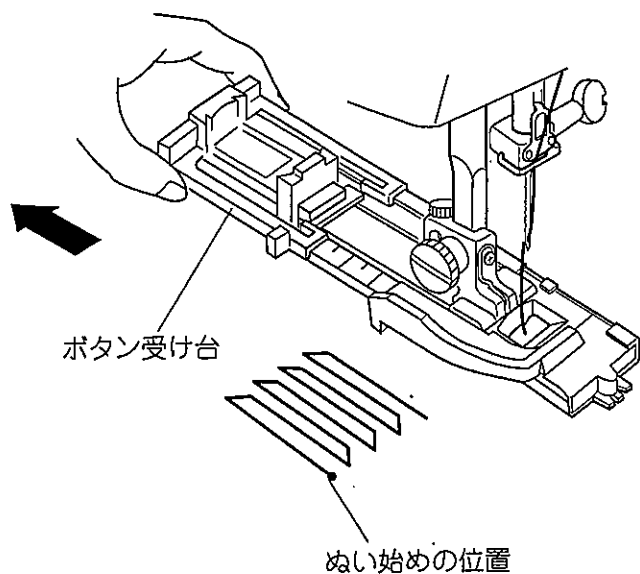
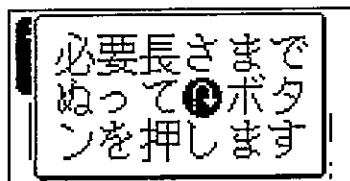
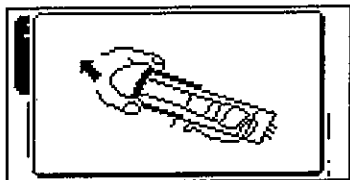
④ はずみ車を手前にまわして、針が左右の穴におりることを確かめます。

⑤ １０針くらいぬったらミシンを止めます。
※ ぬい始めの上糸と下糸は、はさみで切り取ってください。
※ 送り歯をあげる警告画面が一度表示されますが、ミシンをスタートしてください。

⑥ 押さえをあげて布を引き出し、上糸と下糸を２０cmくらい残して切ります。
ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

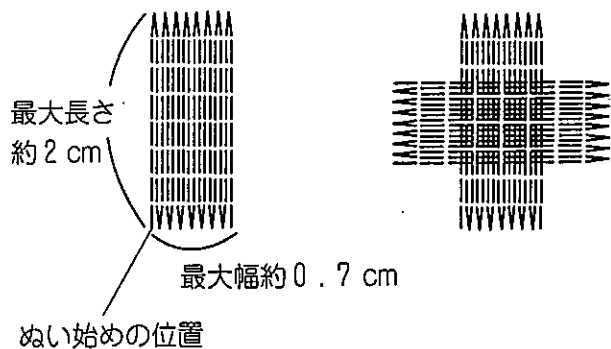
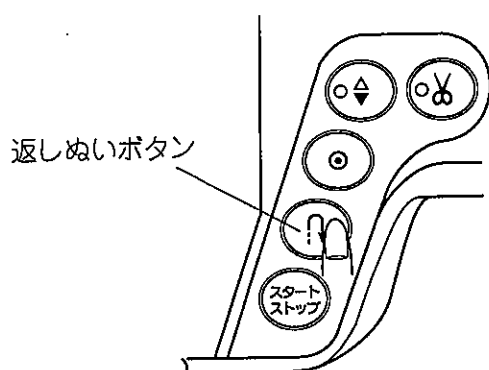
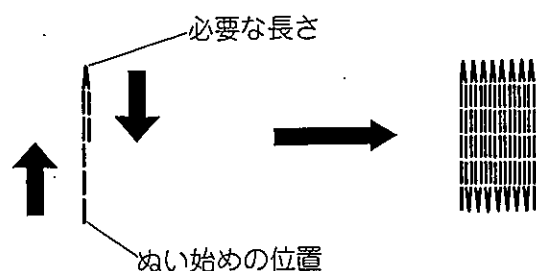
●ダーニング

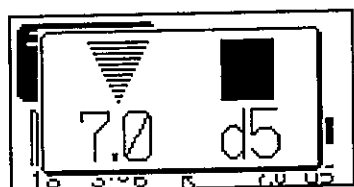
必要長さまでぬって◉ボタンを押します

ミシンのセット
模様.............. 18（モード3）
押さえ..........R: オートマチックボタンホール押さえ
糸調子.......... 3～6

① ボタン受け台をいっぱいに引き出します。

② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげ自動的に止まるまでぬいます。
※ 1回のぬいで、最大長さ約2 cm、最大幅約0.7 cmまでぬえます。

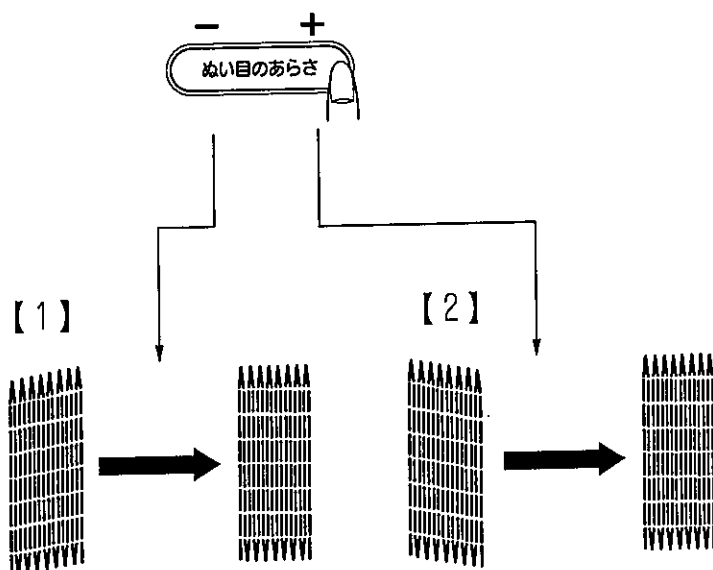
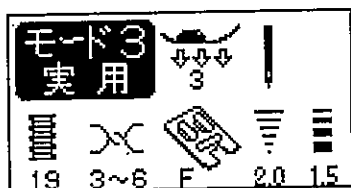
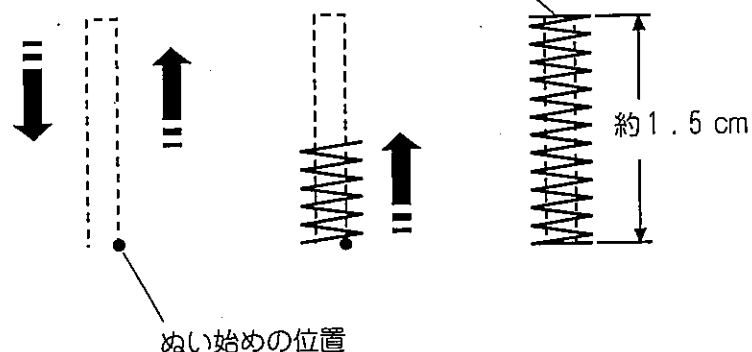
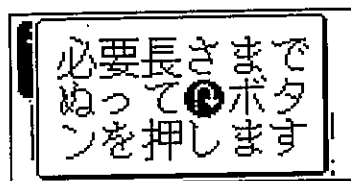
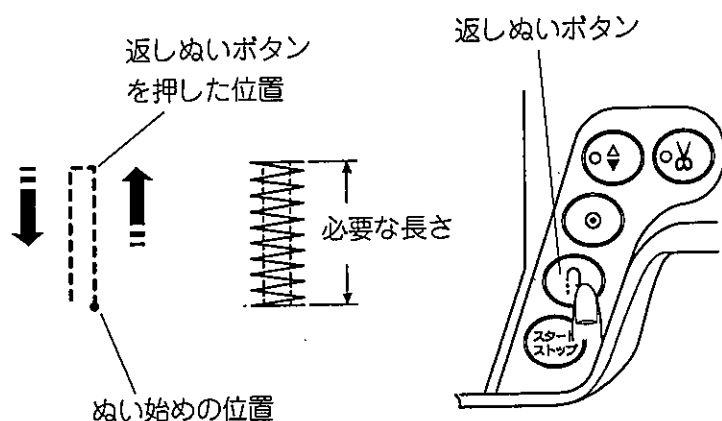
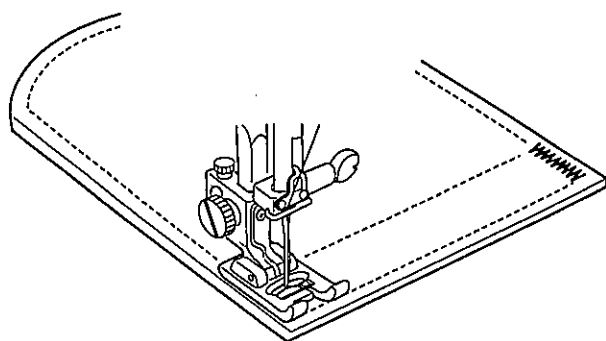
④ 布の向きをかえてくり返しぬいます。

【2 cm より短い長さでぬう場合】
最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して、自動的に止まるまでぬいます。

【ダーニングサイズの記憶】
別の箇所にぬうと、くり返し同じ大きさのダーニングがぬえます。

【ダーニングサイズの変更】
サイズの異なるダーニングをぬう場合、「記憶」ボタンを押してスタートし、必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して新しいサイズを記憶します。

【ダーニングの形の整え方】
ダーニングのぬい始め（左側）と、ぬい終わり（右側）の高さがそろわないときは、「ぬい目のあらさ」調節ボタンを押します。

自動セットの「d 5」が表示されます。

【1】左側が低いとき「−」ボタンを押します。

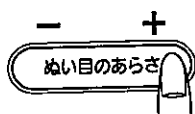
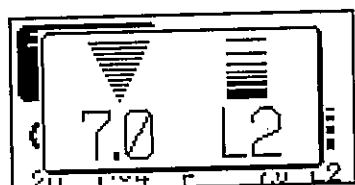
【2】右側が低いとき「+」ボタンを押します。

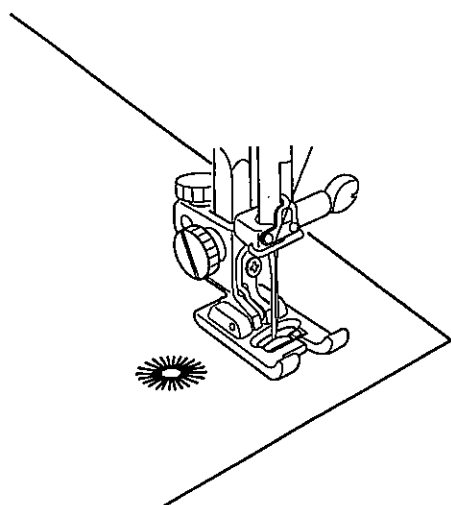
「d1」～「d9」の範囲で調節してください。

●かんぬき止め

ミシンのセット
模様............. 19 （モード3）
押さえ.........F: サテン押さえ
糸調子.......... 3～6

ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。
1回のぬいで、オート値で約1．5 cmが自動的にぬえます。

【1．5 cmより短い長さでぬうとき】
必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

【かんぬき止めサイズの記憶】
別の箇所にぬうと、くり返し同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

【かんぬき止めサイズの変更】
サイズの異なるかんぬき止めをぬう場合、「記憶」ボタンを押してスタートし、必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して新しいサイズを記憶します。

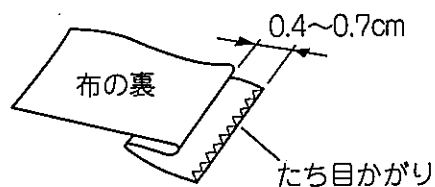
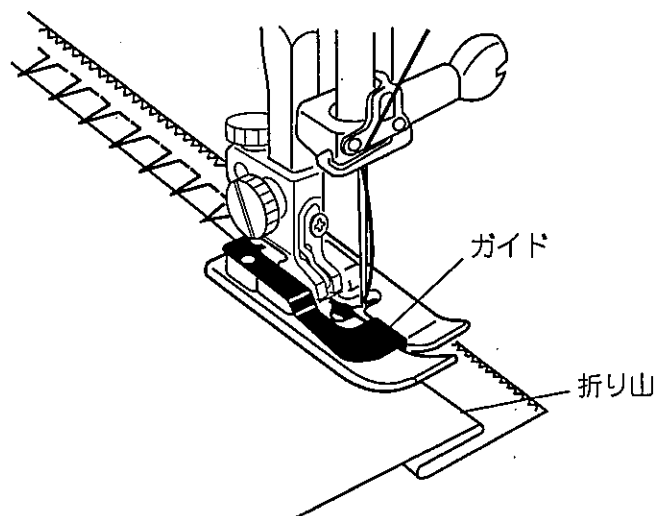
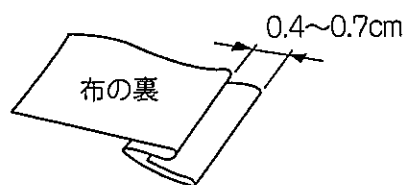
●アイレット

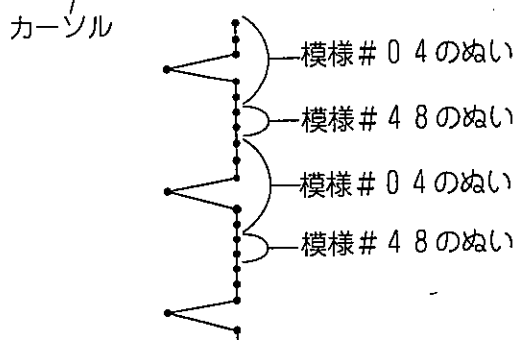
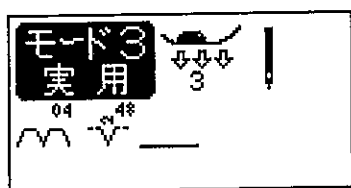
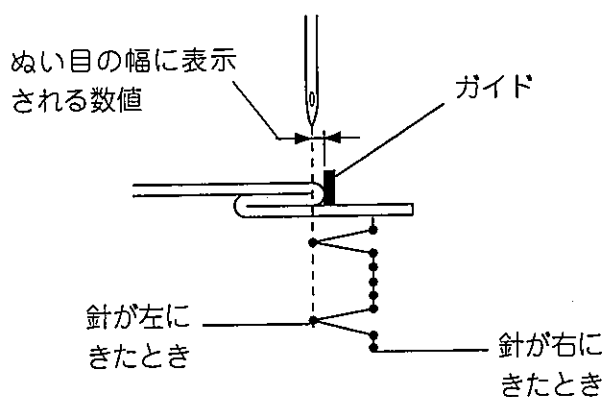
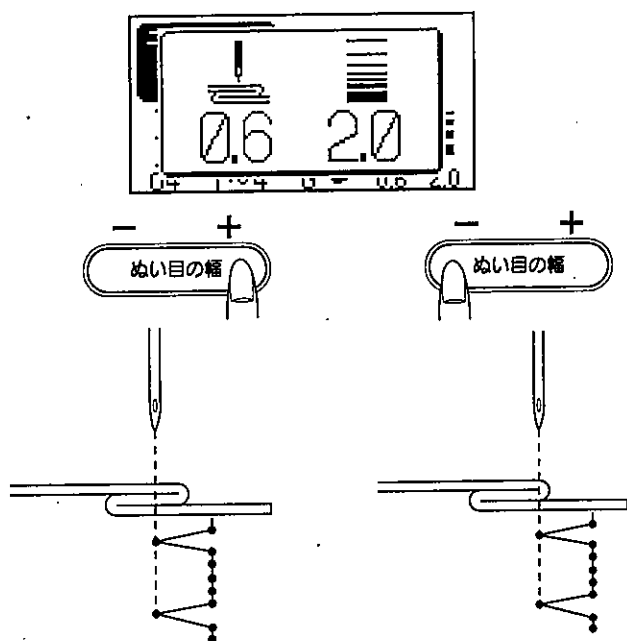
ミシンのセット
模様............. 2 0 （モード3）
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 1～4

自動的に止まるまでぬいます。
※ ぬい目の内側を目打ち（市販品）などで穴をあけます。目打ちの大きさは、直径0.25cm以下のものをご使用ください。

【アイレット形状の修正】
「ぬい目のあらさ」調節ボタンを押すと、マニュアル調節画面「L 2」が表示されます。布によってアイレットの形がくずれるときに調節します。
ぬい目にすきまがあるときは、L 1にします。
ぬい目の重なりがあるときは、L 3にします。

●くけぬい（まつりぬい）

ミシンのセット
模様............. ０４（モード３）
押さえ..........G: くけぬい押さえ
糸調子.......... １～４
※伸縮性のある布をぬうときは、モード３模様＃０５を選びます。
※モード３模様＃０４、＃０５は、ぬい目の幅は変化せず、ガイドからの針落ち位置がかわります。

【布の折り方】

【厚い布の場合】

【うすい布、普通の布の場合】

① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山から外れないように「ぬい目の幅」調節ボタンで針落ち位置を調節して ぬいます。

② ぬい終わったら布をひろげます。

【針落ち位置をかえたいとき】

「ぬい目の幅」調節ボタンを押します。
ぬい目の幅表示部の数値は、G: くけぬい押さえのガイドと、左側ぬい目との距離を示します。

針落ちを右に移動させたいとき「ー」キーを押します。

針落ちを左に移動させたいとき「十」キーを押します。

【直線ぬい部のぬい目数を多くしたい場合】

モード3模様＃０４と、模様＃４８または、＃４９のくけぬいつなぎ模様を記憶してぬいます。
左記のように、2針または、4針直線部のぬい目が増えます。

※くけぬいの針落ちをかえたい場合、編集ボタンを押して模様＃０４の下へカーソルを移動させ「ぬい目の幅」調節ボタンを押します。
なお、くけぬいつなぎ模様＃４８の調節は不要です。この模様は、前の模様の針落ち位置と、送り量（ぬい目あらさ）を引き継ぐつなぎ模様です。

●ワンサイクルぬいの例

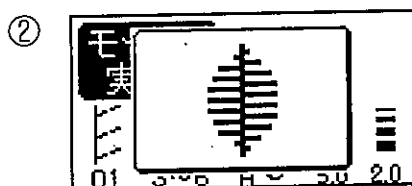
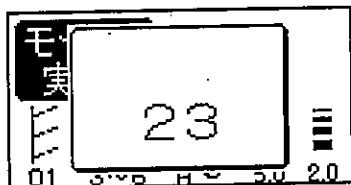
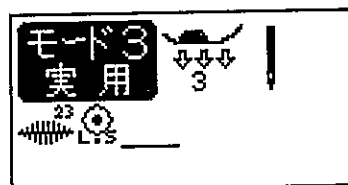
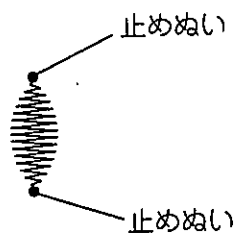
①

ミシンのセット
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 1～4
押さえ圧 3

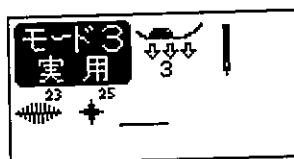
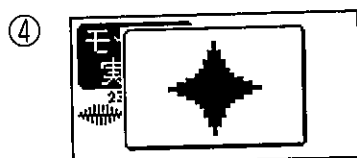
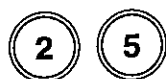
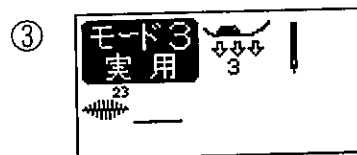
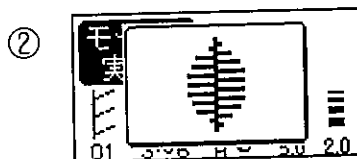
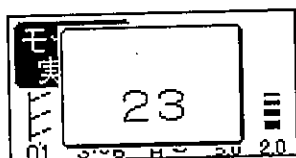
① モード3を選び、模様＃23を選びます。

②

② 記憶ボタンを押します。

③

③ 止めぬい記憶ボタンを押します。
※止めぬい記憶後は、模様を記憶することはできません。

④ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

●組み合わせ（記憶）連続模様ぬいの例

例：模様＃２３、＃２５の組み合わせ

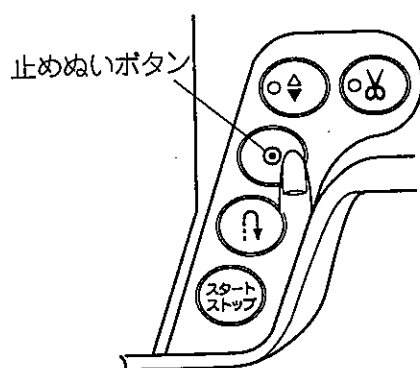
①
ミシンのセット
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 1～4
押さえ圧 3

① モード３を選び、模様＃23を選びます。

② 記憶ボタンを押します。
※目的の模様であった場合は、記憶ボタンを押します。目的の模様でなかった場合は、模様番号を入力しなおしてから、記憶ボタンを押します。
※左右反転した模様を記憶したい場合は、反転記憶ボタンを押します。

②
③ 模様＃25を選びます。

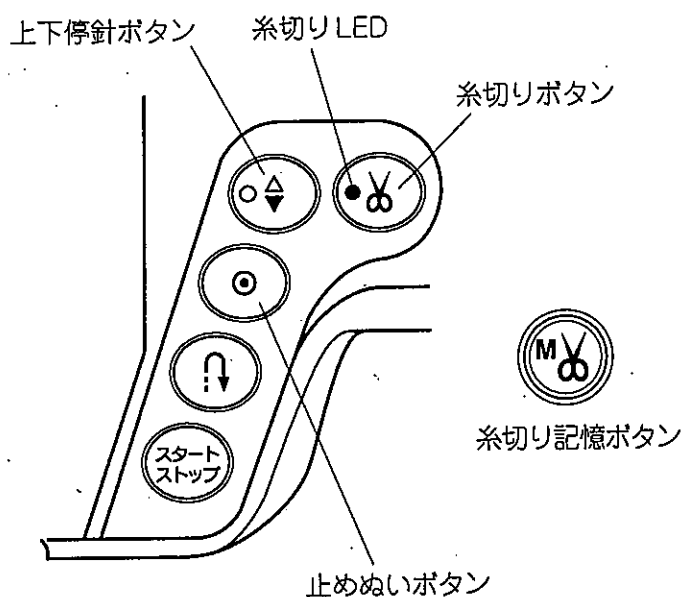
③
④ 記憶ボタンを押します。

④
⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬい終わり
必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

糸切り記憶ボタン

★組み合わせ連続模様ぬいに自動糸切り記憶をした場合

組み合わせした模様の最後に、「糸切り記憶」ボタンを押します。(✂) マークが表示されます。

ミシンをスタートし、自動で糸切りをして止まるまでぬいます。

【その他の自動糸切り】

①ボタンホール等の自動糸切り

ボタンホールを選択後、糸切り記憶ボタンを押します。糸切りLEDが点灯します。
ボタンホールがぬい終わると自動的に糸切りをします。

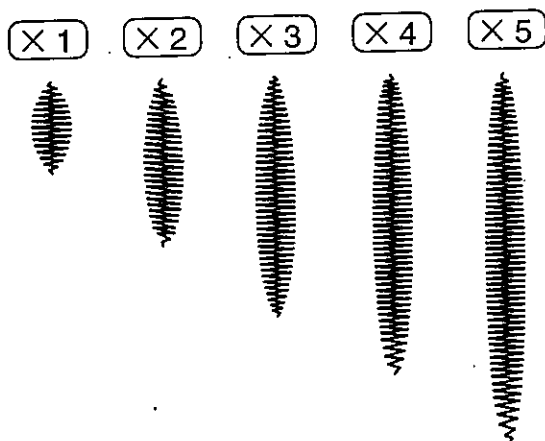
② 一般模様の自動糸切り

模様を選択後、糸切り記憶ボタンを押します。
糸切りLEDが点灯します。
ぬい終わりに近づいたら止めぬいボタンを押します。
止めぬい後に自動的に糸切りをします。

③ マニュアル糸切り

模様を選択し、上下停針ボタンを押し下停止設定にします。ぬい終わったら、糸切りボタンを押して糸切りをします。
上停止設定の場合には、糸切り時に針穴が目立つ場合があります。

●エロンゲータぬい

ミシンのセット
模様............. 2 3 （モード3）
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 1 ～ 4

例. 模様＃23

① 模様＃２３を選びます。

② 「もようのながさ」ボタンを押すごとに、模様長さは１～５倍でかえられます。

※ぬい目の幅、あらさをかえると、模様はさらに変化します。

③ ミシンをスタートしてぬいます。

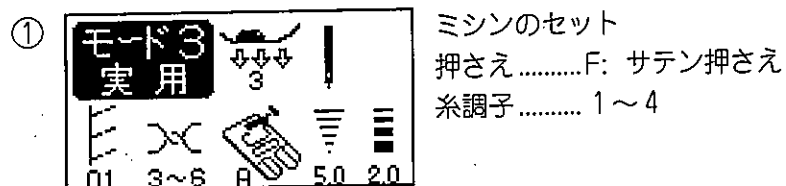
※ぬい途中で止めぬいボタンを押すとその模様をぬって自動的に止まります。

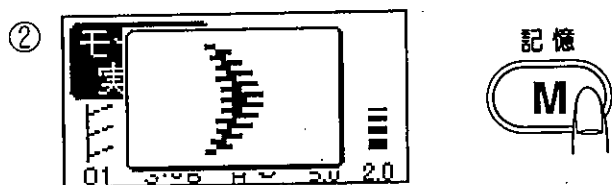
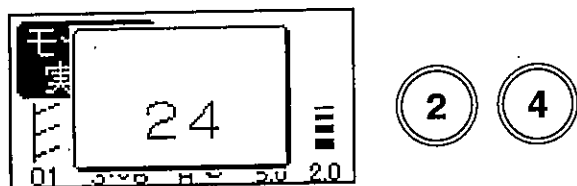
※模様は、21 22 23 24 25 26 27 28 が使えます。

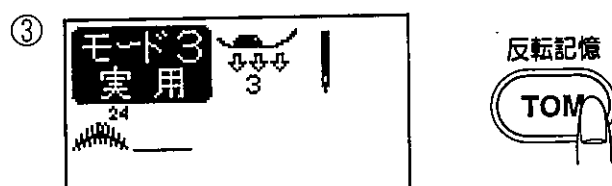
●反転記憶を使った連続模様ぬいの例

例．モード３模様＃２４

①

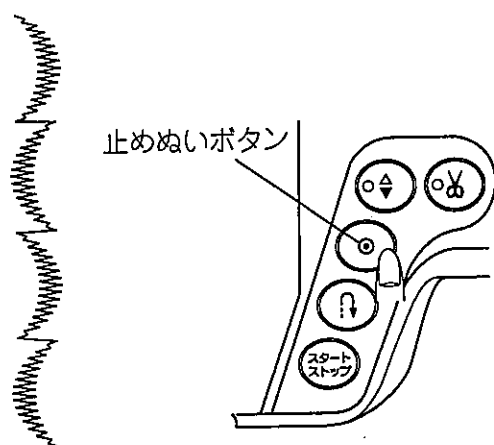
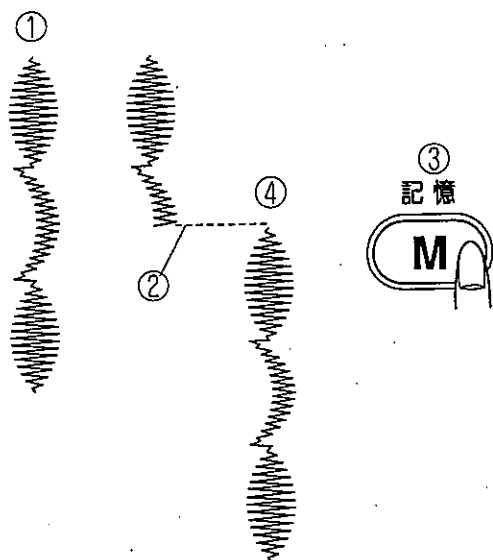
ミシンのセット
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... 1～4

① モード３を選び、模様＃24を選びます。

②

② 記憶ボタンを押します。

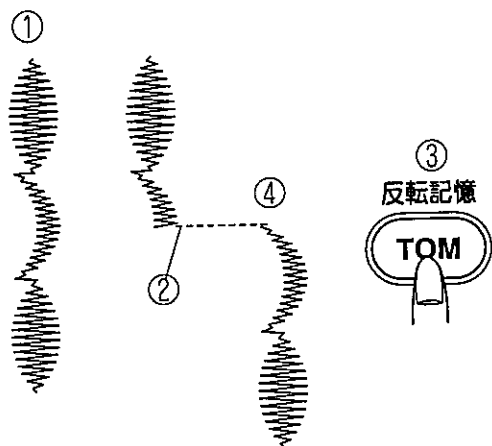
③

反転記憶
TOM

③ 反転記憶ボタンを押します。

④ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬい終わり
必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

●記憶ぬいを途中でやめたとき

【記憶ぬいのはじめにもどすには】（先頭頭出し）

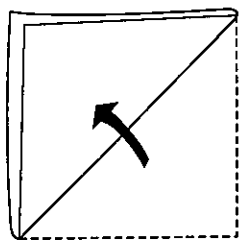
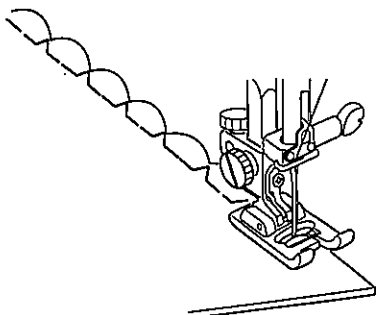
ぬっている途中でミシンを止め、記憶ボタンを押すと、記憶模様のはじめにもどります。

①記憶模様内容
②ミシンを止めた位置
③ミシンを止めたら記憶ボタンを押します。
④ミシンをスタートさせると、記憶した模様のはじめから
　ぬっていきます。

【ぬいかけた模様のはじめからぬうときは】
（途中頭出し）

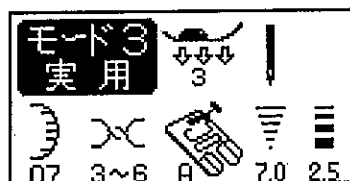
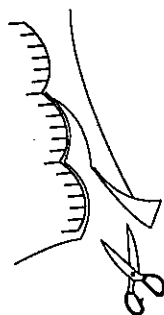
ぬっている途中でミシンを止め、反転記憶ボタンを押すと、ぬいかけた模様のはじめにもどります。

①記憶模様内容
②ミシンを止めた位置
③ミシンを止めたら反転記憶ボタンを押します。
④ミシンをスタートさせると、ぬいかけていた模様のはじめ
　からぬっていきます。

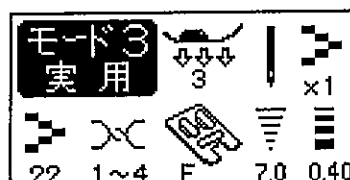
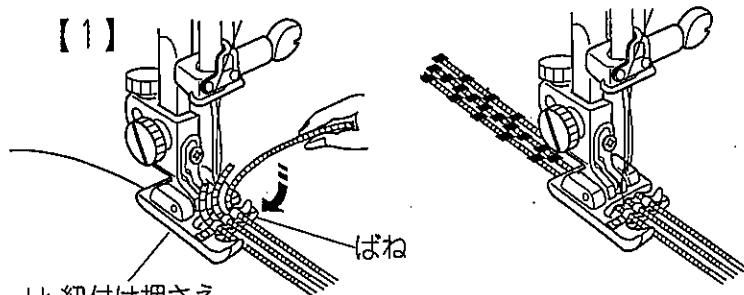
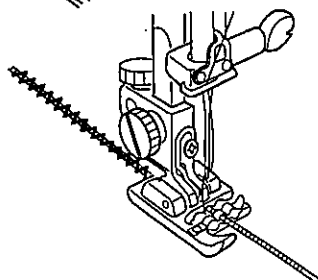
●シェルタック

ミシンのセット
模様 .... 0 6 （モード3）
押さえ ....F: サテン押さえ
糸調子 .... 6～8

① 布をバイヤスに2つ折りにします。

② 右の針落ちが布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。

●スカラップ

ミシンのセット
模様 .... 0 7 （モード3）または、2 4 （モード3）
押さえ ....A: 基本押さえ
糸調子 .... 3～6

① 布の表から、布端を1 cmくらい残してぬいます。

② 糸を切らないように、外側の布を切り落とします。

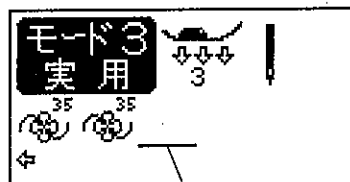
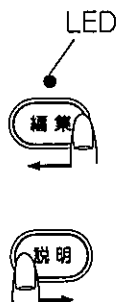
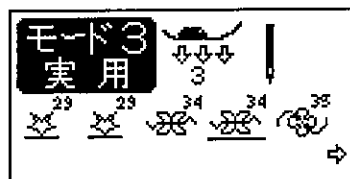
●コーディング

ミシンのセット
模様 .... 2 2 （モード3）
押さえ ....H: 紐(ひも)付け押さえ
糸調子 .... 1～4

【1】 3本コードのとき

① コードを押さえばねの下にくぐらせ、みぞに通します。
② コードを押さえの下をくぐらせ、押さえのみぞに入れます。
③ コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにまたがるようにぬいます。

【2】 1本コードのとき

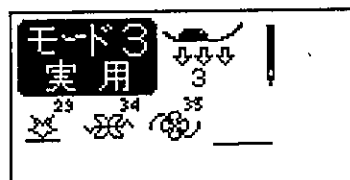
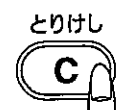
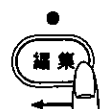
押さえの中央のみぞを使います。
模様は、モード1＃08を使い、ぬい目の幅を小さく調節してぬいます。

◎編集機能（１）

●プログラム確認

（例）モード３模様＃29、＃34、＃35を２つずつ記憶したとき

「編集」ボタンでカーソルを左へ移動させて模様を確認します。
「説明」ボタンでカーソルを右に移動できます。

※⇦マークは、模様＃35の前に模様が記憶されていることを示します。
※⇨マークは、模様＃35の後ろに模様が記憶されていることを示します。
※「編集」LEDが点灯しているときは、編集が可能です。ぬい始めるとLEDは消灯します。
※ぬったあとに編集したい場合は、「編集」ボタンを押し「編集」LEDを点灯させます。

●プログラム修正

★模様の削除

（例）モード３模様＃29、＃34、＃35を記憶したとき、模様＃34を削除

①

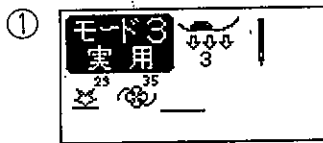
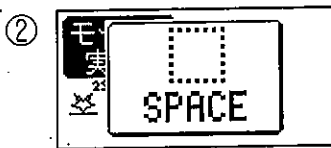
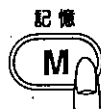
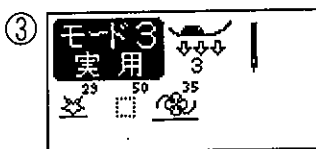
①「編集」ボタンで削除する模様＃34にカーソルを合わせます。

②

②「とりけし」ボタンを押します。

※「とりけし」ボタンを長く押していると、全て削除されモード初期画面になります。

★模様の挿入

(例) モード3記憶模様＃29、＃35の間にスペース（⁝⁝⁝）を挿入

① 「編集」ボタンで挿入したい場所の次の模様にカーソルを合わせます。

② スペース＃50を選びます。

③ 「記憶」ボタンを押すとスペースが挿入されます。

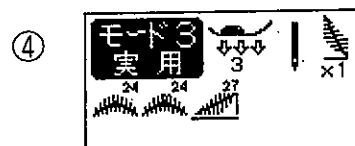
★模様のコピー（記憶）

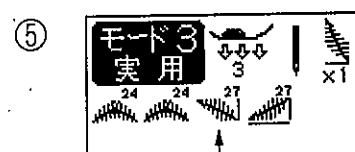
(例) 記憶模様 を下記に変更

① モード3模様＃24、＃27を記憶します。
② 「編集」ボタンでカーソルを模様＃24に合わせます。

【通常模様のコピー】

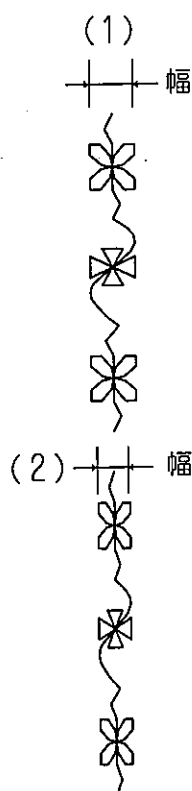
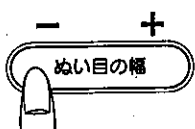
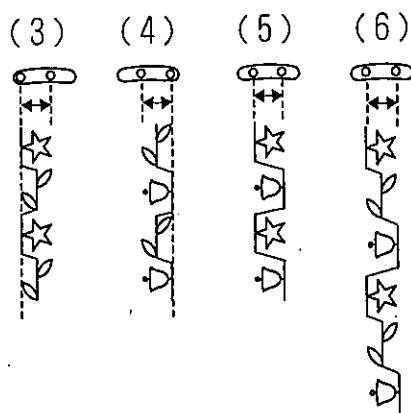
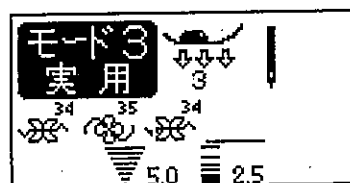
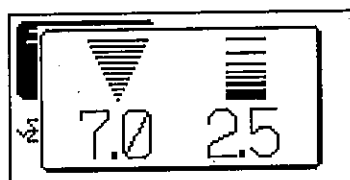
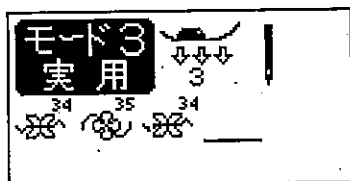
コピーされた通常模様

③ 「記憶」ボタンを押します。
模様＃24の通常模様がコピー（記憶）されます。

【反転模様のコピー】

④ 「説明」ボタンでカーソルを模様＃27に合わせます。

⑤ 「反転記憶」ボタンを押します。
模様＃27の反転模様がコピー（記憶）されます。

コピーされた反転模様

◎編集機能（2）

●統一マニュアル方式（モード2、モード3）

プログラムされた複数模様全体を1つの模様として、ぬい目の幅、ぬい目のあらさを一括調節（同じ幅、あらさでぬい上げる）する方法です。

（例）模様（モード3）＃34、＃35、＃34

① カーソル表示が右端にあるときに、「ぬい目の幅」または、「ぬい目のあらさ」ボタンを押します。

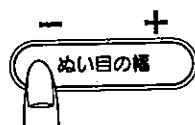
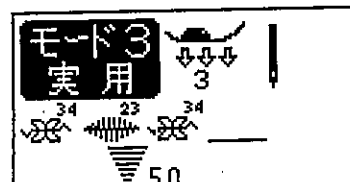
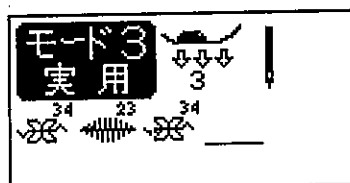
② 「−」、「＋」ボタンを押してぬい目の幅または、ぬい目のあらさを変更します。

③ ミシンをスタートしてぬいます。

（1）幅「7.0」のぬい
（2）幅「5.0」のぬい

※スーパー模様（前進ぬいと後進ぬいのある模様）どうし、または、サテン模様（密着模様）どうしの組み合わせのときには、ぬい目の幅、ぬい目のあらさがかえられます。
※ぬい始めの針落ち位置が異なる模様の組み合わせのとき、針落ち位置は、

(3) 左基線模様＃29と中基線模様＃31組み合わせ
・・・・・左基線（左合わせ）に統一されます。
(4) 中基線模様＃31と右基線模様＃30組み合わせ
・・・・・右基線（右合わせ）に統一されます。
(5) 左基線模様＃29と右基線模様＃30組み合わせ
・・・・・中基線（中合わせ）に統一されます。
(6) 左基線模様＃29、中基線模様＃31、右基線模様＃30組み合わせ
・・・・・中基線（中合わせ）に統一されます。

模様はモード3です。
※直線系の模様のぬい位置も、上記の統一基線になります。

【スーパー模様とサテン模様の組み合わせのとき】

（例）模様＃34（スーパー模様）、＃23（サテン模様）、＃34（スーパー模様）

① 「ぬい目の幅」調節ボタンを押します。

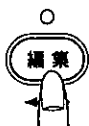
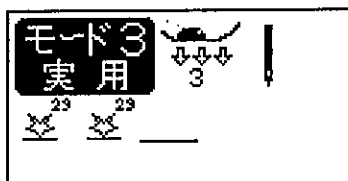
② ぬい目の幅の統一変更になります。
（ぬい目のあらさは「オート値」設定になります。）

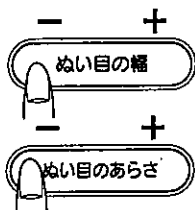
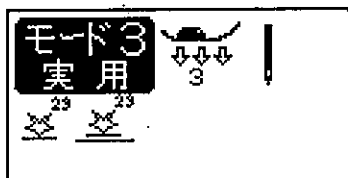
③ ミシンをスタートしてぬいます。

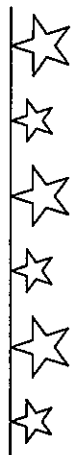
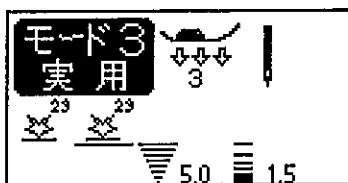
●個別マニュアル方式（モード2、モード3）

①

②

③

プログラムされた個々の模様について、ぬい目の幅、ぬい目のあらさ、模様長さを異なるサイズでぬいたい場合に調節する方法です。

（例）模様サイズを１ケ所変更する方法
（模様＃29、＃29）

①「編集」ボタンを押して、変更する模様にカーソルを合わせます。

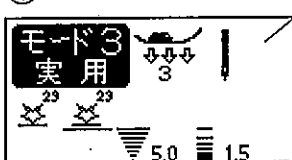
②「ぬい目の幅」調節ボタンを押し「5．0」に、「ぬい目のあらさ」調節ボタンを押し「1．5」にセットします。

③ ミシンをスタートしてぬいます。

※ 個々の模様の下へカーソルを合わせると設定したマニュアル値が画面の中央下に表示されます。
（オート値の場合は表示されません。）

※ 最後の模様の次ぎの位置にカーソルを移動させ、「ぬい目の幅」、「ぬい目のあらさ」調節ボタンを押すと、個別マニュアルはキャンセルされ、統一マニュアル調節できます。

◎ストック・コール機能（モード2、モード3）

① ストックした模様

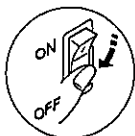
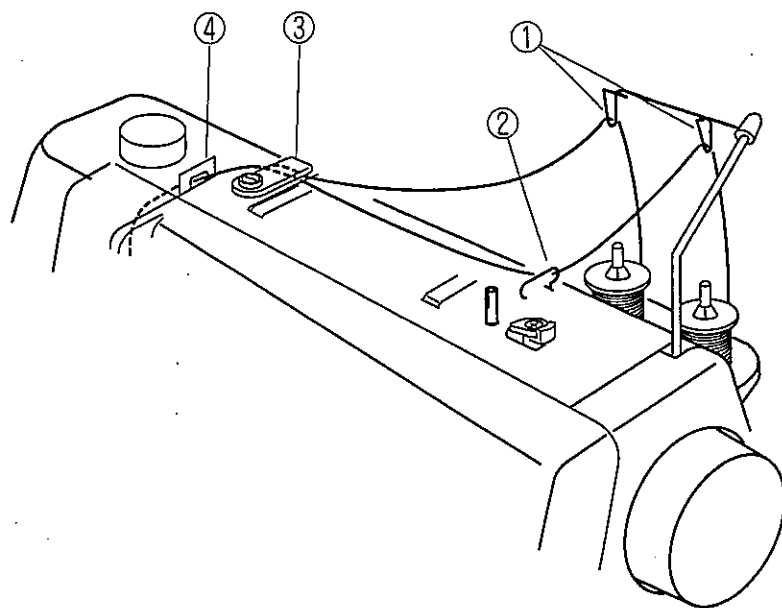
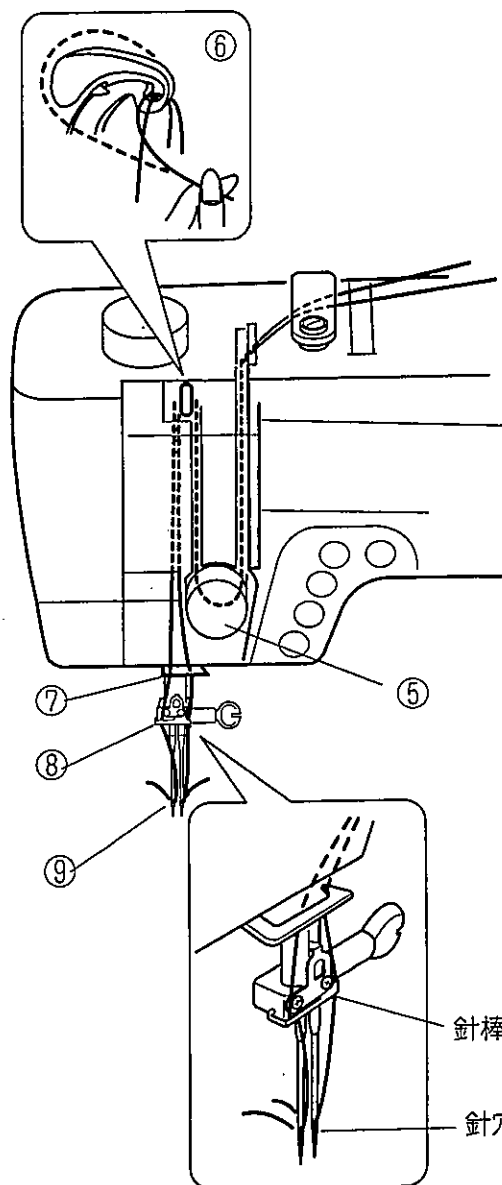
②

模様の記憶、編集したものを登録しておくと、電源を入れて登録したモードを選択し、ストック・コールボタンを押すとストックした模様が表示されます。
新規にストックすると、以前にストックしたものは取り消されます。各モード１つストックできます。

【ストックのし方】
（例）モード３のとき
①模様を記憶したらストック/コールボタンを押ます。
（砂時計が表示されストックされます。）

②電源を切ります。

【呼び出し方】
①電源を入れます。

②モードボタンを押して、モード３を選択します。

③ストック・コールボタンを押すと、ストックした模様が呼び出されます。

◎ 2本針ぬい

※2本針ぬいを行うときには、必ず (2本針)「2本針」ボタン押し、試しぬいをしてください。
※針の取りかえは、電源スイッチを切って行ってください。
※2本針ぬいのとき押さえは、A:基本押さえ、またはF:サテン押さえをご使用ください。
※2本針ぬいのときは、糸は60番より細い糸を使用してください。

【糸の通し方】

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように左の糸は、①、③～⑨の順序でかけ、右の糸は、①～⑨の順序で正しくかけてください。

①～⑦の糸の通し方は、1本針のときと同じです。(16、17ページをごらんください。)

⑧ 針棒糸掛けに左右に分けてかけます。

⑨ 2本針に左右に分けて糸を通します。
※ 針穴に糸を通すときは、糸通しは使えませんので針の手前から向こう側に、手で通してください。

ミシンのセット
模様............. ２３（モード３）
押さえ..........F: サテン押さえ
糸調子.......... １～４
※２本針を使用

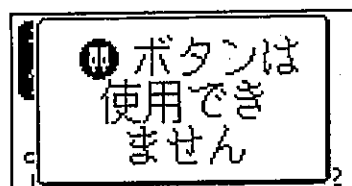
２本針マーク

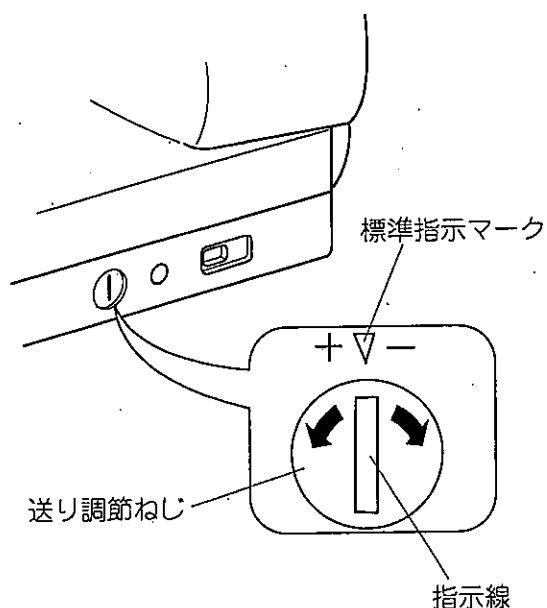
ぬい目の幅

２本針ボタン

模様を選び、「２本針」ボタンを押します。
ぬい目の幅は、３．０ mmに制限されます。
直線系の模様の場合は、基線位置が２．０～５．０表示に制限されます。

※ぬい方向をかえるときは、針を上げて布の方向をかえてください。

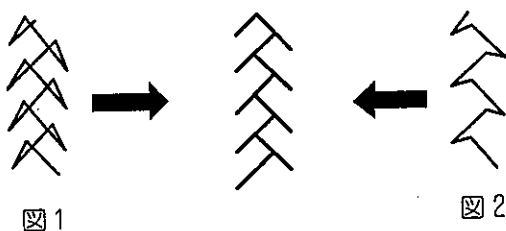
ボタンは
使用でき
ません

※２本針ぬいに適さない模様を選択したときには、画面表示されます。

◎模様の形の整え方

布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が模様を正しくぬえる目安の位置です。

【1】

(例) 模様＃３１（モード２）

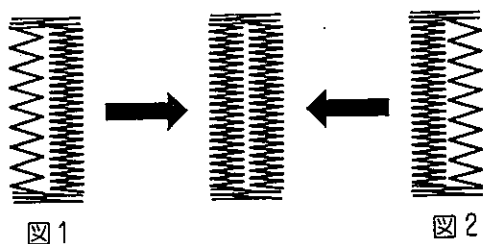
図1　図2

【１】スーパー模様の形の整え方

模様が伸びたり、つまったりして形が整わないときは、下記方法で調節します。
※スーパー模様は､前進ぬいと後進ぬいがある模様です。
※押さえは、F:サテン押さえを使用します。

図１のように、模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。
図２のように、模様が伸びているときは、送り調節ねじを「−」方向にまわします。

【2】

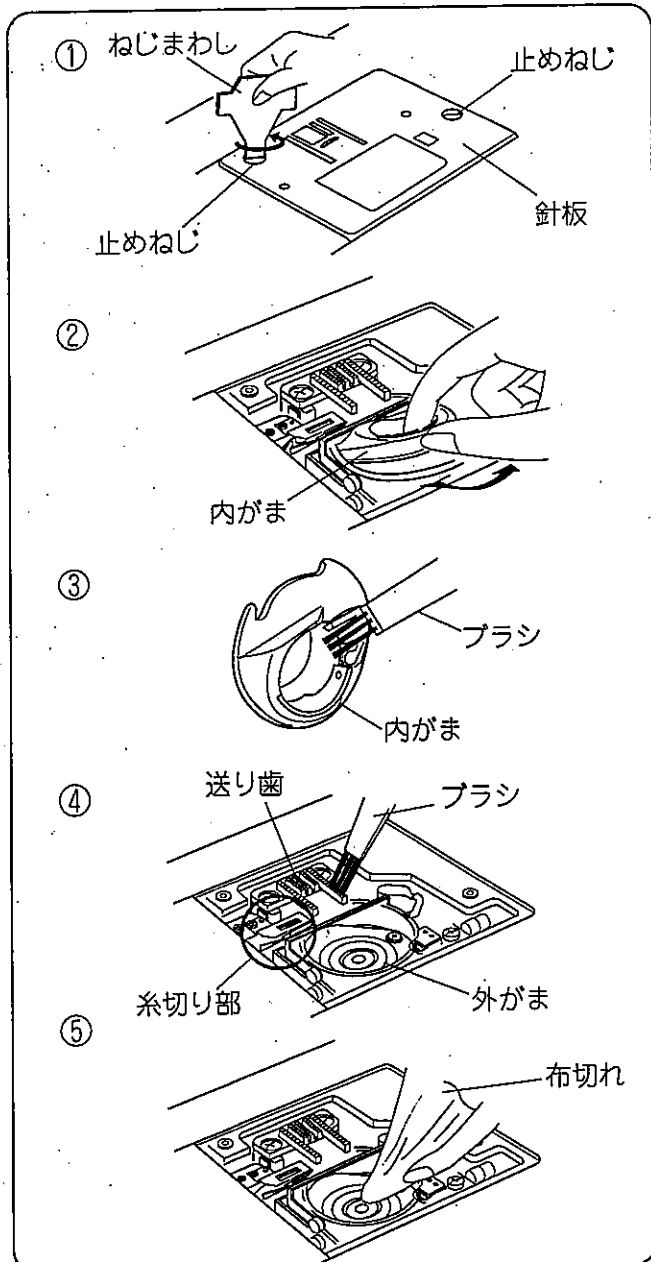
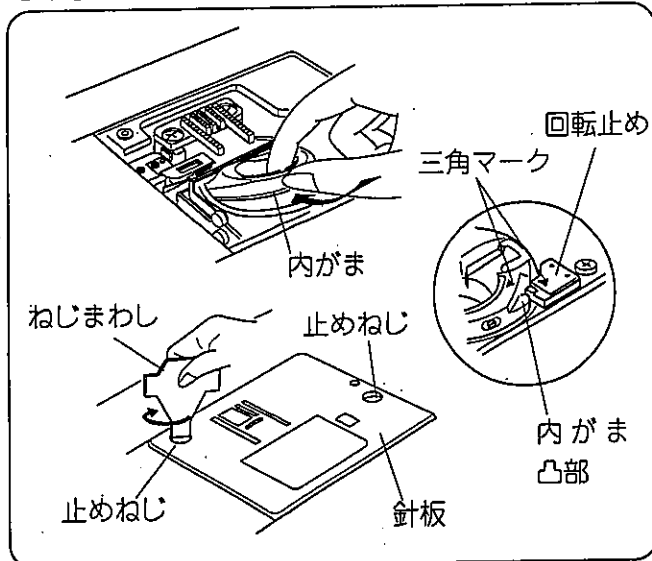
(例) 模様＃１２（モード３）

図1　図2

【２】オートボタンホールの左右のぬい目あらさの整え方

※押さえは､R:オートマチックボタンホール押さえを使用します。

図１のように、左側があらいときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。
図２のように、右側があらいときは、送り調節ねじを「−」方向にまわします。

◎ミシンの手入れ

●かまと送り歯、糸切り部の掃除

⚠注意
• お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。 • 説明されている場所以外は、分解しないでください。 感電・火災・けがの原因になります。

① 針と押さえを外します。
止めねじ（２ヶ）を外し、針板を外します。

② ボビンを取り出し､内がまの手前を上に引きながら外します。

③ 内がまを、ブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

④ 送り歯､糸切り部のごみをブラシで手前に落とし､さらに外がまを掃除します。

⑤ 外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

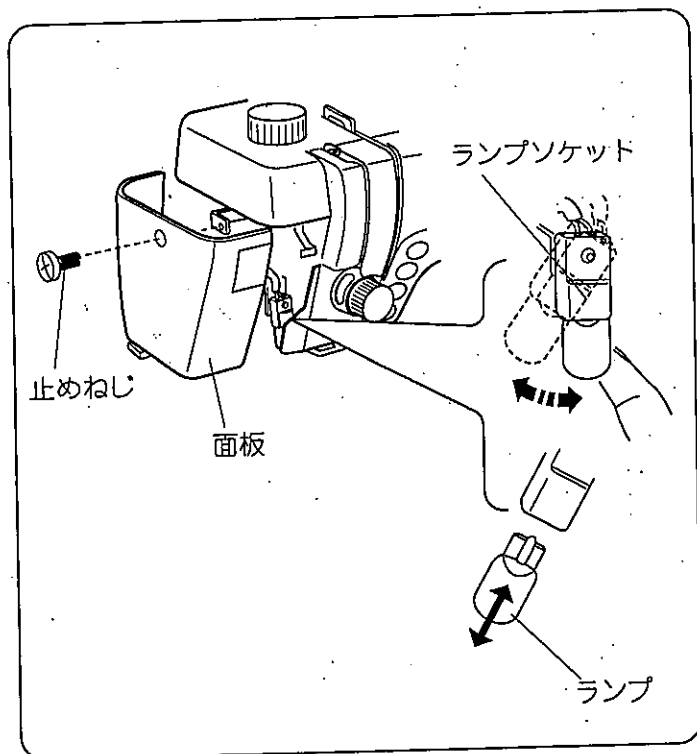
※ ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸いとってください。

●内がまと針板の組み付け

① 内がまを差し込みます。
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせて、内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

② ボビンを入れ、針板を止めねじで取り付けます。

※ 手入れが終わったら､忘れずに針と押さえを付けてください。

●ランプの取りかえ方

⚠注意

ランプを取りかえるときは、
- 必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- また、ランプが冷えてから行ってください。
感電・やけどの原因になります。

【外し方】

① 止めねじを外し、面板を取り外します。

② ランプソケットを左へまわします。

③ ランプソケットからランプをそっと引き抜きます。

【付け方】

① ランプを取り付けたら、ランプソケットをもとの位置にもどします。

② 止めねじで面板を取り付けます。

※ランプの購入は、販売店へお問い合わせください。
ランプの定格は１２Ｖ５Ｗです。
定格の異なるランプは、取り付けないでください。

◎こんな表示が出た場合

警告音とともに下記の表示があった場合２秒間表示または、正しい操作が行われるまで表示されます。下記の対処方法にしたがってください。

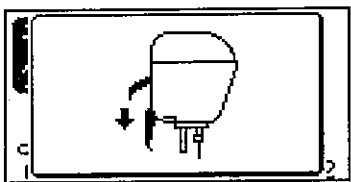
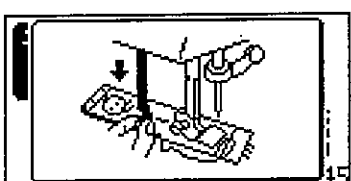
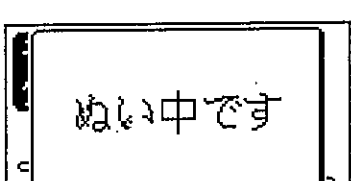
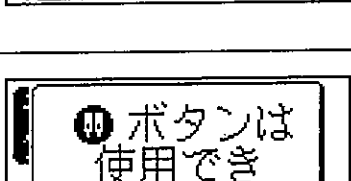
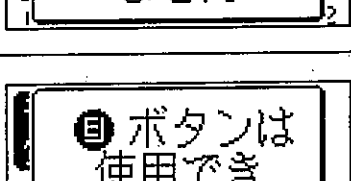
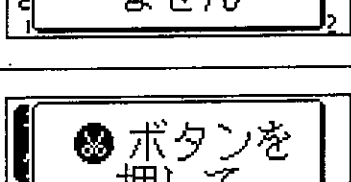
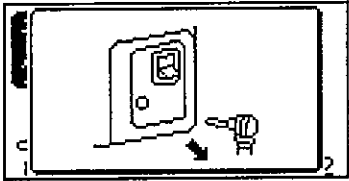
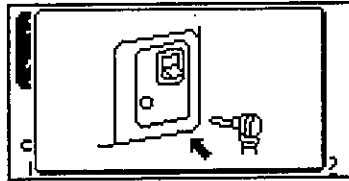
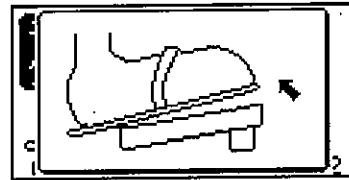
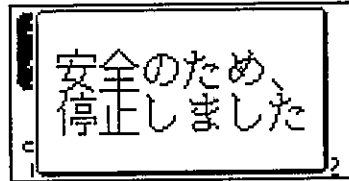



表　示	対　処　方　法
	針が下位置で、電源を入れたときに表示されます。 上下停針ボタンを押して針をあげます。
	•押さえ上げをさげないで、ミシンをスタートすると表示されます。押さえ上げをさげてスタートします。 •ぬい終わらない前に押さえ上げをあげたとき表示され、ミシンが止まります。押さえ上げは、ぬい終わってからあげてください。 特に、ニーリフトの操作には注意してください。
	BHレバーをさげないでボタンホールを０．５cmぬうと表示され、ミシンが止まります。 BHレバーを引きさげて再スタートします。
	止めぬい中にミシンを止めたときに、表示されます。 再スタートして最後までぬいます。
	下記の場合に、糸切りボタンを押すと表示されます。 １　電源投入時 ２　連続糸切りを４回行ったとき 糸切りボタンは模様をぬい終わったあと、ミシンを止めてから押します。
	２本針ぬいに適さない模様を選んだときに表示されます。 １本針設定として、その模様を選んでください。
	模様長さの調節ができない模様のときに、「もようのながさ」ボタンを押したときに表示されます。 模様長さは、サテン模様のみ変更できます。
	•糸切り途中で電源を切ったときや、糸切り中に糸がからんだとき、電源を切り不要な糸を取り除いたあと再度電源を入れたとき表示されます。 糸切りボタンを押して、糸切り動作を終了させてください。 •糸切りを終える前に押さえをあげたとき表示されます。 糸切りボタンを押して、糸切り動作を終了させてください。

表　示	対　処　方　法
	フットコントローラーを接続したまま、スタート・ストップボタンを押したときに表示ます。 フットコントローラープラグを外して、再スタートしてください。
	フットコントローラー使用中に、接続が外れたとき表示されミシンが止まりますので、プラグを接続して再スタートしてください。
	フットコントローラーを踏みこんだまま電源を入れたときに表示されます。踏み込みを外してください。
	• 安全装置の作動により、ミシンモータが緊急停止したときと、その後１５秒間のあいだに再スタートしようとすると表示されます。この時間はミシンの操作ができませんのでしばらくおまちください。糸がらみ等があったときには電源を切り、不要な糸を取り除いてください。 • ぬい中にドロップつまみを操作すると表示され、ミシンが止まります。ぬい中には、ドロップつまみを操作しないでください。 • 糸巻き中に糸がらみ等で糸巻き軸がロックされると表示されます。電源を切り不要な糸を取り除いてください。
	電源投入時に表示されミシンが動かないときミシンが故障しています。 すぐ電源を切り、お買い上げ店へご連絡ください。 「xxx　error」と表示されたときにも故障しています。 すぐ電源を切り、お買い上げ店へご連絡ください。
液晶画面の一部表示がずれる。 不要な表示が出る。 画面表示がかわらない。	電源スイッチを入れ直します。

★ブザー音の種類

ブザー音	内　　容
ピッ	正しい操作をしたときの受付音です。
ピピピッ	不正な操作をしたときの禁止音または、ミシン異常時の警告音です。

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	そ の 原 因	直し方
上糸が切れる。	1．上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 2．上糸調子が強すぎる。 3．針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4．針の付け方がまちがっている。 5．ぬい始めに、上糸・下糸を押えの下にそろえて引いていない。 6．糸がかまなどにからまっている。 7．針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。 8．糸こまに上糸が引っかかっている。	16～17ページ参照 21ページ参照 20ページ参照 20ページ参照 26ページ参照 72ページ参照 20ページ参照 糸こま押さえを付ける。
下糸が切れる。	1．下糸の通し方が、まちがっている。 2．内がまの中に、ごみがたまっている。 3．ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。	15ページ参照 72ページ参照 ボビンを交換する
針が折れる。	1．針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2．針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3．ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 4．布にくらべて針が細すぎる。 5．模様に合った押さえを使用していない。	20ページ参照 20ページ参照 布を向こう側に出す。 20ページ参照 指定の押さえに交換する。
ぬい目がとぶ。	1．針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2．布に対して、針と糸が合っていない。 3．伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャノメブルー針（市販ＳＰ針）を使っていない。 4．上糸のかけ方がまちがっている。 5．品質の悪い針を使用している。	20ページ参照 20ページ参照 20ページ参照 16～17ページ参照 針を交換する
ぬい目がしわになる。	1．上糸調子が合っていない。 2．上糸下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3．布にくらべて針が太すぎる 4．布にくらべてぬい目があらすぎる。 5．押さえ圧が合っていない。 ※特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。	21ページ参照 15、16～17ページ参照 20ページ参照 ぬい目を細かくする。 22ページ参照
布送りがうまくいかない。	1．送り歯に糸くずがたまっている。 2．ぬい目が細かすぎる。 3．送り歯があがっていない。	72ページ参照 ぬい目をあらくする 22ページ参照
ぬい目に輪ができる。	1．上糸調子が弱すぎる。 2．糸にくらべて針が太すぎるか、細すぎる。	21ページ参照 20ページ参照
ミシンがまわらない。	1．コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。フットコントローラーのプラグがきちんと差し込まれていない。 2．かまに、糸やごみがたまっている。 3．ボビンに糸がからまっている。 4．押さえ上げがさがっていない。	6ページ参照 72ページ参照 ボビンの糸を確認する。 10ページ参照
ボタンホールがうまくいかない。	1．布に対して、ぬい目のあらさが合っていない。 2．伸縮性のある布のとき、のびない芯地を使っていない。 3．BHレバーがさがっていない。	48ページ参照 44ページ参照 45ページ参照
音が高い。	1．かまの部分に、糸くずが巻きこまれている。 2．送り歯に、ごみがたまっている。 3．電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音がでる。	72ページ参照 72ページ参照 異常ではありません。
ぬいずれがおこる。	1．押さえ圧が合っていない。	22ページ参照
糸切りLEDが点滅する。	1．糸切りを終える前に押さえをあげている。 2．糸くずがたまっている。	糸切りボタンをもう一度押す。 72ページ参照

※静かな部屋で使うと、「ウイーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※長時間使うと、表示窓と選択ボタンの部分の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

仕　　　　　様	
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	50W / ランプ 12V 5W
外形寸法	幅 49.4 cm X 奥行 23.5 cm X 高さ 29.9 cm
重　　量	12 Kg（本体）
使用針	家庭用　HA × 1
縫速度	毎分 700 針 フットコントローラー使用時（毎分 1000 針）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お客様相談コーナー

★ジャノメミシンでは全国１６０の直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。
★お問い合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や箇所がわかって便利です。
★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室　☎ 03 (3277) 2200
〒 104-8311 東京都中央区京橋 3-1-1

池袋支店　☎ 03 (3987) 5266
〒 170-0013　東京都豊島区東池袋 1-28-7

西東京支店　☎ 03 (3337) 0482
〒 166-0001　東京都杉並区阿佐ヶ谷北 2-36-1

八王子支店　☎ 0426 (42) 0777
〒 192-0046　東京都八王子市明神町 4-11-12

横浜支店　☎ 045 (842) 3816
〒 233-0002　神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-13-18

千葉支店　☎ 043 (222) 5121
〒 260-0012　千葉県千葉市中央区本町 1-5-14

船橋支店　☎ 0474 (32) 2785
〒 273-0011　千葉県船橋市湊町 2-1-8

春日部支店　☎ 048 (734) 0825
〒 344-0067　埼玉県春日部市中央 6-8-19 種村ビル 1 F

川越支店　☎ 0492 (22) 2454
〒 350-0043　埼玉県川越市新富町 1-12-12

高崎支店　☎ 027 (324) 0055
〒 370-0046　群馬県高崎市江木町 1510-1 シロタビル

富山支店　☎ 076 (431) 8827
〒 930-0029　富山県富山市本町 3-25

三条支店　☎ 0256 (32) 1737
〒 955-0071　新潟県三条市本町 4-1-8

長野支店　☎ 026 (228) 1491
〒 380-0928　長野県長野市若里 3-1-43

仙台支店　☎ 022 (249) 4161
〒 982-0011　宮城県仙台市太白区長町 5-3-25

郡山支店　☎ 024 (932) 3362
〒 963-8852　福島県郡山市台新 1-4-15

盛岡支店　☎ 019 (624) 6741
〒 020-0021　岩手県盛岡市中央通 2-9-20

名古屋支店　☎ 052 (733) 5116
〒 466-0027　愛知県名古屋市昭和区阿由知通 1-12-3

四日市支店　☎ 0593 (51) 2081
〒 510-0085　三重県四日市市諏訪町 14-1

浜松支店　☎ 053 (476) 5191
〒 433-8122　静岡県浜松市上島 5-5-30

大阪支店　☎ 06 (6583) 8031
〒 552-0002　大阪府大阪市港区市岡元町 3-1-4

奈良郡山支店　☎ 0743 (54) 3060
〒 639-1012　奈良県大和郡山市城見町 2-4

和歌山支店　☎ 0734 (31) 6216
〒 640-8033　和歌山県和歌山市本町 2-12

尼崎支店　☎ 06 (6432) 3307
〒 661-0041　兵庫県尼崎市武庫の里 1-12-3

加古川支店　☎ 0794 (23) 9980
〒 675-0066　兵庫県加古川市加古川町寺家町 75-8

西陣支店　☎ 075 (461) 7940
〒 602-8276　京都府京都市上京区千本通上長者町上ル百万遍町 89

岡山支店　☎ 086 (222) 8896
〒 700-0814　岡山県岡山市天神町 1-26

広島支店　☎ 082 (228) 5181
〒 730-0016　広島県広島市中区幟町 15-9

観音寺支店　☎ 0875 (25) 2887
〒 768-0060　香川県観音寺市駅通り甲 1017-5

熊本支店　☎ 096 (354) 6523
〒 860-0845　熊本県熊本市上通り町 8-15

福岡支店　☎ 092 (821) 6495
〒 814-0021　福岡県福岡市早良区荒江 3-15-12 野田部ビル

長崎支店　☎ 095 (849) 6025
〒 852-8107　長崎県長崎市浜口町 3-8

(株) ジャノメ北海道販売　札幌本店　☎ 011 (861) 5634
〒 003-0027　札幌市白石区本通 3 丁目北 1-21

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

本社移転のお知らせ

平素は弊社製品のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。
さて、この度、弊社は下記に本社を移転することとなりましたので
お知らせ申し上げます。
今後とも一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

◉移転先

住　所　〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
電　話　お客様相談室 0120 – 026 – 557（フリーダイヤル）
042 – 661 – 2600
受付　平日 9：00～12：00 13：00～17：00
（土・日・祝日・年末年始を除く）
ホームページ　http://www.janome.co.jp
メールでのお問い合わせ　customer@gm.janome.co.jp

◉移転日

2009 年 7 月 6 日

※旧住所　〒104-8311 東京都中央区京橋 3 丁目 1 番 1 号
旧電話　お客様相談室 0120 – 026 – 557（フリーダイヤル）変更なし
03 – 3277 – 2200

蛇の目ミシン工業株式会社

101013002